



チェックシート入力・報告書作成支援システム  
XC-Gate.V3 エンタープライズ

# 取扱説明書

---

管理者編

2022年 11月

# 改訂履歴

版数	発行日	改定章	改訂内容
初版	2022/7/20	-	初版発行
1	2022/7/27	2.1	ログイン URL を変更
		8.3.1	マスタのインポート上限を変更
		13.6	オフライン利用時はトピック表示しない旨追記 環境依存文字は推奨しない旨追記
2	2022/9/7	6.1.3 6.1.4	利用者の登録で「FTP 利用可否」項目を追加, 画像変更
		11.1	注意文に追記 通貨の書式で一部非対応に変更
		12.1.1	実績値の禁止文字追加 禁止文字の表記変更
		12.17	サポートしない OS の説明文削除 iPadOS 追加
		12.28	ループタグの下限値変更
		13.8.2	利用者の CSV ファイルで「FTP 利用可否」項目を追加
	2022/9/9	12.30	CSV タグのプロパティ内容修正
3	2022/10/12	4.8.3	Excel ファイル出力件数の上限追記
		12.1.1	禁止文字の追加
		12.30	CSV タグの内容修正
		15.1	用語に PDF と帳票を追加
		多数	タグ表記で全角記号を半角に修正
		裏表紙	デザイン変更
4	2022/11/16	-	誤記修正、補足説明追記、用語統一
		2 章	「利用者パスワードポリシー設定」追加 TOP ページに「お知らせ」追加
		8.3	登録可能なマスタ数の上限を追加
		13	システム管理の設定内容を表で追加
		13.7	「利用者パスワードポリシー設定」章追加 ・利用者一括登録は 13.8 章に変更 ・利用者登録(6.1.3)に追記

# はじめに

このたびは、当社開発のXC-Gate.V3をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本取扱説明書は、XC-Gate.V3の管理者向けにXC-Gate.V3の管理者画面の機能の概要および操作方法について説明したものです。

また、お読みになったあとは、必要なときにいつでもご覧いただけるよう大切に保管してください。

## 対象商品

- XC-Gate.V3 v1.0.5

## 対象読者

本取扱説明書は、次の方が活用されることを想定しています。

- XC-Gate.V3システムのシステム管理者、承認権限を持つ利用者
- XC-Gate.V3システムの実績利用者

## 動作環境について

使用前に以下のサイトを確認し、動作環境を満たしていることを確認してください。

<https://www.technotree.com/xc-gate/requirements/>

## 商標について

本取扱説明書で使用されている商標は、以下の通りです。

- Microsoft、Windows、Aero、Excel、Outlook、PowerPoint、Windows Media、Microsoft Edge、Windows ロゴ、Windows スタートロゴ、Office ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe PDF および Adobe PDF ロゴ、Flash および Flash ロゴ、Flash Lite、Flash Player、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- Linux、リナックスは Linus Torvalds 氏の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Java は、オラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- Apple、iPad、iPhone、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Google および Google ロゴ、Android および Android ロゴ、Google Apps for Business、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Android Wear、Nexus は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- AMD、AMD Turion™、AMD Athlon™、AMD Sempron™ は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- GIF は、米国 CompuServe Inc. が開発したフォーマットの名称ならびにサービス名称です。
- VMware および VMware の製品名は、VMware, Inc. の米国および各国での商標または登録商標です。
- インテルはアメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。
- Apache Tomcat、Apache HTTP Server、Apache ActiveMQ は、Apache Software Foundation の商標または登録商標です。
- PostgreSQL は、米国およびその他の国における PostgreSQL Global Development Group の登録商標です。
- CentOS は、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- QRコード/QR Code は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

# 凡例

## 画像について

本書に使用されている画面は、Webブラウザによって文字のサイズや画像の配置などの表示が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

## ボタン

画面のボタンは[ ]で表記します。

例) [ログイン]をタップします。

## 参照先

本書内に参照先がある場合は「章番号/節番号」または（章番号/節番号）、（Pページ番号）で表記します。

例) チェックシートの登録方法については「**4.1**」を参照してください。  
フォルダー一覧から使用するチェックシートを選択します。（**P4-6**）

## 対象者の定義

本書では対象者を権限ごとに定義しています。

- 管理者： すべての操作権限を持つユーザー
- 利用者： アクセス権限を設定された一般ユーザー
  - <制限される操作>
  - 管理者により設定された項目や利用者の削除
  - 管理者により禁止されている操作
- グループ： 同じ権限を与えられた利用者の集まり

# もくじ

改訂履歴.....	1	4.8.8 実績の写真一覧.....	41
はじめに.....	2	4.9 実績のインポート設定.....	42
凡例.....	3	4.9.1 実績のインポート方法.....	42
もくじ.....	4	4.9.2 実績のインポート設定.....	44
<b>1 XC-Gate.V3の概要.....</b>	<b>6</b>	4.10 実績のタグ検索.....	48
<b>2 作業準備.....</b>	<b>7</b>	4.11 実績の表示項目の編集.....	50
2.1 ログイン方法.....	7	4.12 実績の承認.....	52
2.2 ログアウト方法.....	8	4.12.1 実績の承認の確認.....	52
2.3 TOPページ画面.....	8	4.12.2 実績の承認操作.....	52
<b>3 フォルダの管理.....</b>	<b>11</b>	4.13 チェックシートのセキュリティの設定.....	53
3.1 フォルダの一覧画面.....	11	4.14 チェックシートの属性の設定.....	53
3.2 フォルダ/登録データの表示.....	13	<b>5 ファイルの管理.....</b>	<b>58</b>
3.3 新規フォルダの作成.....	14	5.1 新規ファイルの登録.....	58
3.4 フォルダのプロパティの表示.....	15	5.2 ファイルのプロパティの表示.....	59
3.5 フォルダ名の編集.....	16	5.3 ファイルのダウンロード.....	60
3.6 データの削除.....	17	5.4 ファイルの上書き(変更).....	61
3.7 フォルダ/登録データの移動.....	18	5.5 ファイルのセキュリティの設定.....	61
<b>4 チェックシートの管理.....</b>	<b>19</b>	<b>6 ユーザーの管理.....</b>	<b>62</b>
4.1 新規チェックシートの登録.....	19	6.1 利用者の管理.....	63
4.2 チェックシートの上書き(変更).....	23	6.1.1 利用者の一覧画面.....	63
4.3 チェックシートのプロパティの表示.....	24	6.1.2 利用者の表示.....	64
4.4 チェックシートのダウンロード.....	26	6.1.3 利用者の登録.....	65
4.5 チェックシートのアップロード履歴.....	26	6.1.4 利用者の編集.....	67
4.5.1 チェックシートの履歴の表示.....	26	6.1.5 利用者の削除.....	68
4.5.2 チェックシートの履歴の削除.....	27	6.1.6 利用者一覧のCSV出力.....	69
4.5.3 チェックシートの履歴のダウンロード... ..	28	6.2 グループの管理.....	70
4.6 チェックシートの印刷テンプレートの管理.....	29	6.2.1 グループの一覧画面.....	70
4.6.1 印刷テンプレートの概要.....	29	6.2.2 グループの表示.....	71
4.6.2 印刷テンプレートの登録.....	29	6.2.3 グループの登録.....	72
4.6.3 印刷テンプレートのダウンロード.....	30	6.2.4 グループの編集.....	74
4.6.4 印刷テンプレートの削除.....	30	6.2.5 グループの削除.....	74
4.7 チェックシートのCSV出力の設定.....	31	6.3 グループのメンバー登録/解除.....	75
4.7.1 CSV出力の設定.....	31	6.3.1 利用者の所属グループの登録.....	75
4.7.2 CSV出力設定の編集.....	32	6.3.2 利用者の所属グループの解除.....	76
4.7.3 CSV出力設定の削除.....	33	6.3.3 グループの所属メンバーの登録.....	77
4.7.4 CSVファイルの出力内容.....	34	6.3.4 グループの所属メンバーの解除.....	78
4.8 チェックシートの実績の管理.....	35	6.4 利用者/グループのセキュリティの設定.....	78
4.8.1 実績の一覧表示.....	35	<b>7 セキュリティの管理.....</b>	<b>79</b>
4.8.2 実績のCSVファイル出力.....	36	7.1 アクセス権限の種類と事例.....	79
4.8.3 実績のExcelファイル出力.....	36	7.2 データのセキュリティの設定.....	81
4.8.4 実績のロック.....	37	7.3 ユーザーのセキュリティの設定.....	82
4.8.5 実績の詳細の表示.....	37	7.4 セキュリティの削除.....	83
4.8.6 実績の編集.....	38	<b>8 マスタの管理.....</b>	<b>84</b>
4.8.7 実績の削除.....	40	8.1 マスタの一覧画面.....	84
		8.2 マスタの一覧表示.....	85
		8.3 マスタの登録.....	85
		8.3.1 マスタの準備.....	85
		8.3.2 マスタの新規登録.....	86
		8.4 マスタのプロパティの表示.....	89

8.5	マスタ名の変更 .....	89	12.19	動画タグ .....	151
8.6	マスタ項目の確認と編集 .....	90	12.20	リンクタグ .....	152
8.7	マスタデータの表示と編集 .....	90	12.21	環境タグ .....	156
8.8	マスタデータのインポート .....	93	12.22	承認タグ .....	158
8.8.1	マスタのインポート .....	93	12.23	承認印タグ .....	160
8.8.2	マスタのインポート設定 .....	93	12.24	データタグ、データ表示タグ、 データ検索タグ .....	161
8.9	マスタデータのエクスポート .....	97	12.25	サインタグ .....	167
8.10	マスタの削除 .....	97	12.26	シェーブタグ .....	168
<b>9</b>	<b>チェックシート設定.....</b>	<b>98</b>	12.27	参照タグ .....	169
9.1	CSV出力設定 .....	98	12.28	ループタグ .....	170
<b>10</b>	<b>シート関数一覧.....</b>	<b>99</b>	12.29	機能タグ .....	172
10.1	論理 .....	99	12.30	CSVタグ、CSV表示タグ .....	174
10.2	文字列操作 .....	100	<b>13</b>	<b>システム管理.....</b>	<b>177</b>
10.3	日付/時刻 .....	101	13.1	チェックシートの再登録 .....	177
10.4	検索/行列 .....	102	13.2	メールサーバーの設定 .....	178
10.5	数学/三角 .....	102	13.3	一時保存の実績削除の設定 .....	179
10.6	統計 .....	104	13.4	実績登録後 各ファイル自動出力共通設定 ... .....	180
10.7	エンジニアリング .....	104	13.5	インポート設定 .....	181
10.8	情報 .....	105	13.5.1	実績の自動インポート設定 .....	181
10.9	互換性 .....	105	13.5.2	マスタの自動インポート設定 .....	183
10.10	データベース .....	105	13.5.3	共通設定 .....	184
<b>11</b>	<b>チェックシートの確認事項.....</b>	<b>106</b>	13.6	トピック設定 .....	185
11.1	書式一覧 .....	106	13.7	利用者セキュリティ設定 .....	186
11.2	オートシェイプ .....	109	13.8	利用者の一括登録 .....	190
11.3	セルの設定 .....	112	13.8.1	一括登録方法 .....	190
<b>12</b>	<b>タグ.....</b>	<b>113</b>	13.8.2	利用者の CSV ファイル .....	191
12.1	制限事項 .....	114	13.8.3	利用者印の ZIP ファイルの作成 .....	193
12.1.1	禁止文字 .....	114	<b>14</b>	<b>エラーメッセージリスト .....</b>	<b>194</b>
12.1.2	名前に使用できる制限文字数 .....	115	<b>15</b>	<b>付録.....</b>	<b>195</b>
12.1.3	「*」の記述について .....	115	15.1	用語 .....	195
12.2	初期値一覧 .....	116	15.2	別名 .....	196
12.3	作業番号タグ .....	117			
12.4	入力タグ .....	118			
12.5	コードタグ .....	121			
12.6	数値タグ .....	122			
12.7	移動タグ .....	125			
12.8	確認タグ .....	128			
12.9	選択タグ .....	130			
12.10	一覧タグ .....	132			
12.11	日付タグ .....	134			
12.12	時刻タグ .....	136			
12.13	時間タグ .....	138			
12.14	タイマータグ .....	140			
12.15	転記タグ .....	142			
12.16	写真タグ .....	145			
12.17	QRリーダータグ .....	148			
12.18	画像タグ .....	150			

# 1 XC-Gate.V3 の概要

## 概要

XC-Gate.V3はMicrosoft Excelで作成したファイルを、タブレット端末のWebブラウザで表示/操作可能なチェックシートに変換し、フォルダ階層上に配置、管理するシステムです。

チェックシート化した各Webページの構成を業務に対応させることにより、入力したデータが作業実績として記録されます。

XC-Gate.V3を利用するメリットを以下に記載します。

1. Excel で作成した紙に入力していた作業実績を、同等の Web ブラウザ画面から入力することでペーパーレスを実現します。
2. Web ブラウザに表示された画面に直接入力するだけでデータが記録されるため、紙に実績を記述した後、PC ファイルに再入力していた従来の作業が不要になり、入力の無駄を低減します
3. 各現場で独自に管理されていた Excel ファイルを XC-Gate.V3 システムに集中管理することで、帳票形式、書類形式の標準化を図ります。
4. Excel スキルを持つ業務熟練者が Excel を使って画面メンテナンスすることにより、業務変化への迅速な対応を可能とします。
5. 無線 LAN や携帯電話を利用したデータ通信が利用できる場所では現地で業務に必要なチェックシートを呼び出せるため、資料を持ち運びする負担が軽減されます。
6. 作業実績を蓄積することにより、見える化が難しかった作業実績の集計や分析を実現するための環境、基盤を提供します。
7. 従来の高コストな IT システムによる業務基盤ではなく、現場主導で Excel ファイルを作成、業務利用することが可能です。
8. 上流または下流のシステムの CSV 形式データを用いてデータを受け渡すことで、関連システムとの連携を実現します。

## 2 作業準備

### 2.1 ログイン方法

XC-Gate.V3管理者画面のTOPページにログインします。

#### 注意事項

- iPadがプライベートブラウズモードになっていないことを確認してください。プライベートブラウズモードではXC-Gate.V3を利用できません。
- Webブラウザを複数のウィンドウで開く、複数タブで開く利用方法は推奨しません。

#### ログイン方法

- 1) Webブラウザ（Microsoft Edge、Chromeなど）を起動します。
- 2) アドレスバーにログイン選択画面のURLを入力します。  
URLは仕様により異なります。詳細は管理者に確認してください。

- URL例： `https://****.xc-gate.com*/xcent/`

※ \*\*\*\*部分はsv\*\*等のサーバー番号に置き換えてください。

- 3) 会社コードを入力し、[管理者ログイン]をタップします。

#### <ログイン条件>

以下の利用者はログインできませんので注意してください。

- 利用者が所属するグループに「管理画面利用権限」がない場合
- 利用者が有効期限切れだった場合（**6.1.3**）
- 所属グループがすべて有効期限切れだった場合（**6.2.3**）



- 4) 管理者ログイン画面に「利用者コード」と「パスワード」を入力します。  
パスワードは、ポリシー設定が有効な場合、ポリシーチェックをします。\*

- 利用者のパスワードが有効期限設定されており、かつ期限が切れていた場合は、ログイン時パスワード再設定の画面が表示されます。
- 利用者のパスワードの有効期限切れ警告の通知設定がされておりかつ、有効期限が近付いていると、通知画面が表示されます。

詳しくは「**13.7利用者セキュリティ設定**」参照してください。



ポイント

ログイン後、30 分間動作がない場合は、タイムアウトし自動的にログオフします。

## 2.2 ログアウト方法

作業が完了した場合は、以下の手順でログアウトしてください。

- 1) [ログアウト]をクリックします。  
[ログアウト]は各画面のヘッダーに表示されます。
- 2) ログイン画面に戻ります。



## 2.3 TOP ページ画面

TOPページ画面で項目を選択し、各種作業を開始します。

The screenshot shows the XC-Gate.V3 interface with the following elements and callouts:

- 1**: XC-Gate.V3 logo
- 2**: User name 'ようこそ システム管理者 様' and 'ログアウト' button
- 3**: 'ログアウト' button
- 4**: 'TOP' menu item
- 5**: 'フォルダ' menu item
- 6**: '利用者' menu item
- 7**: 'マスタ' menu item
- 8**: 'チェックシート設定' menu item
- 9**: 'システム管理' menu item
- 10**: '利用者制ログイン画面' link
- 11**: '管理者用サポートメニュー (ログインが必要です。)' link
- 12**: 'トピック' section header
- 13**: 'お知らせ' section header
- 14**: '無料トライアル' notice
- 15**: '継続のお申し込み' button
- 16**: 'リソース' section header
- 17**: 'お問い合わせフォーム' link
- 18**: '追加・変更のお申し込み' button

**Resource Usage Summary:**

ディスク容量	データベース容量	ユーザー数
使用率: 19% (ご契約: 20.0GB)	使用率: 49% (ご契約: 700001レコード)	登録済みユーザー数: 4 (ご契約: 5ユーザー)

Copyright © TECHNOTREE CO., LTD. All Rights Reserved.

No.	各部名称	概要	参照
1	ヘッダー	各画面共通です。	
2	利用者名	ログイン中の利用者(作業者 ID)を表示します。	
3	ログアウト	ログイン画面に戻ります。	
4	TOP	TOP ページに移動します。	
5	フォルダ	フォルダ関連機能に移動します。	4 章
6	利用者	利用者とグループ機能に移動します。	
7	マスタ	マスタ関連機能に移動します。	8 章
8	チェックシート設定	CSV 出力設定に移動します。	4.7 章
9	システム管理	サーバー情報の確認画面に移動します。	13 章
10	利用者ログイン画面	利用者ログイン画面に移動します。	
11	管理者サポートメニュー	現在表示している機能の階層と画面の名称を表示します。	
12	トピック	「システム管理」メニューの「各種設定」で TOP 画面に表示させるメッセージを設定したものを表示させます。	13.6 章
13	お知らせ	テクナツリーからお客様へのお知らせ情報を掲載します。	
14	残日数情報	契約期間終了間近になると残日数を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>無料お試し期間中の場合： 期間終了日までの残日数と[継続のお申し込み]ボタン*を表示します。</li> <li>年払い契約中の場合： 契約終了まで 1 か月を切ると、契約終了日までの残日数を表示します。</li> </ul>	
15	継続のお申込み	契約期間終了日以降もご利用になりたい場合、こちらから継続の申し込みできます。	
16	リソース情報*	使用可能なリソースの割合を表示します。 リソースの削減方法については次ページの「リソースの削減方法」を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスク容量： 全ファイルの合計サイズ※1</li> <li>データベース容量： 全レコード件数※2</li> <li>ユーザー数： 登録利用者数</li> </ul> ※1 データベースの容量も含まれます ※2 INO からの引継ぎプランのみ表示	
17	お問い合わせフォーム	管理者用のサポートサイトに移動します。	
18	追加・変更のお申込み*	ボタンを押下すると、管理者用のサポートサイト(ログイン画面)に移動します。	

※ ADMINISTRATORSグループに所属の管理者ユーザーのみ表示

## 契約更新について

ログイン中の利用者がADMINISTRATORSグループに所属している管理者ユーザーの場合、以下の契約内容に関する情報およびリンクボタンが表示されます。

契約を更新する場合はリンクボタンをクリックし、画面に従い操作してください。

利用者、グループの表示/編集方法については「**6章**」を参照してください。

- 管理者サポートメニューのリンク
- 残日数の[継続のお申込み]ボタン（無料お試し期間中）



- リソース情報の[追加・変更のお申込み]ボタン
- ご契約更新情報

## リソースの削減方法

リソースを超過すると、各項目に警告が表示されます。超過しないよう定期的にデータの削除をしてください。

追加購入する場合は、[追加・変更のお申込み]をクリックし手続きしてください。

### <ディスク容量/データベース容量>

容量が100%以上になると、割合とグラフが赤くなり、警告メッセージが表示されます。不要な登録データを削除してください。

### <ユーザー>

登録済みユーザー数が上限になると、ユーザー数が赤くなり、警告メッセージが表示されます。

不要な利用者の「ログイン区分」を「無効」にすることを推奨します。(6.1.4)

利用者を削除すると、該当する利用者に関連するチェックシートや実績の作成者が不明になります。

### 3 フォルダの管理

フォルダ画面では、利用目的に合わせて構築したフォルダ階層にチェックシートやファイルなどの登録や管理をします。

フォルダやチェックシートなどにはセキュリティ（アクセス権限）が設定でき、グループや利用者が使用するデータの管理ができます。

セキュリティの設定については「7章」を参照してください。

#### 3.1 フォルダの一覧画面

フォルダの一覧画面には、登録されているフォルダ、チェックシート、ファイルが一覧表示されます。

No.	名称	概要	参照
1	検索エリア	条件を指定し、一覧の表示内容を絞り込みます。	3.2
2	削除	選択したデータを削除します。	3.6
3	移動	選択した対象を別のフォルダへ移動します。	3.7
4	新しいフォルダ	新しいフォルダを作成します。	3.3
5	新しいチェックシート	新しいチェックシートを作成します。	4.1
6	新しいファイル	新しいファイルを作成します。	5.1
7	上の階層へ	上位階層のフォルダへ移動します。 最上の階層にいる場合は移動しません。	
8	場所	現在のフォルダ階層のパスを表示します。 上位の階層のフォルダ名をクリックすると移動します。	
9	チェックボックス	削除または移動対象を選択します。	

No.	名称	概要	参照
10	名前	登録されているフォルダ/チェックシート/ファイルの名前を表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順/降順に並べ変えます。* 各データをクリックすると以下の動作をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダ: 下位のフォルダー一覧へ移動</li> <li>チェックシート: 実績の一覧画面を表示(4.8.1)</li> <li>ファイル: 該当ファイルをダウンロード</li> </ul>	
11	ファイル ID	フォルダ/チェックシート/ファイルのファイル ID を表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順、降順に並べ変えます。*	
12	更新日	各データの更新日を表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順/降順に並べ変えます。*	
13	種類	データの種類を表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順/降順に並べ変えます。*	
14	サイズ	データの容量を表示します。種類⑬により表示内容が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシート: 実績件数を表示</li> <li>ファイル: ファイルの容量を表示</li> <li>フォルダ: 表示なし</li> </ul>	
15	操作	各データの操作ボタンを表示します。 種類⑬により表示内容が異なります。	
16	ページ移動	ページ番号をクリックすると該当ページに移動します。	
17	表示件数	画面の表示件数を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>10件/20件/30件/50件/100件/200件/500件/1000件</li> </ul>	

※ ヘッダーの項目をクリックした順序で昇順/降順に並べ変えます。

### 3.2 フォルダ/登録データの表示

フォルダの一覧画面は選択フォルダに登録されているフォルダ/チェックシート/ファイルを一覧表示します。

フォルダの一覧よりXC-Gate.V3システムに管理されているデータに移動および操作できます。画面の詳細は「3.1」を参照してください。

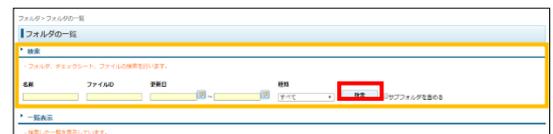
- 1) フォルダメニューの[フォルダの一覧]をクリックし、フォルダ一覧画面を表示します。



一覧に表示されるフォルダをクリックすると、下位フォルダの内容が表示されます。



- 2) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。(部分一致)  
検索条件を入力せずに検索した場合は、すべてのデータが表示されます。



#### <名前/ファイルIDを指定>

名前/ファイルID入力エリアをクリックし、検索条件を入力します。



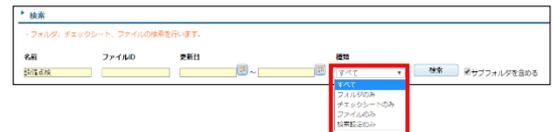
#### <更新日を指定>

- a) [更新日:開始日]をクリックし、開始日を入力します。  
開始日のみ指定した場合は、開始日以降が検索対象になります。
- b) [更新日:終了日]をクリックし、終了日を入力します。  
終了日のみ指定した場合は、終了日以前が検索対象になります。



#### <種類を指定>

種類をクリックし、プルダウンからデータの種類を選択します。



#### <検索箇所を指定>

「サブフォルダを含める」にチェックが入っていると、下位フォルダを含めて検索します。  
チェックが入っていない場合は現在一覧表示されている場所が検索対象になります。



- 3) フォルダの一覧からフォルダおよび登録データの各種操作をします。



検索表示中は、[新しいフォルダ]、[新しいチェックシート]、[新しいファイル]は非表示になります。



### 3.3 新規フォルダの作成

表示中のフォルダ内に新規フォルダを作成します。



書き込み権限の無い利用者は、フォルダを作成できません。

- 1) 「3.2」を参照し、新規フォルダを作成するフォルダを表示します。



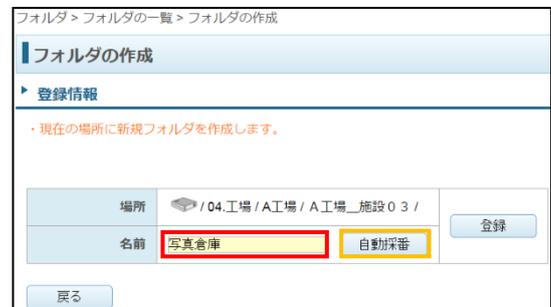
- 2) [新しいフォルダ]をクリックします。フォルダの作成画面が表示されます。



- 3) 名前を入力エリアをクリックし、フォルダ名※を入力します。  
[自動採番]をクリックすると、フォルダ名を自動採番します。



- 名前はフォルダ名とファイル ID に反映されます。
- 同一階層に同じ名前のフォルダがある場合は登録できません。

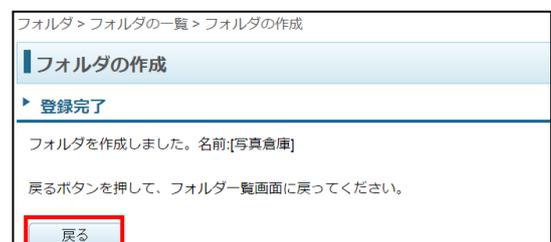


※ 非推奨文字、禁止文字は「12.1」を参照してください。

- 4) [登録]をクリックします。  
[戻る]をクリックすると、フォルダを作成せずに前の画面に戻ります。



- 5) 完了画面の[戻る]をクリックします。



### 3.4 フォルダのプロパティの表示

操作のプロパティでは、詳細情報の確認および編集ができます。  
セキュリティの編集方法については「7章」を参照してください。

- 1) 「3.2」を参照し、作業するフォルダを表示します。



- 2) プロパティを表示したいフォルダ行の[プロパティ]をクリックします。  
フォルダのプロパティ画面が表示されます。



#### フォルダのプロパティ画面

フォルダ > フォルダの一覧 > フォルダのプロパティ

### フォルダのプロパティ

▶ 詳細情報

・フォルダのプロパティを表示しています。

①	場所	/ 04_全国工場全体 / A工場 / A工場_施設03 /					
②	名前	設備点検KU					
③	ファイルID	設備点検KU					
④	更新日	2016/06/28 18:28					
⑤	種類	フォルダ					
⑥	セキュリティ		読込	書込	削除	削除 (設定上書)	⑦ 変更
		admin	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	—	
		(継承) admin	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	—	
		(継承) admin	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	—	
		(継承) ADMINISTRATORS	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	—	
		(継承) USERS	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	—	

戻る ⑧

No.	各部名称	概要
1	場所	フォルダの保存場所を表示します。
2	名前	フォルダの名前を表示します。
3	ファイル ID	フォルダのファイル ID を表示します。
4	更新日	フォルダが更新された日時を表示します。
5	種類	データの種類(フォルダ)が表示されます。
6	セキュリティ	アクセス権限の状況を表示します。(7.1)
7	変更	フォルダのセキュリティー一覧画面を表示します。(7.2)
8	戻る	フォルダの一覧画面に戻ります。

### 3.5 フォルダ名の編集

操作の[編集]ではフォルダ名を変更できます。

- 1) 「3.2」を参照し、名前を変更するフォルダを表示します。



- 2) 名前を変更するフォルダ行の[編集]をクリックします。



- 3) 名前の入力エリアをクリックし、フォルダ名※を変更します。
  - 「名前」はフォルダの名前とファイルIDになります。
  - 同一階層に同じ名前のフォルダがある場合は登録できません。

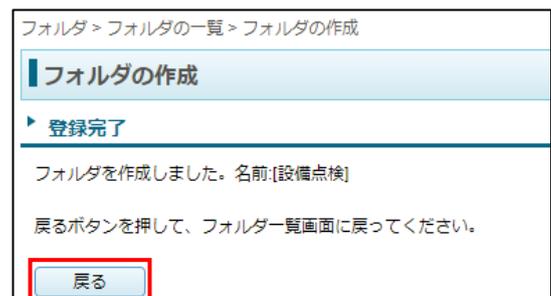
※ 非推奨文字、禁止文字は「12.1」を参照してください。



- 4) [登録]をクリックします。  
[戻る]をクリックすると、フォルダを作成せずに前の画面に戻ります。



- 5) 完了画面の[戻る]をクリックします。



### 3.6 データの削除

フォルダ/チェックシート/ファイルの削除方法について説明します。  
 削除する前に注意事項を必ず確認してください。



読込権限および削除権限のない利用者は、データを削除できません。(7.1、7.2)

#### 注意事項

- 削除権限のないフォルダの削除を実行したとき、フォルダは削除されずに残ります。
- 削除権限のないデータが登録されているフォルダの削除を実行したとき、フォルダは削除されずに残ります。
- チェックシートを削除すると、該当チェックシートに関連する実績を参照できなくなります。
- フォルダを削除すると、フォルダに登録された下位フォルダ/チェックシート/ファイルも削除されます。

#### 削除方法

1) 「3.2」を参照し、削除するデータを表示します。



2) データを削除します。

##### <個別に削除>

削除したいデータ行の[削除]をクリックします。

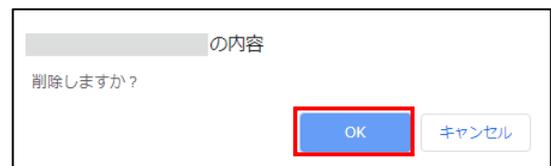


##### <一括削除>

- 削除したいデータ行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れたい場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
- [X削除]をクリックします。



3) 確認画面の[OK]をクリックします。  
 選択したデータが削除されます。



### 3.7 フォルダ/登録データの移動

選択フォルダに登録されているフォルダ/チェックシート/ファイルを別のフォルダ階層に移動します。

- 1) 「3.2」を参照し、移動するデータを表示します。



- 2) 移動したいデータ行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れたい場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。



- 3) [移動]をクリックします

- 4) 移動先のフォルダを表示し、[ここへ移動]をクリックします。  
[中止]ボタンをクリックすると移動を中止します。



- 5) 確認画面の[OK]をクリックします。  
選択したデータが移動します。



## 4 チェックシートの管理

チェックシートの管理方法について説明します。

チェックシートの管理はフォルダの一覧画面で行います。フォルダの一覧画面の表示方法は「3.2」を参照してください。

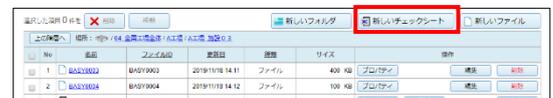
### 4.1 新規チェックシートの登録

新しいチェックシートを登録します。

- 1) 「3.2」を参照し、チェックシートを登録するフォルダを表示します。



- 2) [新しいチェックシート]をクリックします。チェックシートの登録画面が表示されます。



- 3) ファイルID入力エリアをクリックしファイルID※を入力します。  
[自動採番]をクリックすると、ファイルIDを自動採番します。



**ポイント**

[重複確認]をクリックし、ファイルIDが重複していないことを確認してください。  
同じ会社コード内に重複したファイルIDがあると、上書き保存されますので注意してください。

※ 非推奨文字、禁止文字は「12.1」を参照してください。

- 4) ファイル名入力エリアをクリックしファイル名※を入力します。  
空欄にすると、選択したExcelファイルのファイル名が登録されます。



※ 非推奨文字、禁止文字は「12.1」を参照してください。

- 5) [ファイルを選択]をクリックし、チェックシートとして登録するExcelファイルを選択します。



#### <登録可能な拡張子>

空欄にすると選択したExcelファイルのファイル名が登録されます。

- Excelブック (.xlsx)
- Excelマクロ有効ブック (.xlsm)

- 6) チェックシートとして登録するExcelファイルに関する各種設定をします。

#### <XC対応関数エラーの扱い>

設定は変更できません。

Excelファイルに未対応のシート関数が存在したとき、エラーとして処理し、チェックシートの登録を中断します。

シート関数に関しては、シート関数一覧(10章)を参照してください。

XC対応関数エラーの扱い	「エラーとして扱う」※エラーを無視する場合、対象セル以降の公式は実行されない場合があります。
セル数制限	「制限する」※セル数の制限値は「制限する」選択時：500000、「無制限」選択時：1000000
シートの制限事項エラーの扱い	「エラーとして扱う」※エラーを無視する場合、一部の機能で正常に動作しない場合があります。
タグ変更エラーの扱い	「エラーとして扱う」※エラーを無視する場合、シート名やタグ名、タグの型の変更などに対して過去実績との紐づきがなくなる場合があります。
タグチェックを厳密にする	「厳密にする」※厳密にしない場合、結果利用時に予期せぬ動作を引き起こす可能性があります。※タグ数の制限値は「厳密にする」選択時：500、「厳密にしない」選択時：1000
ファイルサイズ制限	「エラーとして扱う」※エラーを無視する場合、結果利用時に端末でメモリ不足や容量不足を引き起こす可能性があります。※書き出し後のファイル容量制限：2500KB ※書き出し後の合計ファイル容量制限：51200KB ※書き出し後の画像容量制限：3584KB ※書き出し後の合計画像容量制限：20480KB
グラフ利用	「グラフを利用しない」※全てのグラフ設定に対応出来ていないので正しく交換されない場合があります。

#### <セル数制限>

Excelファイルのセル数が指定した数を超過すると、エラーとしてチェックシートの登録を中断します。



「無制限」を選択するとサーバーでメモリ不足を起こすおそれがあります。

ポイント

#### <シートの制限事項エラーの扱い>

Excelファイル内のタグの項目名、シート名に禁止文字を記述すると、エラーとしてチェックシートの登録を中断します。禁止文字に関しては、(12.1.1)を参照してください。

#### <タグ変更エラーの扱い>

Excelファイルが①～③の状態のときの処理方法を選択します。

- ① 「名前」または「name」がないタグに実績が記録されている場合
- ② タグの種類を変更した場合（例：入力→数値）
- ③ 現在登録済みの実績に登録しようとしているタグ名が存在しない場合（例：名前: 'A' →名前: 'B'）

- ・ エラーとして扱う（初期設定）： チェックシートの登録処理を中断します。
- ・ エラーを無視する： チェックシートの登録処理を続行します。



「エラーを無視する」を選択するとシート名やタグ名の型の変更などに対して過去実績との紐づきがなくなる場合があります。

ポイント

#### <タグチェックを厳密にする>

タグのプロパティや形式に関する記述に誤りがあったとき、タグのプロパティに以下のチェックを実行します。問題があった場合はエラーとしてチェックシートの登録を中断します。

- ・ 値の囲み文字の記載が誤っている（例：「'」または「”」が不足している）
- ・ タグに利用不可能なプロパティがある
- ・ タグに利用不可能な形式がある
- ・ タグに必須のプロパティの記載がない
- ・ タグに必要な親タグの記載がない
- ・ Excelのセルに参照形式「R1C1参照形式」を設定した場合
- ・ タグを指定した数以上使用している

**<ファイルサイズ制限>**

設定は変更できません。

Excelファイルの容量が動作目安を超えたとき下記ファイルサイズで制限がかかります。

- 書き出し後のファイル容量制限： 3584KB
- 書き出し後の合計ファイル容量制限： 40960KB
- 書き出し後の画像容量制限： 3584KB
- 書き出し後の合計画像容量制限： 20480KB

**<グラフ利用>**

Excelのグラフ機能で作成したグラフをチェックシートに表示します。

使用するブラウザにより表示内容は異なります。

- グラフを利用しない（初期設定）
- グラフを利用する

- 7) [登録]をクリックします。  
[戻る]をクリックすると、チェックシートを作成せずに前の画面に戻ります。

選択するチェックシートの情報を入力してください。

場所	※P/A4_全業工場全体/A工場/A工場_施設03/
ファイルID	FZ_DF_001 <input type="button" value="重複確認"/> <input type="button" value="自動採番"/>
ファイル名	FZ_DF_001
XLSXファイル	ファイルを選択 <input type="button" value="設定点検票.xlsx"/>
XC対応機能エラーの扱い	エラーを無視する <input type="button" value="エラーを無視する"/> ※エラーを無視する場合は、対応セル以降の形式は実行されない場合があります。
セル数制限	設定する <input type="button" value="設定する"/> ※無制限にする場合は、500000セルの制限が外れるため、サーバーでメモリ不足を起こす可能性があります。
シートの制御事項エラーの扱い	エラーを無視する <input type="button" value="エラーを無視する"/> ※エラーを無視する場合は、一部の機能で正常に動作しない場合があります。
タグ設定エラーの扱い	エラーとして扱う <input type="button" value="エラーとして扱う"/> ※エラーを無視する場合は、シート名やタグ名、タグの記号の必要などに反して違法業務との結びつきがなくなる場合があります。
タグチェックを厳密にする	厳密にする <input type="button" value="厳密にする"/> ※厳密にしない場合は、標準利用時に予期せぬ動作を引き起こす可能性があります。
ファイルサイズ制限	<input type="button" value="設定する"/> ※エラーを無視する場合は、標準利用時に端末がメモリ不足の容量不足を引き起こす可能性があります。 ※書き出し後のファイル容量制限：3584KB ※書き出し後の合計ファイル容量制限：40960KB ※書き出し後の画像容量制限：3584KB ※書き出し後の合計画像容量制限：20480KB
グラフ利用	<input type="button" value="設定する"/> ※全てのグラフ設定に対応していないので正しく変更されない場合があります。 <input type="button" value="設定する"/> ※全てのグラフ設定に対応していないので正しく変更されない場合があります。

- 8) 完了画面の[プレビュー]をクリックし、チェックシートの表示内容を確認します。  
設定をやり直す場合は、[続けて上書き登録]をクリックし、手順5)に戻ってください。

フォルダ>フォルダの一覧>チェックシートの登録完了

**チェックシートの登録完了**

登録情報

- ・戻るボタンを押すと、フォルダ一覧画面に戻ります。
- ・続けて新規登録ボタンを押すと、続けてチェックシートの登録をすることができます。
- ・続けて上書き登録ボタンを押すと、同じ帳票番号で上書き登録をすることができます。
- ・プレビューを表示するとキャッシュが溜まっていくため、定期的にプレビューキャッシュの削除を実行してください。

登録が完了しました。

帳票番号: FZ\_DF\_004  
帳票名: 設定点検票(4)



- チェックシートは使用するブラウザにより表示内容が異なります。プレビュー画面は作業で使用する端末で表示することを推奨します。
- プレビューを表示するとキャッシュが溜まっていきます。  
[プレビューキャッシュの削除]をクリックし、定期的にキャッシュを削除してください。

- 9) 設定が完了したら、完了画面の[戻る]をクリックします。

**<続けてチェックシートを登録する場合>**

[続けて新規登録]をクリックし、手順3)に戻ります。

フォルダ>フォルダの一覧>チェックシートの登録完了

**チェックシートの登録完了**

登録情報

- ・戻るボタンを押すと、フォルダ一覧画面に戻ります。
- ・続けて新規登録ボタンを押すと、続けてチェックシートの登録をすることができます。
- ・続けて上書き登録ボタンを押すと、同じ帳票番号で上書き登録をすることができます。
- ・プレビューを表示するとキャッシュが溜まっていくため、定期的にプレビューキャッシュの削除を実行してください。

登録が完了しました。

帳票番号: FZ\_DF\_004  
帳票名: 設定点検票(4)

## チェックシートの登録を失敗した場合

チェックシートの登録中にエラーが発生すると、チェックシートの登録状況画面が表示されます。発生理由を確認し、適切に対処してください。

1) エラーの内容とヒントを確認します。

- セル：  
エラーが発生したシート名称、セル番地を表示
- 内容：  
エラーの内容を表示
- ヒント1、2：  
エラーの修正のヒントとなる情報を表示



2) Excelファイルの該当セルに記述されたタグを修正します。

### <修正例1>

複数のセルの名前が重複していると「名前重複エラー[XXX]※」が発生します。

エラーが発生したセルの名前を修正してください。

※ XXXにはエラーが発生したタグの項目名が表示されます。

セル	内容	ヒント
Sheet1!M11	タグ解析でエラーが発生しました。	
Sheet1!M11	名前重複エラー[結果1]	
Sheet1!M9	タグ解析でエラーが発生しました。	
Sheet1!M9	名前重複エラー[結果1]	

### <修正例2>

タグ名称に禁止されている文字を使用すると「タグの解析エラー」が発生します。

下図の場合、ヒント(1)に表示されているタグの内容に禁止文字「-（マイナス）」が使用されています。エラーが発生したセルの名前を修正してください。

セル	内容	ヒント(1)	ヒント(2)
Sheet1!M13	タグの解析エラー	*選択名前「結果判定」で「-」の大きさ:20	タグ名称に禁止されている文字が使用されています。

3) [戻る]をクリックし、再度登録作業をします。



## 4.2 チェックシートの上書き(変更)

チェックシートの内容を変更したい場合は、登録したチェックシートのExcelファイルを上書き(変更)します。



- ・ 削除されたタグ項目は参照できません。
- ・ 帳票編集は排他制御されません。同一帳票を複数端末からログイン・操作した場合、最後に保存した端末の帳票が有効となります。

1) 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。

No.	形式	ファイル名	更新日	種類	サイズ	操作
1	BaC/3003	BaC/3003	2016/10/18 14:11	ファイル	406 KB	アップロード
2	BaC/3004	BaC/3004	2016/10/18 14:12	ファイル	106 KB	アップロード
3	BaC/3005	FZ_DF_001	2016/10/18 14:10	チェックシート	1 KB	アップロード
4	BaC/3006	FZ_DF_002	2016/10/18 14:10	チェックシート	8 KB	アップロード
5	BaC/3007	FZ_DF_003	2016/10/18 14:10	チェックシート	8 KB	アップロード
6	BaC/3008	QC_MF_001	2016/10/18 14:11	チェックシート	8 KB	アップロード
7	BaC/3009	検査管理	2016/10/18 14:12	ファイル		アップロード
8	BaC/3010	検査計画	2016/10/18 14:12	ファイル		アップロード
9	BaC/3011	検査計画	2016/10/18 14:13	ファイル		アップロード

2) 「ファイル」の[変更]をクリックします。

チェックシートのプロパティ

詳細情報

- ・ チェックシートのプロパティを表示しています。
- ・ プレビューを表示するとキャッシュが溜まっているため、定期的にプレビューキャッシュの削除を実行してください。

種類	タグ	
名前	タグ一覧.xlsx	
ファイルID	FZ_DF_004	
更新日	2016/10/04 20:00	
種類	チェックシート	プレビュー
サイズ	23 KB	ダウンロード
ファイル	ファイルを上書き登録します。	変更
アップロード回数	1件	変更

3) 「4.1」の手順4)以降を参照し、チェックシートの設定および登録をします。



ファイル ID を変更しないでください。  
異なるファイル ID を入力すると、新規チェックシートとして保存され、現在のチェックシートは残ります。

登録するチェックシートの情報を入力してください。

種類	タグ / BaC/3004 全業工場全体 / A工場 / A工場_施設 03 /
ファイルID	FZ_DF_001 <input type="button" value="重複確認"/> <input type="button" value="自動保存"/>
ファイル名	FZ_DF_001
XLSSファイル	ファイルを選択 <input type="button" value="設定値検索.xlsx"/>
XC対応エラーの扱い	エラーを無視する <input type="checkbox"/> ※エラーを無視する場合は、対象セル以降の項目は実行されない場合があります。
セル数制限	制限する <input type="checkbox"/> ※制限にする場合は、500000セルの制限が外れるため、サーバーでメモリ不足を招く可能性があります。
シートの参照エラーの扱い	エラーを無視する <input type="checkbox"/> ※エラーを無視する場合は、一部の機能で正常に動作しない場合があります。
タグエラーの扱い	エラーとして扱う <input type="checkbox"/> ※エラーを無視する場合は、シート名やタグ名、タグの記号の必要に応じて適法表現との相違点が増える場合があります。
タグチェックを厳密にする	厳密にする <input type="checkbox"/> ※厳密にしない場合は、帳票利用時の字種は自動で引き起こす可能性があります。
ファイルサイズ制限	エラーを無視する <input type="checkbox"/> ※エラーを無視する場合は、帳票利用時に端末がメモリ不足や容量不足を引き起こす可能性があります。 ※書き出し後のファイル容量制限: 3504KB ※書き出し後の合計ファイル容量制限: 40960KB ※書き出し後の画像容量制限: 3504KB ※書き出し後の合計画像容量制限: 20480KB
グラフ利用	グラフを利用しない <input type="checkbox"/> ※全てのグラフ設定に対応していないので正しく表示されない場合があります。

### 4.3 チェックシートのプロパティの表示

チェックシートのプロパティ画面では、詳細情報の編集および確認ができます。

- 1) 「3.2」を参照し、プロパティを編集するチェックシートを表示します。
- 2) プロパティを表示したいチェックシート行の[プロパティ]をクリックします。  
チェックシートのプロパティ画面が表示されます。



#### チェックシートのプロパティ画面

フォルダ > フォルダの一覧 > チェックシートのプロパティ

### チェックシートのプロパティ

▶ 詳細情報

- ・チェックシートのプロパティを表示しています。
- ・プレビューを表示するとキャッシュが溜まっていくため、定期的にプレビューキャッシュの削除を実行してください。

①	場所	/ 04_全国工場全体 / A工場 / A工場_施設 03 /			
②	名前	設備点検表.xlsx			
③	ファイルID	FZ_DF_001			
④	更新日	2022/04/05 11:21			
⑤	種類	チェックシート	プレビュー	プレビューキャッシュの削除	
⑥	サイズ	21 KB	ダウンロード		
⑦	ファイル	ファイルを上書き登録します。	変更		
⑧	プロトコル	1件	変更		
⑨	テンプレート	有	ダウンロード	登録	削除
⑩	CSV出力設定	無	設定		
⑪	実績数	0件	インポート	実績のインポート設定	
⑫	実績の項目数	26件 (うち非表示0件)	変更		
⑬	実績の承認		参照		
⑭	セキュリティ		読込	書込	削除
		admin	○	○	○
		(継承)admin	○	○	○
		(継承)admin	○	○	○
		(継承)admin	○	○	○
		(継承)ADMINISTRATORS	○	○	○
(継承)USERS	○	○	○		
⑮	属性			設定	
		CSV自動出力		-	
		タイトル先		-	変更
		EXCEL出力再計算		-	
	グラフ利用		-		

戻る ⑯

No.	各部名称	概要	参照
1	場所	チェックシートの保存場所を表示します。	—
2	名前	チェックシートの名前を表示します。	—
3	ファイル ID	チェックシートのファイル ID を表示します。	—
4	更新日	チェックシートを更新した日時を表示します。	—
5	種類	データの種類(チェックシート)が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>プレビュー: チェックシートのプレビュー画面を表示します。</li> <li>プレビューキャッシュの削除: プレビューのキャッシュを全削除します。</li> </ul>	—
6	サイズ	チェックシートの元となった最新の Excel ファイルの容量を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード: 最新 Excel ファイルをダウンロードします。</li> </ul>	4.4
7	ファイル	チェックシートの元となる Excel ファイルを上書き登録します。	4.2
8	アップロード履歴	チェックシートの更新件数を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>変更: 過去の Excel ファイルがダウンロードできるチェックシートの履歴一覧画面を表示します。</li> </ul>	4.5
9	印刷テンプレート	印刷テンプレートの有無を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード*/登録/削除*: 印刷テンプレート(Excel ファイル)のダウンロード/登録/削除を実行します。</li> </ul> <b>※ 印刷テンプレート登録時のみ表示</b>	4.6
10	CSV 出力設定	CSV 出力設定が定義されている件数を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>設定: CSV 出力設定の一覧画面を表示し、CSV 出力設定を管理します。</li> </ul>	4.7
11	実績数	チェックシートに登録されている実績の数を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>件数のリンク: 実績の一覧画面を表示します。</li> <li>インポート: 実績のインポート画面を表示します。</li> <li>実績のインポート設定画面を表示します。</li> </ul>	4.8
12	実績の項目数	チェックシートの項目数と非表示設定している項目数を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>変更: チェックシート項目一覧画面を表示し、実績の詳細、編集画面の表示項目の非表示/表示の順序を設定します。</li> </ul>	4.11
13	実績の承認	実績の承認状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>参照: 実績の承認画面を表示し、承認タグの入力状況の確認や変更をします。</li> </ul>	4.12
14	セキュリティ	セキュリティの状況を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>変更: チェックシートのセキュリティー一覧画面を表示し、チェックシートのセキュリティ(アクセス権限)を設定します。</li> </ul>	4.13
15	属性	チェックシートの属性を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>変更: 属性情報画面を表示し、実績送信時の動作設定をします。</li> </ul>	4.14
16	戻る	前の画面に戻ります。	—

## 4.4 チェックシートのダウンロード

登録しているExcelファイルをダウンロードします。

- 1) 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。



- 2) 「サイズ」の[ダウンロード]をクリックします。



- 3) ダウンロードされたExcelファイルを開きます。Webブラウザにより操作方法は異なります。



## 4.5 チェックシートのアップロード履歴

過去に登録したチェックシートのファイルは履歴として保存されています。保存されている過去のチェックシートは、アップロード履歴で確認および削除できます。

### 4.5.1 チェックシートの履歴の表示

- 1) 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。



- 2) 「アップロード履歴」の[変更]をクリックします。



- 3) チェックシートの履歴一覧画面が表示されます。



## チェックシート履歴一覧画面



No.	各部名称	概要
1	選択項目数	④で選択中のチェックシート履歴の数を表示します。
2	[×削除]	選択中の項目を削除します。
3	ファイル ID	チェックシート名を表示します。
4	チェックボックス	削除するチェックシートを選択します。
5	チェックシート番号	チェックシートのファイル ID を表示します。
6	チェックシート名	登録時のチェックシート名(Excel ファイル名)を表示します。
7	登録日	チェックシートの登録日を表示します。
8	登録者	チェックシートの登録利用者コードを表示します。
9	登録者名	チェックシートの登録者名を表示します。
10	シート数	チェックシートを構成するページ数(Excel ファイルのシート数)を表示します。
11	項目数	チェックシートのタグ項目の数を表示します。
12	実績件数	実績件数を表示します。
13	操作	操作ボタンを表示します。 • ダウンロード: チェックシート履歴(Excel ファイル)をダウンロードします。
14	戻る	前の画面に戻ります。

### 4.5.2 チェックシートの履歴の削除

過去に登録したチェックシートを削除します。最新のチェックシート、または過去のチェックシートで実績がある場合は削除できません。

- 1) 「4.5.1」を参照し、チェックシートの履歴一覧画面を表示します。

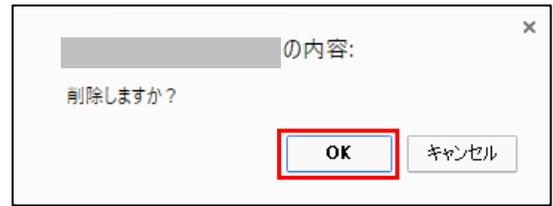


- 2) 削除したい過去のチェックシート行のチェックボックスにチェックを入れます。表示中のすべての行にチェックを入れたい場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。



- 3) [×削除]をクリックします。

- 確認画面の[OK]をクリックします。  
選択したチェックシートが削除されます。



作成したチェックシートを削除しました。

選択した項目 0 件を  削除

ファイルID: 選択済 0件 登録済0件

No	チェックシート番号	チェックシート名	登録日	登録者	登録者名	シート数	項目数	実施件数	操作
1	FZ_DP_001	設備点検表(1)	2016/7/25 15:39	bernan	システム管理室	4	88	4	ダウンロード
2	FZ_DP_001	設備点検表(1)	2016/7/28 13:37	bernan	システム管理室	4	88	0	ダウンロード

戻る

### 4.5.3 チェックシートの履歴のダウンロード

過去に登録したチェックシートをダウンロードします。

- 「4.5.1」を参照し、チェックシートの履歴一覧画面を表示します。

Excelダウンロード: 既: チェックシート0件/0件/0件/0件/0件/0件/0件

チェックシート履歴一覧

検索

チェックシート履歴一覧

- チェックシートの履歴一覧を表示しています。
- 履歴のダウンロードを行う際はチェックシートをダウンロードする必要があります。
- 過去のチェックシートは削除すると履歴から削除されます。
- 履歴のダウンロードは履歴の有効期間内のみ可能です。

選択した項目 0 件を  削除

ファイルID: 選択済 0件 登録済0件

No	チェックシート番号	チェックシート名	登録日	登録者	登録者名	シート数	項目数	実施件数	操作
1	FZ_DP_001	設備点検表(1)	2016/7/25 15:39	bernan	システム管理室	4	88	4	ダウンロード
2	FZ_DP_001	設備点検表(1)	2016/7/28 13:37	bernan	システム管理室	4	88	0	ダウンロード

戻る

- ダウンロードしたい過去のチェックシート行の[ダウンロード]をクリックします。
- ダウンロードされたExcelファイルを開きます。  
Webブラウザにより操作方法は異なります。

選択した項目 0 件を  削除

ファイルID: 選択済 0件 登録済0件

No	チェックシート番号	チェックシート名	登録日	登録者	登録者名	シート数	項目数	実施件数	操作
1	FZ_DP_001	設備点検表(1)	2016/7/25 15:39	bernan	システム管理室	4	88	4	ダウンロード
2	FZ_DP_001	設備点検表(1)	2016/7/28 13:37	bernan	システム管理室	4	88	0	ダウンロード

戻る

## 4.6 チェックシートの印刷テンプレートの管理

実績の一覧画面の「XLSX出力機能」(4.8.3)で出力されるExcelファイルの内容を指定したい場合は、印刷テンプレートを登録してください。

印刷テンプレートには、チェックシートとは異なるレイアウトを設定できます。

### 4.6.1 印刷テンプレートの概要

- 入力データはタグの「名前:『項目名』」と紐づきます。  
チェックシートの元となるExcelファイルと印刷テンプレートファイルのタグ「名前:『項目名』」を合わせてください。  
関連のない<項目名>は出力されません。
- ひとつのチェックシートには、ひとつの印刷テンプレートを登録できます。
- 印刷テンプレートを登録すると、次の操作から以下のExcel出力には印刷テンプレートが適用されます。
  - 実績の一覧画面のXLSX出力 (4.8.3)

### 4.6.2 印刷テンプレートの登録

印刷テンプレートが登録済みの場合は、新しい印刷テンプレートに上書きされます。

1) 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。

2) 「印刷テンプレート」の[登録]をクリックします。

3) 印刷テンプレートの登録画面の[ファイルを選択]をクリックし、印刷テンプレートファイル(Excelファイル)を選択します。

4) [登録]をクリックします。

#### <登録をキャンセルする場合>

登録処理中は印刷テンプレートの登録状況画面が表示されます。

登録を中止したい場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

5) 完了画面の[戻る]をクリックします。



ポイント

Excel ファイルの出力操作をして、内容が正常に出力されるか確認してください。

### 4.6.3 印刷テンプレートのダウンロード

印刷テンプレートが登録されていない場合はダウンロードできません。

- 1) 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。

No.	名前	ファイル名	登録日	種類	サイズ	操作
1	印刷テンプレート	BAS10003	2019/11/16 14:11	ファイル	400 KB	ダウンロード 編集 削除
2	印刷テンプレート	BAS10004	2019/11/16 14:12	ファイル	100 KB	ダウンロード 編集 削除
3	印刷テンプレート	FZ_DF_001	2019/11/16 14:10	チェックシート	1 KB	ダウンロード 編集 削除
4	印刷テンプレート	FZ_DF_002	2019/11/16 14:10	チェックシート	0 KB	ダウンロード 編集 削除
5	印刷テンプレート	FZ_DF_003	2019/11/16 14:10	チェックシート	0 KB	ダウンロード 編集 削除
6	印刷テンプレート	OK_MR_001	2019/11/16 14:11	チェックシート	0 KB	ダウンロード 編集 削除
7	印刷テンプレート	検査履歴	2019/11/16 14:12	ファイル		ダウンロード 編集 削除
8	印刷テンプレート	検査履歴	2019/11/16 14:12	ファイル		ダウンロード 編集 削除
9	印刷テンプレート	検査履歴	2019/11/16 14:13	ファイル		ダウンロード 編集 削除

- 2) 「印刷テンプレート」の[ダウンロード]をクリックします。



- 3) ダウンロードされたExcelファイルを開きます。Webブラウザにより操作方法は異なります。



### 4.6.4 印刷テンプレートの削除

- 1) 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。

No.	名前	ファイル名	登録日	種類	サイズ	操作
1	印刷テンプレート	BAS10003	2019/02/16 11:31	ファイル	400 KB	ダウンロード 編集 削除
2	印刷テンプレート	BAS10004	2019/02/16 11:33	ファイル	100 KB	ダウンロード 編集 削除
3	印刷テンプレート	FZ_DF_001	2019/02/16 11:30	チェックシート	0 KB	ダウンロード 編集 削除
4	印刷テンプレート	FZ_DF_002	2019/02/16 11:30	チェックシート	0 KB	ダウンロード 編集 削除
5	印刷テンプレート	FZ_DF_003	2019/02/16 11:30	チェックシート	0 KB	ダウンロード 編集 削除
6	印刷テンプレート	OK_MR_001	2019/02/16 11:45	チェックシート	0 KB	ダウンロード 編集 削除
7	検査履歴	検査履歴	2019/02/16 11:08	検査履歴		ダウンロード 編集 削除
8	検査履歴	検査履歴	2019/02/16 11:10	検査履歴		ダウンロード 編集 削除
9	検査履歴	検査履歴	2019/02/16 11:42	ファイル		ダウンロード 編集 削除
10	検査履歴	検査履歴	2019/02/16 11:47	ファイル		ダウンロード 編集 削除

- 2) 「印刷テンプレート」の[削除]をクリックします。



- 3) 確認画面の[OK]をクリックします。印刷テンプレートが削除され、項目が「無」になります。



## 4.7 チェックシートの CSV 出力の設定

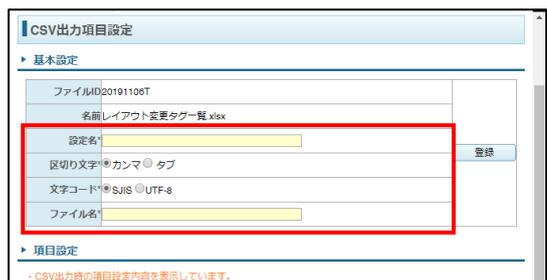
実績の一覧画面の「CSV出力」およびチェックシートの属性画面の「CSV自動出力」で出力されるCSVファイルに関する設定をします。

### 4.7.1 CSV 出力の設定

- 1) 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。
- 2) 「CSV出力設定」の[設定]をクリックします。
- 3) CSV出力設定の一覧画面の[新しい設定]をクリックします。
- 4) CSV出力項目設定画面の基本設定を設定します。
  - a) 設定名入力エリアをクリックし、設定ファイル名を入力します。
  - b) 出力時のデータ間の区切り文字を選択します。
    - ・ カンマ：「,」で項目を区切ります。
    - ・ タブ：「\t」（タブコード）で項目を区切ります。
  - c) 出力時の文字コードを選択します。
    - ・ SJIS： Shift-JISで出力します。
    - ・ UTF-8※：UTF-8で出力します。
 ※ 環境依存文字を含むデータをCSV出力する場合はUTF-8を選択してください。
  - d) ファイル名入力エリアをクリックし、出力時のファイル名（.csv）を設定します。自動出力時のファイル名になります。
- 5) CSV出力項目設定画面の項目設定を設定します。
  - a) 出力項目の指定および順番を設定する場合は、順番入力エリアをクリックし、出力時の順番を入力します。数値は1から設定してください。

#### <出力内容>

- ・ すべての項目が空欄：全項目を出力します。
- ・ 項目の順番を設定：順番の並びで番号順に出力します。未指定の項目は出力されません。同一番号があるときは、順不同で出力されます。エラーにはなりません。



- b) 出力時の項目名を変更する場合は、出力項目名入力エリアをクリックし、出力する項目名を入力します。変更した項目名はCSVファイルのヘッダー行に反映されます。項目名を空欄にした場合、登録している項目名で出力されます。

- 6) [登録]をクリックします。

CSV出力項目設定

基本設定

ファイルID: 20191104  
 名前: レイアウト変更タグ一覧.xlsx  
 設定名: CSV出力設定  
 区切り文字:カンマ タブ  
 文字コード: SJIS UTF-8  
 ファイル名: レイアウト変更タグ一覧CSV

登録

- 7) 設定ファイルが一覧に追加されます。

CSV出力設定の一覧

チェックシート情報

ファイルID: 20191104  
 名前: レイアウト変更タグ一覧.xlsx

設定一覧

現在登録されている設定を一覧表示しています。  
 CSV設定を更新しました。  
 1件の検索結果があります。

選択した項目 0 件を

<input type="checkbox"/>	No	設定名	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	1	CSV出力設定	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>

1 | 10件 ▼ 表示

Copyright © TECHNOTREE CO., LTD. All Rights Reserved.

#### 4.7.2 CSV 出力設定の編集

登録済みのCSV出力設定ファイルを編集します。

- 「4.7.1」の手順1)～2)を参照し、CSV出力設定の一覧を表示します。
- 編集するCSV出力設定ファイルの[編集]をクリックします。
- CSV出力項目設定画面で内容を編集し[登録]をクリックします。  
編集方法については「4.7.1」の手順4)以降を参照してください。

CSV出力設定の一覧

チェックシート情報

ファイルID: 20191104  
 名前: レイアウト変更タグ一覧.xlsx

設定一覧

現在登録されている設定を一覧表示しています。  
 CSV設定を更新しました。  
 2件の検索結果があります。

選択した項目 0 件を

<input type="checkbox"/>	No	設定名	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	1	CSV出力設定	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/>	2	ABC	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>

1 | 10件 ▼ 表示

### 4.7.3 CSV 出力設定の削除

登録済みのCSV出力設定を削除します。

- 1) 「4.7.1」の手順1)～2)を参照し、CSV出力設定の一覧を表示します。
- 2) CSV出力設定ファイルを削除します。

#### <個別に削除>

削除したいCSV出力設定ファイル行の[削除]をクリックします。



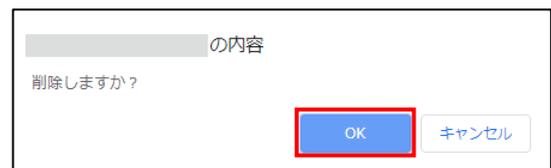
#### <一括削除>

a) 削除したいCSV出力設定ファイル行のチェックボックスにチェックを入れます。表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。

b) [×削除]をクリックします。



- 3) 確認画面の[OK]をクリックします。選択したデータが削除されます。



#### 4.7.4 CSV ファイルの出力内容

CSVファイルには以下の内容が出力されます。

- タグ項目は[シート名][項目名]で記載されます。
- 区切り文字で定義した文字でデータが分割されます。

種類	項目(ヘッダ行)	項目値(データ行)
制御情報	NO	行番号
	REPORT_CD	チェックシートのファイル ID
	REPORT_NAME	チェックシートのファイル名
	TRX_CD	実績を一意に識別するトランザクションコード
	ACTION_CD	タイトル(作業番号タグがない場合は、空白)
	TITLE	タイトル
	ENTRY_DATE	実績の最終更新年月日時分秒(yyyy/MM/dd HH:mm:ss)
	ENTRY_USER_CD	実績の最終更新利用者コード
	ENTRY_USER_NAME	実績の最終更新利用者名
タグ項目	入力タグ	入力値
	確認タグ	選択値
	選択タグ	選択値
	一覧タグ	選択値
	数値タグ	入力値
	日付タグ	日付のシリアル値(小数部なし)
	時間タグ	日付を含む時刻のシリアル値(小数部あり)
	時刻タグ	時刻のシリアル値(小数部あり)
	承認タグ	0:未入力、1:OK、2:NG
	承認印タグ	参照した利用者コード
	写真タグ	画像ファイルの識別番号
	サインタグ	画像ファイルの識別番号
	画像タグ	チェックシートからの画像ファイルの相対パス
	動画タグ	チェックシートからの動画ファイルの相対パス
	リンクタグ	ボタンのキャプション(表示文字)
	タイマータグ	経過時間のシリアル値(小数部あり)
	転記タグ	空白
	移動タグ	ボタンのキャプション(表示文字)
	参照タグ	参照先の項目値
	QRリーダータグ	QRコードの情報
	シェーブタグ	空白
	データ表示タグ	対象の項目値または日付のシリアル値(小数部なし)
	データ検索タグ	対象の項目値または日付のシリアル値(小数部なし)
	CSV表示タグ	対象の項目値または日付のシリアル値(小数部なし)
	その他	XC-Gate.V3システムの内部情報

## 4.8 チェックシートの実績の管理

実績の一覧画面で登録した実績を管理できます。

- 登録した実績の参照、CSV出力、Excel出力、PDF出力※
- 利用者がタブレット端末で入力した実績を、管理者がパソコンでタグ項目ごとに編集
- 利用者が誤って更新しないよう実績をロック
- 不要な実績を削除

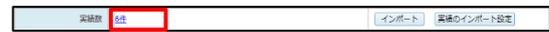
※ PDF出力については、別紙「XC-GateV3 PDF出力機能取扱説明書」を参照ください。

### 4.8.1 実績の一覧表示

- 1) 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。

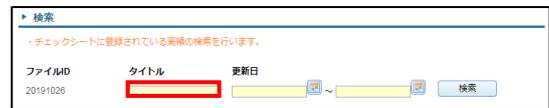


- 2) 「実績数」の[件数リンク]をクリックします。
- 3) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。  
検索条件を入力せずに検索した場合は、すべての実績が表示されます。



#### <タイトルを指定>

タイトル入力エリアをクリックし、実績のタイトルを入力します。（部分一致）



#### <更新日を指定>

- a) [更新日：開始日]をクリックし、開始日を入力します。  
開始日のみ指定した場合は、開始日以降が検索対象になります。
- b) [更新日：終了日]をクリックし、終了日を入力します。  
終了日のみ指定した場合は、終了日以前が検索対象になります。

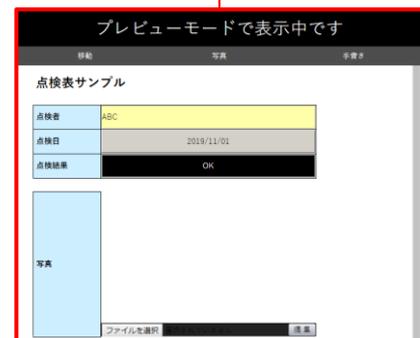


- 4) 実績の内容を確認する場合は、実績のタイトルをクリックします。  
実績のプレビューが表示されます。



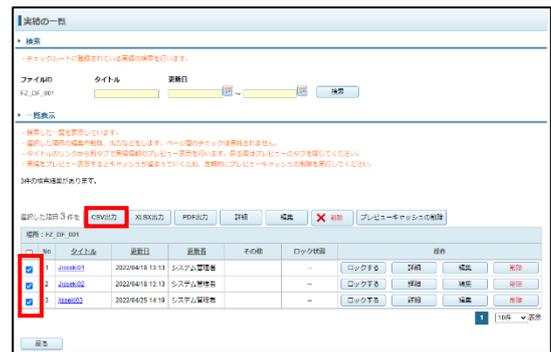
#### <プレビューキャッシュの削除>

実績のプレビューを表示させると、キャッシュが溜まります。  
[プレビューキャッシュの削除]をクリックし、定期的にキャッシュを削除してください。



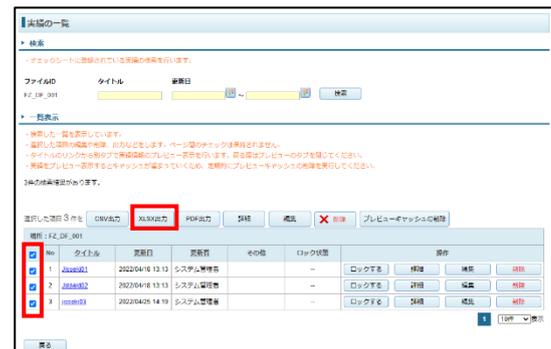
## 4.8.2 実績の CSV ファイル出力

- 「4.8.1」の手順1)～2)を参照し、実績の一覧を表示します。
- 出力したい実績行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れたい場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
- [CSV出力]をクリックします。
- CSV出力設定が複数ある場合は、CSV出力設定選択画面※が表示されます。  
使用する出力設定の[決定]をクリックします。  
※ ポップアップがブロックされた場合は、Webブラウザのポップアップブロックを解除してください。
- ダウンロードされたExcelファイルを開きます。  
Webブラウザにより操作方法は異なります。



## 4.8.3 実績の Excel ファイル出力

- 「4.8.1」の手順1)～2)を参照し、実績の一覧を表示します。
- 出力したい実績行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れたい場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。  
※ 1回の出力で選択可能な件数は30件までです。
- [XLSX出力]をクリックします。
- ダウンロードされたExcelファイルを開きます。  
Webブラウザにより操作方法は異なります。



### <ファイルの内容>

- 印刷テンプレートがある場合 (4.6)  
登録した印刷テンプレートファイルを使用してファイルを作成します。
- 印刷テンプレートがない場合  
チェックシートの元となったExcelファイルを使用してファイルを作成します。
- 実績に写真登録機能で写真が登録されている場合  
「登録時のシート名+写真」のシートを作成します。
- 入力データとタグの紐づけについて  
入力データはタグの「名前:『項目名』」と紐づきます。  
はじめに登録時のシートと同じ名前のシートで紐づけする<項目名>を探します。  
見つからなかった場合は、すべてのシートから<項目名>を探し、最初に見つけたシートの<項目名>と紐づけます。  
複数の入力データが同じ<項目名>と紐づいた場合は、その中のいずれかひとつの入力データを出力します。

### 4.8.4 実績のロック

内容を変更したくない実績にはロックをかけます。  
 ロックされた実績は、管理者側では編集/削除が、利用者側では上書き送信ができなくなります。

- 1) 「4.8.1」の手順1)~2)を参照し、実績の一覧を表示します。
- 2) ロックしたい実績の[ロックする]をクリックします。



- 3) ロック状態に「ロック中」と表示されていることを確認します。  
 [ロック解除]をクリックすると、ロックは解除されます。



### 4.8.5 実績の詳細の表示

- 1) 「4.8.1」の手順1)~2)を参照し、実績の一覧を表示します。
- 2) 実績の詳細画面を表示します。

#### <個別に表示>

表示したい実績行の[詳細]をクリックします。



#### <一括表示>

- a) 表示したい実績行のチェックボックスにチェックを入れます。  
 表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
- b) [詳細]をクリックします。



- 3) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。  
 検索条件を入力せずに検索した場合は、すべての実績が表示されます。



#### <登録日を指定>

登録日入力エリアをクリックし、実績の登録日をyyyy/MM/dd形式で入力します。(完全一致)



#### <登録者を指定>

登録者入力エリアをクリックし、登録利用者コードを入力します。(部分一致)



#### <タイトルを指定>

タイトル入力エリアをクリックし、実績のタイトルを入力します。(部分一致)



**<実績内容(項目1~3)を指定>**

最大3項目まで指定できます。

a) 項目のプルダウンをクリックし、「シート名!項目名」を選択します。



b) 手順a)で指定した項目に入力した実績内容を入力します。



下記項目は完全一致で検索されます。その他の項目は部分一致です。

- 日付タグ例：2021/12/20
- 時間タグ例：2021/12/20 00:00:00
- 時刻タグ例：00:00:00

4) 実績の詳細画面が表示されます。一覧より実績の管理ができます。

- 実績の詳細の検索：[4.11参照](#)
- CSV出力：[4.8.2参照](#)
- XLSX出力：[4.8.3参照](#)
- 編集：[4.8.6参照](#)
- 削除：[4.8.7参照](#)



**4.8.6 実績の編集**

実績の編集画面では登録された実績の入力値を編集します。本機能はXC-Gate.V3システムの実績が直接更新できます。ロック中の実績は編集できません。



**ポイント**

- 実績編集では、排他制御はかかりません。
  - 同一実績を複数端末からログインおよび操作した場合、最後に保存した端末の実績データが有効となります。
- ※ 内容を変更したくない実績データに対しては、管理者画面上の手动操作で実績データにロックをかけることが可能です。

- 1) 「[4.8.1](#)」の手順1)~2)を参照し、実績の一覧を表示します。
- 2) 実績の編集画面を表示します。

**<個別に表示>**

表示したい実績行の[編集]をクリックします。



**<一括表示>**

a) 表示したい実績行のチェックボックスにチェックを入れます。

表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。



b) [編集]をクリックします。

- 3) 実績の各項目に値を入力し、[登録]をクリックします。

実績の一覧

一覧表示

※入力済みの入力項目は緑色で表示されます。  
 ※入力内容を変更する場合は登録ボタンをクリックしてください。

1件の検索結果があります。

基本  
 実績

登録

項目	基本						
項目	実績1	実績1	実績2	実績2	実績3	実績3	実績4
1							

## 4.8.7 実績の削除

実績を削除します。削除した実績は元に戻せませんので注意してください。  
ロック中の実績は削除できません。

- 1) 「4.8.1」の手順1)～2)を参照し、実績の一覧を表示します。
- 2) 実績を削除します。

### <個別に削除>

削除したい実績行の[削除]をクリックします。

### <一括削除>

- a) 削除したい実績行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
  - b) [×削除]をクリックします。
- 3) 確認画面の[OK]をクリックします。  
選択したデータが削除されます。

No	タイトル	更新日	更新者	その他	ロック状態	操作
1	Jisseki01	2022/04/18 13:13	システム管理者		--	ロックする 詳細 編集 削除
2	Jisseki02	2022/04/25 14:19	システム管理者		--	ロックする 詳細 編集 削除
3	Jisseki02	2022/05/16 19:52	システム管理者		ロック中	ロック解除 詳細 編集 削除

No	タイトル	更新日	更新者	その他	ロック状態	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	Jisseki01	2022/04/18 13:13	システム管理者		--	ロックする
<input checked="" type="checkbox"/>	Jisseki02	2022/04/25 14:19	システム管理者		--	ロックする
<input type="checkbox"/>	Jisseki02	2022/05/16 19:52	システム管理者		ロック中	ロック解除

の内容

削除しますか？

OK キャンセル

### 4.8.8 実績の写真一覧

利用者画面で写真が追加されると、実績一覧の「その他」に[写真一覧]が表示されます。写真一覧画面では、実績に登録された写真の確認、削除ができます。



登録された写真は、管理者画面でのみ削除できます。利用者画面では削除できませんので注意してください。

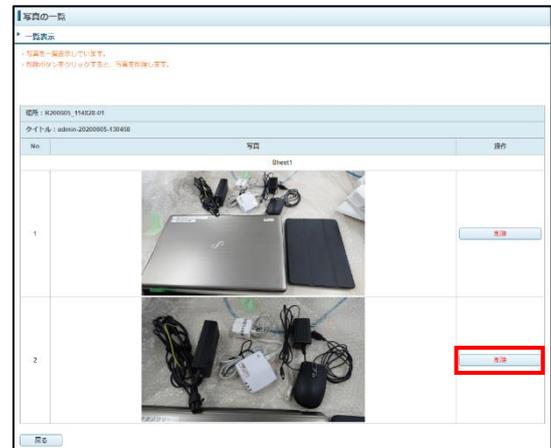
- 1) 「4.8.1」の手順1)～2)を参照し、実績の一覧を表示します。
- 2) 「その他」の[写真一覧]をクリックします。

No	タイトル名	更新日	更新者	その他	ロック状態	操作
1	As18021	2022/04/18 13:13	システム管理者		--	ロックする 詳細 編集 削除
2	As18023	2022/04/25 14:19	システム管理者		--	ロックする 詳細 編集 削除
3	As18022	2022/05/18 10:52	システム管理者		ロック中	ロック解除 詳細 編集 削除
4	As18021	2022/05/18 11:28	システム管理者	写真一覧	--	ロックする 詳細 編集 削除

- 3) 利用者画面で登録された写真の一覧が表示されます。

#### <写真の削除>

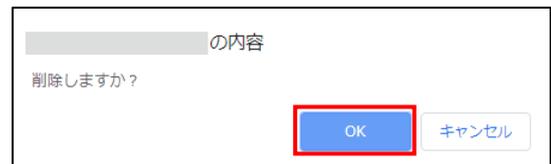
- a) 削除したい写真の[削除]をクリックします。



- b) 確認画面の[OK]をクリックします。



削除を実行する前に必ず写真の内容を確認してください。削除された写真は元に戻せません。



## 4.9 実績のインポート設定

CSVに書き出された実績を手動インポートし、実績を登録します。

### 注意事項

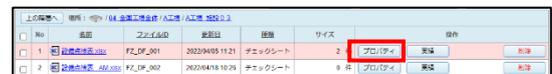
- 実績のインポートでは写真タグの値を登録できません。
- 実績のインポートで実績を登録してもCSV自動出力/XLSX自動出力は処理されません。



「実績の自動インポート」については別紙「**XC-GateV3 自動インポート機能取扱説明書**」を参照ください。

### 4.9.1 実績のインポート方法

- 1) 「**4.3**」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。
- 2) 「実績数」の[インポート]をクリックします。
- 3) インポートするファイルを選択します。
  - a) CSVファイルの[ファイルを選択]をクリックし、CSVファイルを選択します。
  - b) マッピング情報ファイルがある場合は、マッピング情報ファイルの[ファイルを選択]をクリックし、ファイルを選択します。



#### <マッピング情報ファイルについて>

マッピング情報ファイルは、インポートするファイルの項目とチェックシートの項目を紐づけるファイルです。ファイルは以下の仕様で作成してください。

- 区切り文字：タブ/セミコロン/カンマ/半角スペース/その他（任意のテキスト）  
表示形式で使用した区切り文字を選択してください。（**手順5**）
- ヘッダー行：変更前、変更後
- 文字コード：UTF-8※/Shift\_JIS/EUC\_JP  
文字コードで使用した区切り文字を選択してください。（**手順4**）  
※ 環境依存文字を含むデータをインポートする場合はUTF-8にしてください。
- データ行：インポートファイル（ヘッダー）のシート名！項目名、  
チェックシートの対応するシート名！項目名

- c) [次へ]をクリックします。
- 4) 文字コードを設定します。
    - a) 文字コードと表示行数を選択します。
    - b) [切り替え]をクリックします。



- c) 文字化けが起こっていないことを確認し、[次へ]をクリックします。



- 5) 表示形式を設定します。

- a) 各表示形式を選択します。

**<区切り文字>**

テキストを区切っている記号を選択します。「その他」を選択した場合は、任意の記号を入力してください。

**<文字列の引用符>**

文字列を囲んでいる記号を選択します。「なし」にした場合は、引用符も文字列として処理されます。

**<先頭行>**

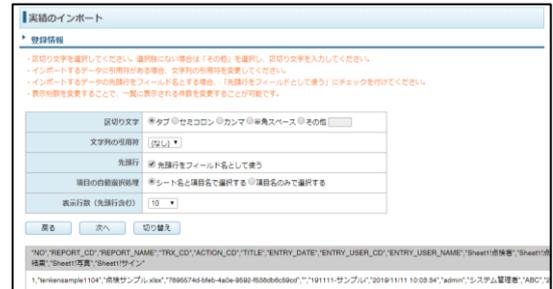
1行目をフィールド名として使用する場合はチェックを入れます。チェックを入れなかった場合は、1行目も実績の入力内容として処理されます。

**<項目の自動選択処理>**

フィールド名（1行目）にシート名がない場合は、「項目名のみで選択する」を選択します。

**<表示行数>**

確認用の表示画面で表示する行数を選択します。



- b) [切り替え]をクリックします。  
c) エラーがないことを確認し、[次へ]をクリックします。



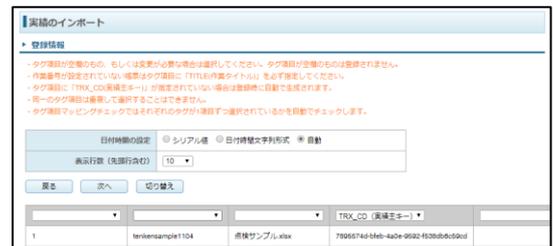
- 6) タグ項目を設定します。

- a) フィールド名のタグ項目を選択します。タグ項目が空欄のものは登録されません。

**<日付時間の設定>**

日付時間の書式を選択します。

- シリアル値
- 日付時間文字列形式
  - 日付： yyyy/MM/dd
  - 時刻： HH:mm:ss
  - タイムスタンプ： yyyy/MM/dd HH:mm:ss
- 自動



**<タグ項目>**

- タグ項目に「ACTION\_CD（作業番号） / TITLE（作業タイトル）」を必ず指定してください。
- タグ項目に「TRX\_CD(実績主キー)」が指定されていない場合は、登録時に自動的に生成されます。
- タグ項目は重複できません。
- タグ項目の実績値を空欄にすると対象実績の値は削除されます。

b) [切り替え]をクリックします。

c) エラーがないことを確認し、[次へ]をクリックします。

7) 実績重複時の処理方法を設定します。

a) 各項目を選択します。

**<重複の判定項>**

選択肢はチェックシートの作業番号タグの有無で変わります。

- 作業番号が設定されているチェックシートは、「ACTION\_CD(作業番号) / TITLE（作業タイトル）」を選択してください。
- タグ項目「TRX\_CD（実績主キー）」を指定した場合は、同じのTRX\_CD（実績主キー）がある実績が重複扱いとなります。

**<重複時の処理>**

重複内容を上書きして実績を更新する場合は、「更新する」を選択します。

**<表示行数>**

確認用の表示画面で表示する行数を選択します。

b) [切り替え]をクリックします。

c) エラーがないことを確認し、[次へ]をクリックします。

8) [インポート]をクリックします。



ポイント

インポート中は帳票および実績の登録はできません。

9) 処理結果が表示されます。

エラーが発生した場合は[戻る]をクリックし、設定内容を見直してください。

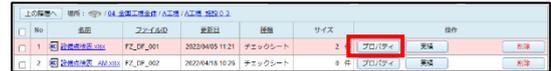
#### 4.9.2 実績のインポート設定

実績のインポート設定では、チェックシートごとでインポート時の設定管理できます。

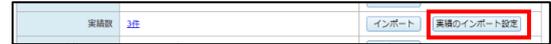
初期値は納入時に設定された内容となります。

また、個々で設定していない場合は、「システム管理」の内容で設定されています。システム管理での設定は「**エラー! 照元が見つかりません。エラー! 照元が見つかりません。**」を参照してください。実績の登録や管理方法については、「**4.8 チェックシートの実績の管理**」を参照してください。

- 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。



- 「実績数」の[実績のインポート設定]をクリックします。



## ファイル設定

**実績のインポート設定**

▶ 実績のインポート設定

- 自動インポートの場合、FTPでサーバに接続し、「action\_import」フォルダ配下にファイル名を「XXXX\_[ファイルID].csv」とするか、CSVファイルの先頭行にファイルIDを記載したファイルを格納してください。  
記載したファイルIDの帳票に対して自動インポートを行います。  
インポート結果は「action\_import\_result」フォルダ配下に出力されます。
- CSVファイルの先頭行（ファイルIDを除く）がフィールド名の場合、「先頭行をフィールド名として使う」を選択してください。
- 「先頭行をフィールド名として使う」を選択しない場合、項目の紐付け方法は「項目順で紐付け」のみ選択可能となります。

1	ファイルID	FZ_DF_001	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 50px; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 24px; font-weight: bold; color: green;">13</span> 登録                 </div>
2	文字コード	<input checked="" type="radio"/> UTF-8 <input type="radio"/> Shift_JIS <input type="radio"/> EUC_JP	
3	区切り文字	<input type="radio"/> タブ <input type="radio"/> セミコロン <input checked="" type="radio"/> カンマ <input type="radio"/> 半角スペース <input type="radio"/> その他 <input style="width: 40px;" type="text"/>	
4	文字列の引用符	[なし] ▼	
5	先頭行	<input checked="" type="checkbox"/> 先頭行をフィールド名として使う	
6	項目の紐付け方法	<input type="radio"/> 項目順で紐付け <input checked="" type="radio"/> 項目名で紐付け	
7	項目名の判別	<input type="radio"/> シート名！項目名 <input checked="" type="radio"/> 項目名のみ	
8	重複時の動作	<input checked="" type="radio"/> エラーとして扱う <input type="radio"/> 更新する	
9	重複確認のキー	<input checked="" type="radio"/> 作業番号 (ACTION_CD) / 作業タイトル (TITLE) <input type="radio"/> 実績主キー (TRX_CD)	
10	日付時間の指定	<input type="radio"/> シリアル値 <input type="radio"/> 日付時間文字列方式 <input checked="" type="radio"/> 自動	
11	(自動インポート) ログの言語	日本語 ▼	
12	メモ	<div style="border: 1px solid gray; height: 40px; width: 100%;"></div>	

No.	設定項目	内容
1	ファイル ID	チェックシートのファイル ID を表示しています。
2	文字コード	実績の文字コードを以下のコードで設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>UTF-8</li> <li>Shift_JIS</li> <li>EUC_JP</li> </ul> ※ 環境依存文字を含むデータをインポートする場合は UTF-8 にしてください。
3	区切り文字	実績の区切り文字を以下で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>タブ</li> <li>セミコロン</li> <li>カンマ</li> <li>半角スペース</li> <li>その他</li> </ul> ※ 「その他」を選択した場合は、CSV のデータ内に含まれない任意の記号を入力してください

No.	設定項目	内容
4	文字列の引用符	実績データの引用符を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> <li>「"」ダブルクォーテーション</li> <li>「'」シングルクォーテーション</li> </ul>
5	先頭行	CSV データの先頭行を項目名(フィールド名)にする設定をします。 ※ 先頭行を項目値にしない場合、⑥の「項目の紐づけ方法」は項目順となります。
6	項目の紐づけ方法	項目名のマッピングを、CSV の「項目順(フィールド順)」か「項目名(フィールド名)」で設定します。
7	項目名の判別	項目を指定する際に、シート名を含めるか、項目名のみかを設定します。
8	重複時の動作	インポートする実績が重複した場合、エラーとするか、上書き更新するかを設定します。
9	重複確認のキー	⑧で重複の確認をする際のキー項目を以下で指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>作業番号(ACTION_CD)/作業タイトル(TITLE)</li> <li>実績の主キー(TRX_CD)</li> </ul>
10	日付時間の指定	日時の表記方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>シリアル値</li> <li>日時文字列方式 yyyy/MM/dd(例:2017/01/01)</li> </ul>
11	(自動インポート)ログの言語	出力されるログの言語は、日本語のみの対応です。
12	メモ	個々のチェックシートごとに、メモ書き(注意書き)を残します。
13	登録	クリックすると「実績のインポート設定」と「項目マッピング設定」を登録します。

## 項目のマッピング設定

インポートする実績の項目を紐づける設定します。  
紐づける方法は、CSVの「項目順」と「項目名」です。どちらも設定を必ず行ってください。

**▶ 項目マッピング設定**

- ・インポートするCSVファイルの項目順(1から)、CSVの項目名を記入してください。  
CSV項目順、CSV項目名ともに必須項目となります。
- ・項目の紐づけ方法が「項目順」の場合、インポート時に「CSV項目順」で指定した番号をもとにCSVファイルの左から項目を読み込んでマッピングします。
- ・項目の紐づけ方法が「項目名」の場合、インポート時に「CSV項目名」で指定した項目名をもとにCSVファイルの先頭行(ファイルID除く)のフィールド名とマッピングします。

① No	② シート	③ 項目	④ CSV項目順	⑤ CSV項目名
1	-	作業番号 (ACTION_CD) /作業タイトル (TITLE)	1	ACTION_CD
2	-	実績主キー (TRX_CD)	2	TRX_CD
3	入力表	点検者	3	入力表 点検者
4	入力表	点検日	4	入力表 点検日
5	入力表	機種	5	入力表 機種
6	入力表	水温	6	入力表 水温
7	入力表	水量	7	入力表 水量

戻る 6

No.	設定項目	内容
1	No	実績登録時の項目の順番を表示します。
2	シート	チェックシートのシート名を表示します。
3	項目	実績登録時の項目名を表示します。
4	CSV 項目順	インポート時に紐づける項目の順番を指定します。 インポートは CSV ファイルの左から、設定した番号順に取り込みます。 1 以上かつ、重複しない数値を設定してください。
5	CSV 項目名	インポート時に紐づける項目名を指定します。 インポートする CSV ファイルの先頭行(フィールド名)でマッピングします。 ※ ファイル ID が先頭行にある場合、ファイル ID は取り込みません。
6	戻る	クリックすると、マスタのプロパティ画面に戻ります。

3) 設定が完了したら、[登録]ボタンをクリックします。

**実績のインポート設定**

▶ 実績のインポート設定

- ・自動インポートの場合、FTPでサーバに接続し、「action\_import」フォルダ配下にファイル名を「XXXX」ファイル名.csv とするが、CSVファイルの先頭行にファイルIDを記載したファイルを読み込んでください。
- ・記載したファイルIDの順番に対して自動インポートを行います。
- ・インポート結果は「action\_import\_result」フォルダ配下に出力されます。
- ・CSVファイルの先頭行(フィールド名)がファイル名の場合、「先頭行をフィールド名として使う」を選択してください。
- ・「先頭行をフィールド名として使う」を選択しない場合、項目の紐付け方法は「項目順で紐付け」のみ選択可能となります。

ファイルID	A02
文字コード	<input checked="" type="radio"/> UTF-8 <input type="radio"/> Shift_JIS <input type="radio"/> EUC_JP
区切り文字	<input type="radio"/> タブ <input type="radio"/> セミコロン <input checked="" type="radio"/> カンマ <input type="radio"/> 半角スペース <input type="radio"/> その他
文字列の引用符	[ ]
先頭行	<input checked="" type="checkbox"/> 先頭行をフィールド名として使う
項目の紐付け方法	<input type="radio"/> 項目順で紐付け <input checked="" type="radio"/> 項目名で紐付け
項目名の判別	<input type="radio"/> シート名 1 項目名 <input checked="" type="radio"/> 項目名のみ
重複時の動作	<input checked="" type="radio"/> エラーとして扱う <input type="radio"/> 更新する
重複確認のキー	<input checked="" type="radio"/> 作業番号 (ACTION_CD) 作業タイトル (TITLE) <input type="radio"/> 実績主キー (TRX_CD)
日付時間の指定	<input type="radio"/> シリアル値 <input type="radio"/> 日付時間文字列方式 <input checked="" type="radio"/> 自動
(自動インポート) ログの書き出し	[ ]
メモ	<div style="border: 1px solid gray; height: 20px;"></div>

登録

▶ 項目マッピング設定

- ・インポートするCSVファイルの項目順(1から)、CSVの項目名を記入してください。
- ・CSV項目順、CSV項目名ともに必須項目となります。
- ・項目の紐付け方法が「項目名」の場合、インポート時に「CSV項目順」で指定した番号をもとにCSVファイルの左から項目を読み込んでマッピングします。
- ・項目の紐付け方法が「項目名」の場合、インポート時に「CSV項目名」で指定した項目名をもとにCSVファイルの先頭行(フィールド名)のフィールド名をマッピングします。

No	シート	項目	CSV項目順	CSV項目名
1	-	作業番号 (ACTION_CD) 作業タイトル (TITLE)	1	ACTION_CD
2	-	実績主キー (TRX_CD)	2	TRX_CD
3	入力表	点検書	3	入力表点検書
4	入力表	点検日	4	入力表点検日
5	入力表	機種	5	入力表機種
6	入力表	水深	6	入力表水深
7	入力表	水量	7	入力表水量

戻る

## 4.10 実績のタグ検索

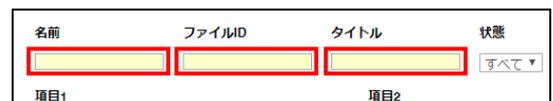
実績検索画面では、すべてのチェックシートを対象に検索できます。  
検索条件にタグの項目が指定できます。

- 1) フォルダタブをクリックし、実績検索を選択します。
- 2) 検索条件を入力し、[検索]をクリックします。検索条件を入力せずに検索した場合は、すべてのデータが表示されます。



### <名前/ファイルID/タイトルを指定>

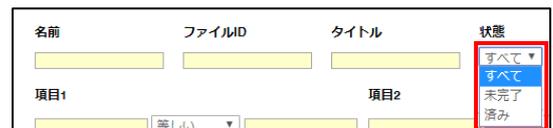
名前/ファイルID入力エリアをクリックし、検索条件を入力します。（部分一致）



### <作業状態の選択>

実績の状態を選択します。

- すべて：  
すべての実績を表示します。
- 未完了：  
作業が未完了の実績を表示します。
- 済み：  
作業が完了している実績を表示します。



### <更新日を指定>

- a) [更新日:開始日]をクリックし、開始日を入力します。  
開始日のみ指定した場合は、開始日以降が検索対象になります。



- b) [更新日:終了日]をクリックし、終了日を入力します。  
終了日のみ指定した場合は、終了日以前が検索対象になります。

### <更新者を指定>

実績の最終更新者を入力します。（部分一致）



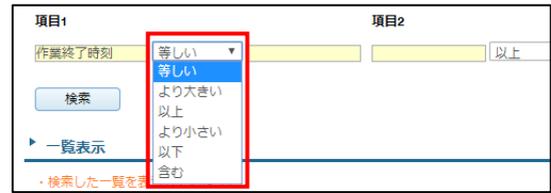
### <実績内容(項目1~3)を指定>

最大3項目まで指定できます。

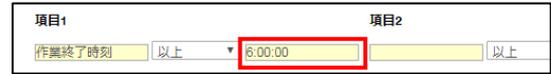
- a) 項目入力エリアをタップし、実績のタグの項目名を入力します。（完全一致）



b) 演算子のプルダウンをクリックし、検索する入力値に対応する演算子を選択します。



c) 手順a)で指定した項目に入力した実績内容を入力します。  
下記項目は完全一致で検索されます。その他の項目は部分一致です。



- 日付タグ例：2022/05/20
- 時間タグ例：2022/05/20 00:00:00
- 時刻タグ例：00:00:00

3) 検索結果が一覧に反映されます。



### 4.11 実績の表示項目の編集

実績の一覧から表示する実績の項目の表示形式を設定します。

- 1) 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。



- 2) 「実績の項目数」の[変更]をクリックします。
- 3) 並び順と表示設定を選択し、[登録]をクリックします。  
種類に表示されるタグ項目の種類については、次ページの表を参照してください。



**<並び順>**

項目の並び順を選択します。  
プルダウンの左側に表示されている値が現在の順番\*です。  
同じ値の場合は、項目の記述順に並びます。  
※ プルダウンで選択した数値-1

項目名	種類	並び順	表示設定
点検者	TEXTBOX	0 1	true
点検日	CALENDAR	0 2	true
点検結果	CHECKBOX	0 3	true
写真	PHOTOBOX	0 4	true
サイン	SIGN	0 5	true

**<表示設定>**

項目の表示/非表示を選択します。

- true： 表示
- false： 非表示

項目名	種類	並び順	表示設定
点検者	TEXTBOX	0 1	true
点検日	CALENDAR	0 1	非表示

- 4) 完了メッセージが表示されたら、[戻る]をクリックします。



- 5) チェックシートのプロパティ画面の非表示件数が変更されます。
- 6) 実績を表示し、表示内容を確認します。



例: 点検結果の並び順を「2」、点検者を非表示にした場合

No	タイトル	更新日	更新者	Sheet1	Sheet1	Sheet1	Sheet1	Sheet1
1	点検表01	2019/11/04 14:27	システム管理者	f	2019/11/10	OK	写真	サイン

No	タイトル	更新日	更新者	Sheet1	Sheet1	Sheet1	Sheet1
1	点検表01	2019/11/04 14:27	システム管理者	2019/11/10	写真	サイン	点検結果 OK

## タグ項目の種類

No.	タグ項目	タグ名	No.	タグ項目	タグ名
1	ACTION	作業番号タグ	16	IMAGE	画像タグ
2	TEXTBOX	入力タグ	17	MOVIE	動画タグ
3	CODEBOX	コードタグ	18	LINK	リンクタグ
4	NUMERIC	数値タグ	19	ENV	環境タグ
5	MOVE	移動タグ	20	APPROVE	承認タグ
6	CHECKBOX	確認タグ	21	USERSTAMP	承認印タグ
7	RADIO	選択タグ	22	DB	データタグ
8	COMBOBOX	一覧タグ	23	DBFIELD	データ表示タグ
9	CALENDAR	日付タグ	24	DBFIND	データ検索タグ
10	MINUTE	時刻タグ	25	SIGN	サインタグ
11	TIME	時間タグ	26	REFERENCE	参照タグ
12	TIMER	タイマータグ	27	SHAPE	シェープタグ
13	SET	転記タグ	28	CSV	CSV タグ
14	PHOTOBOX	写真タグ	29	CSVFIELD	CSV 表示タグ
15	QRREADER	QR リーダータグ			

## 4.12 実績の承認

実績の承認画面では、承認タグの承認状況の確認や承認操作ができます。

### 4.12.1 実績の承認の確認

1) 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。



2) 「実績の承認」の[参照]をクリックします。



3) 実績の承認画面が表示されます。



4) 実績の状態を絞り込む場合は、状態のプルダウンで検索したい状態を選択し、[検索]をクリックします。

- ・ 認可： 承認が許可されている実績
- ・ 拒否： 承認が拒否されている実績
- ・ 未： 承認されていない実績



### 4.12.2 実績の承認操作

1) 「4.12.1」を参照し、実績の承認を表示します。

2) 承認状態を変更する承認者の[移動ボタン]をクリックします。



3) 操作のボタンをクリックし、承認状態を変更します。

- ・ 認可： 承認を許可します
- ・ 拒否： 承認を拒否します
- ・ 未： 未承認状態に戻します



4) [戻る]をクリックし、実績の承認画面に戻ります。

### 4.13 チェックシートのセキュリティの設定

チェックシートのセキュリティー画面では利用者ごとに権限を設定できます。  
セキュリティの設定方法は「7.2」を参照してください。

### 4.14 チェックシートの属性の設定

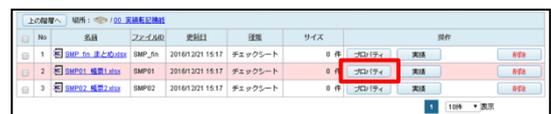
チェックシートの属性では実績の登録、更新時の動作※を設定します。

※ 各種チェックシートの状態の変更しただけでは動作しません。

- CSV自動出力： 実績更新時にCSVファイルを設定した任意のフォルダへ出力します。
- EXCEL自動出力： 実績更新時にExcelファイルを設定した任意のフォルダへ出力します。
- タイトル先： タイトルの付与タイミングを指定します。
- EXCEL出力再計算： 数式の再計算の有無を指定します。
- PDF自動出力： 実績更新時にPDFファイルを設定した任意のフォルダへ出力します。

#### 設定方法

- 1) 「4.3」を参照し、チェックシートのプロパティを表示します。
- 2) 「属性」の[変更]をクリックします。
- 3) 属性情報画面の[新しい属性]をクリックします。



#### <既存の属性を編集する場合>

属性の一覧から編集する属性の[編集]をクリックします。  
編集方法については、手順4)を参照してください。



- 4) 新しい属性画面で登録する属性を選択します。

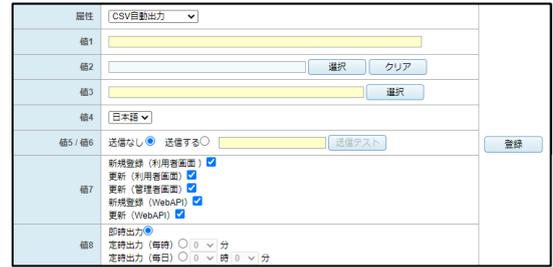


5) 属性の内容を設定\*します。

※ [登録]ボタンは実画面では異なる位置に配置されています。

**<CSV自動出力>**

CSV形式のファイルを自動出力する場合の保存フォルダを指定します。



- 値1 :  
自動出力するCSVファイルの出力先パスを設定します。  
実績送信時、サーバーにFTP接続した際のルートフォルダ「export」の出力先パスに出力します。

FTP接続については別紙「**【補足資料】XC-Gate.V3\_FTP接続について**」を参照ください。  
下記の例での指定では「/export/test/R1000/csv/」に出力されます。

例 「/test/R1000/csv/」

- ファイル名の指定 :  
最後が/で終わる場合 ; フォルダ名指定  
最後が/で終わらない場合 ; フォルダ名およびファイル名\*指定  
例1 指定 : 「/test/csv/」  
出力 : 「/export/test/csv/自動でつけられたファイル名」  
例2 指定 : 「/test/csv/R1000.csv」  
出力 : 「/export/test/csv/R1000.csv」

※ 同名のファイルが存在する場合は以下のように連番を付与したファイルが出力されます。

「/export/test/csv/R1000-0.csv」  
「/export/test/csv/R1000-1.csv」

- 特殊な変数 :  
ファイル名に、出力時に特定の文字に置き換わる特殊な変数が使用できます。  
例 ファイル名の指定  
指定 : 「/test/csv/[\$FILE\_ID]/[\$NODE:\_]\_[\$FILE\_ID].csv」  
出力 : 「/export/test/csv/R1000/FOL1\_FOL2\_FOL3\_R1000.csv」

変数名	説明
[\$FILE_ID]	ファイル ID に置き換わります。
[\$FILE_NAME]	ファイル名に置き換わります。ドット以降はカットします。
[\$TITLE]	実績のタイトルに置き換わります。
[\$NODE:区切り文字]	現在のフォルダ階層に置き換わります。 例 区切り文字が”_”の場合 フォルダ 1_フォルダ 2_フォルダ 3
[\$PRE_NODE:先頭文字]	現在のフォルダ階層に置き換わります。 例 先頭文字が”_”の場合 _フォルダ 1_フォルダ 2_フォルダ 3

- 値2 :  
自動出力するCSV出力設定を指定します。  
[選択]をクリックし、CSV出力設定を選択してください。  
※ [選択]のクリック時、ポップアップがブロックされた場合は、ポップアップブロックを解除してください。
- 値3 :  
値が入力されたときCSV出力を実行する項目を指定します。  
未入力の場合は常に出力を行います。  
[\$シート名!タグ名]の形式で記載してください。  
例 [\$Sheet1!項目01]

- 値4：  
CSVの言語（日本語）を設定します。
- 値5：  
CSV出力時にエラーが発生した場合の、エラー通知メール送信の有無を設定します。
  - 初期値： 送信なし

エラーメール通知項目	送信内容
タイトル	XC-Gate メール自動送信【フォルダパス構成】
本文	チェックシート属性設定の CSV 出力処理でエラーが発生しました
チェックシート名	チェックシートのファイル名
ファイル ID	チェックシートのファイル ID
実績タイトル	実績のタイトル
実績登録日	登録日時 (yyyy/MM/dd HH:mm:ss)
エラーログ情報	エラー内容

- 値6：  
エラー通知メールの送信先を設定します。カンマ（,）区切りで複数の宛先に設定できます。
  - メールアドレスの送信テスト：  
[テスト送信]をクリックし、テストメールが設定されたアドレスに送信されているか確認します。



ポイント

通知メール送信機能を使用する場合は、メニューのシステム管理でサーバーに関する設定をしてください。

設定内容については「メールサーバーの設定」(13.2)を参照してください。

- 値7：  
CSVを出力するにあたってのトリガーを設定します。
  - 新規登録（利用者画面）：利用者画面でのチェックシート新規登録の実行時
  - 更新（利用者画面）：利用者画面でのチェックシート登録更新の実行時
  - 更新（管理者画面）：管理者画面でのチェックシート登録更新の実行時
  - 新規登録（WebAPI）：WebAPIでのチェックシート新規登録の実行時
  - 更新（WebAPI）：WebAPIでのチェックシート登録更新の実行時
- 値8：  
CSV出力のタイミングを設定します。
  - 即時出力：「値7」で設定した実行時に即CSV出力します。
  - 定時出力（毎時）：設定した分で、1時間ごとにCSV出力します。\*
  - 定時出力（毎日）：設定した時分で、1日ごとにCSV出力します。\*

※ 設定時間まで、CSV出力対象をプールし、出力します。



ポイント

自動出力した CSV ファイルは、サーバーに蓄積され、容量が圧迫する恐れがありますので、一定期間保存後、削除する設定をしてください。削除設定は「

**実績登録後 各ファイル自動出力共通設定**」を参照してください。

**<EXCEL自動出力>**

xlsx形式のファイルに自動出力する場合の保存フォルダを指定します。

- 値1：  
自動出力するExcelファイルの出力先パスを設定します。  
実績送信時、サーバーにFTP接続した際のルートフォルダ「export」の出力先パスに出力します。

FTP接続については別紙「**【補足資料】XC-Gate.V3\_FTP接続について**」を参照ください。

例 「/export/test/R1000/excel/」

－ ファイル名の指定：

最後が/で終わる場合； フォルダ名指定

最後が/で終わらない場合； フォルダ名およびファイル名※指定

例1) 指定：「/export/test/R1000/」

出力：「/export/test/R1000/自動でつけられたファイル名」

例2) 指定：「/export/test/ R1000.xlsx」

出力：「/export/test/ R1000.xlsx」

※ 同名のファイルがすでに存在する場合、以下のように連番を付与したファイルが出力されます。  
「/export/test/R1000-0.xlsx」、「/export/test/R1000-1.xlsx」

－ 特殊な変数：

ファイル名に、出力時に特定の文字に置き換わる特殊な変数が使用できます。

例 ファイル名の指定

指定：「/export/test/[\$FILE\_ID]/[\$NODE:\_]\_[\$FILE\_ID].xlsx」

出力：「/export/test/R1000/FOL1\_FOL2\_FOL3\_R1000.xlsx」

変数名	説明
[\$FILE_ID]	ファイル ID に置き換わります。
[\$FILE_NAME]	ファイル名に置き換わります。ドット以降はカットします。
[\$TITLE]	実績のタイトルに置き換わります。
[\$NODE:区切り文字]	現在のフォルダ階層に置き換わります。 例 区切り文字が”_”の場合 フォルダ 1_フォルダ 2_フォルダ 3
[\$PRE_NODE:先頭文字]	現在のフォルダ階層に置き換わります。 例 先頭文字が”_”の場合 _フォルダ 1_フォルダ 2_フォルダ 3
[\$YYYY]	現在の年に置き換わります。
[\$MM]	現在の月に置き換わります。
[\$DD]	現在の日に置き換わります。
[\$HH]	現在の時に置き換わります。
[\$MI]	現在の分に置き換わります。
[\$SS]	現在の秒に置き換わります。
[\$MS]	現在のミリ秒に置き換わります。

- 値2：  
値が入力されたときEXCEL出力を実行する項目を指定します。  
未入力の場合は常に出力を行います。  
[\$シート名!タグ名]の形式で記載してください。

例 [\$Sheet1!項目01]

- 値3：  
EXCEL出力時にエラーが発生した場合、エラー通知メール送信の有無を設定します。  
- 初期値： 送信なし

エラーメール通知項目	送信内容
タイトル	XC-Gate メール自動送信【フォルダパス構成】
本文	チェックシート属性設定の EXCEL 出力処理でエラーが発生しました
チェックシート名	チェックシートのファイル名
ファイル ID	チェックシートのファイル ID
実績タイトル	実績のタイトル
実績登録日	登録日時(yyyy/MM/dd HH:mm:ss)
エラーログ情報	エラー内容

- 値4：  
エラー通知メールの送信先を設定します。カンマ(,)区切りで複数の宛先に設定できます。  
- メールアドレスの送信テスト：  
[テスト送信]をクリックし、テストメールが設定されたアドレスに送信されているか確認します。



**ポイント**

通知メール送信機能を使用する場合は、メニューのシステム管理でサーバーに関する設定をしてください。

設定内容については「メールサーバーの設定」(13.2)を参照してください。

**<タイトル先>**

チェックシート入力画面の開始前に、作業タイトルを先行入力するかを設定します。

属性	タイトル先 ▼	登録
値1	<input type="text"/>	

- 値1 (半角入力)：  
作業番号タグを記述したチェックシートは、この属性に自動で1が入ります。  
作業番号ありチェックシートで本項目を0に設定すると、作業タイトル画面が表示されず、作業番号先行入力機能が消えます。

**<EXCEL出力再計算>**

出力したExcelファイルを開いたとき、数式の再計算処理の有無を設定します。

属性	EXCEL出力再計算 ▼	登録
値1	<input type="text"/>	

- 値1 (半角入力)：
  - [0]※： Excelファイルの作成時に再計算処理を実行し、Excelファイルの表示時は再計算の追加設定を行いません。(印刷テンプレートのExcelファイルに依存します)
  - [1]： Excelファイルの表示時に再計算を実行する追加設定を行います。
 ※ 変換処理に対応していないExcel関数を使用すると、再計算処理を実行しない場合があります。

**<PDF自動出力>**

PDF形式のファイルを自動出力する場合設定します。

詳しくは、別冊「XC-GateV3 PDF出力機能取扱説明書」を参照ください。

## 5 ファイルの管理

チェックシートには、画像や動画の他、参照したい関連文書（.docx、.xlsx、.pdfなど）※が配置できます。チェックシートに関連するファイルは、チェックシートと同階層のフォルダに登録し管理してください。

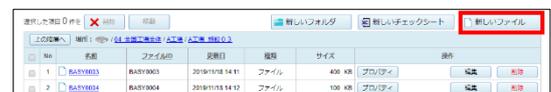
※ ファイル形式の制限はありませんが、利用者画面での各ファイルの動作はWebブラウザに基づきます。

### 5.1 新規ファイルの登録

- 1) 「3.2」を参照し、ファイルを登録するフォルダを表示します。



- 2) [新しいファイル]をクリックします。ファイルの登録画面が表示されます。



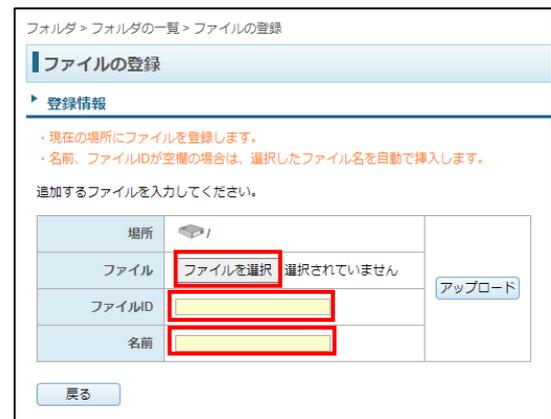
- 3) 「ファイル」の[ファイルを選択]をクリックし、登録するファイルを選択します。
- 4) 「ファイルID」/「名前」の入力エリアをクリックし、ファイル名/ID※を入力します。



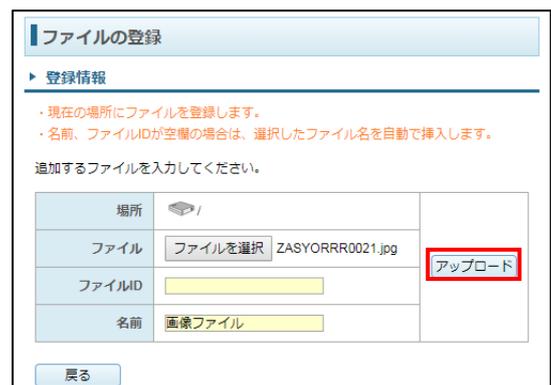
ポイント

- 空欄の場合は、選択したファイルの名前が反映されます。
- 同一階層に同じファイル ID のファイルがある場合は上書きします。

※ 非推奨文字、禁止文字は「12.1」を参照してください。



- 5) [アップロード]をクリックします。[戻る]をクリックすると、ファイルを作成せずに前の画面に戻ります。



- 6) 完了画面の[戻る]をクリックします。



## 5.2 ファイルのプロパティの表示

ファイルのプロパティでは、ファイルの詳細情報の確認および編集ができます。セキュリティの編集方法については「7章」を参照してください。

- 1) 「3.2」を参照し、作業するフォルダを表示します。



- 2) プロパティを表示したいファイル行の[プロパティ]をクリックします。ファイルのプロパティ画面が表示されます。



### ファイルのプロパティ画面

フォルダ > フォルダの一覧 > ファイルのプロパティ

#### ファイルのプロパティ

▶ 詳細情報

- ・ファイルのプロパティを表示しています。
- ・サイズの横にあるダウンロードボタンを押すとファイルをダウンロードします。

1	場所	/ 04_全国工場全体 / A工場 / A工場_施設03 /			
2	名前	BASY0003.png			
3	ファイルID	BASY0003.png			
4	更新日	2016/06/28 18:28			
5	種類	ファイル			
6	サイズ	400 KB	ダウンロード		
7	ファイル	ファイルを上書き登録します。		変更	
8	セキュリティ		読込	書込	削除
		admin	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		(継承) admin	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		(継承) admin	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		(継承) admin	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		(継承) ADMINISTRATORS	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(継承) USERS	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

戻る 9

No.	各部名称	概要	参照
1	場所	ファイルの保存場所を表示します。	
2	名前	ファイルの名前を表示します。	
3	ファイル ID	ファイルのファイル ID を表示します。	
4	更新日	ファイルが更新された日時を表示します。	
5	種類	ファイルの種類(ファイル)を表示します。	
6	サイズ	ファイルの容量を表示します。 • ダウンロード: ファイルをダウンロードします。	
7	ファイル	ファイルを上書き登録します。	5.4
8	セキュリティ	アクセス権限の状況を表示します。 • 変更: ファイルのセキュリティー一覧画面を表示し、アクセス権限を編集します。	7.1
9	戻る	前の画面に戻ります。	

### 5.3 ファイルのダウンロード

登録しているファイルをダウンロードします。

- 1) 「5.2」を参照し、ファイルのプロパティを表示します。
- 2) 「サイズ」の[ダウンロード]をクリックします。
- 3) ダウンロードされたファイルを開きます。  
Webブラウザにより操作方法は異なります。



## 5.4 ファイルの上書き(変更)

ファイル名/ファイルIDを変更したい場合は、登録したファイルを上書き(変更)します。

- 1) 「3.2」を参照し、変更するファイルが登録されたフォルダを表示します。



- 2) 変更したいファイル行の[編集]をクリックします。ファイルの登録画面が表示されます。



- 3) 名前/ファイルID入力エリアをクリックし、ファイル名/ID\*を変更します。



ポイント

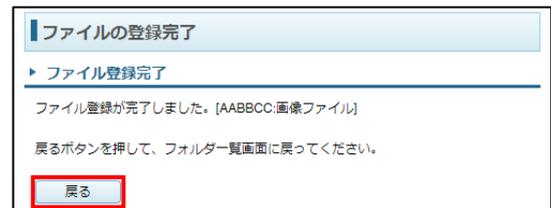
- 別のファイルと重複するファイル ID は登録できません。
- ファイルは変更できません。

※ 非推奨文字、禁止文字は「12.1」を参照してください。

- 4) [登録]をクリックします。



- 5) 完了画面の[戻る]をクリックします。



## 5.5 ファイルのセキュリティの設定

チェックシートのセキュリティ一覧画面では利用者ごとに権限を設定できます。セキュリティの設定方法は「7.2」を参照してください。

## 6 ユーザーの管理

利用者/グループに関する設定方法について説明します。

### 利用者、グループの定義

- 管理者： すべての操作権限を持つユーザーです。  
初期登録利用者が設定されます。  
利用者コード： admin
- 利用者： アクセス権限を設定された一般ユーザーです。  
利用者コード： 任意  
**<制限される操作>**  
-管理者により設定された項目や利用者の削除  
-管理者により禁止されている操作
- グループ： 同じ権限を与えられた利用者の集まりです。

### グループ

初期設定として以下のグループが登録されています。  
初期設定に登録されているグループは削除できません。  
グループコード、グループ名、管理画面利用権限は変更できません。

- ADMINISTRATORS：  
システムに対してのすべてのアクセス権限がある管理者用のグループです。
- USERS：  
すべての利用者が所属するグループです。

## 6.1 利用者の管理

### 6.1.1 利用者の一覧画面

登録されている利用者が一覧表示されます。

No.	各部名称	概要	参照
1	検索	利用者を検索します。	<b>6.1.2</b>
2	削除	選択した利用者を削除します。	<b>6.1.5</b>
3	ダウンロード	選択した利用者の一覧を CSV ファイルでダウンロードします。	<b>6.1.6</b>
4	新しい利用者	新しい利用者を追加します。	<b>6.1.3</b>
5	チェックボックス	削除または編集対象を選択します。	—
6	利用人名	利用人名を表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順/降順に並べ変えます。*	—
7	利用者コード	利用者の利用者コードを表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順/降順に並べ変えます。*	—
8	前回ログイン	前回ログインした年月日を表示します。	—
9	有効期限	利用可能な期限日を表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順/降順に並べ変えます。*	—
10	登録日	利用者が登録された日時を表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順/降順に並べ変えます。*	—
11	操作	各データの操作ボタンを表示します。	<b>6.1.4</b> <b>6.3</b> <b>6.4</b>
12	ページ移動	ページ番号をクリックすると該当ページに移動します。	—
13	表示件数	画面の表示件数を切り替えます。 • 10件/20件/30件/50件/100件/200件/500件/1000件	—

※ ヘッダーの項目をクリックした順序で昇順/降順に並べ変えます。

## 6.1.2 利用者の表示

登録されている利用者を一覧表示します。



ポイント

読込権限のない利用者は表示されません。(7.1、7.2)

- 1) 利用者メニューの[利用者の一覧]をクリックし、フォルダ一覧画面を表示します。



- 2) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。  
検索条件を入力せずに検索した場合は、すべての利用者が表示されます。



### <利用者名/利用者コードを指定>

利用者名/利用者コード入力エリアをクリックし、検索条件を入力します。(部分一致)



### <登録日を指定>

- a) [登録日：開始日]をクリックし、開始日を入力します。  
開始日のみ指定した場合は、開始日以降が検索対象になります。
- b) [登録日：終了日]をクリックし、終了日を入力します。  
終了日のみ指定した場合は、終了日以前が検索対象になります。



- 3) 利用者の一覧から各種操作をします。

No.	利用者名	利用者コード	登録日	有効期限	操作	
1	システム管理者	admin	2015/05/03	2009/12/31	2015/05/13 14:54	編集 クラウド 削除
2	アカリジューモザ1	hankyu01	2015/05/02	2009/12/31	2015/05/23 15:51	編集 クラウド 削除
3	アカリジューモザ2	hankyu02	2015/05/03	2009/12/31	2015/05/23 15:55	編集 クラウド 削除
4	アカリジューモザ3	hankyu03	2015/05/03	2009/12/31	2015/05/23 15:56	編集 クラウド 削除
5	アカリジューモザ4	hankyu04	2015/05/03	2009/12/31	2015/05/23 14:54	編集 クラウド 削除
6	アカリジューモザ5	hankyu05	2015/05/03	2009/12/31	2015/05/23 15:16	編集 クラウド 削除
7	アカリジューモザ6	hankyu06	2015/05/03	2009/12/31	2015/05/23 15:17	編集 クラウド 削除
8	アカリジューモザ7	hankyu07	2015/05/03	2009/12/31	2015/05/23 15:19	編集 クラウド 削除
9	アカリジューモザ8	hankyu08	2015/05/03	2009/12/31	2015/05/23 15:16	編集 クラウド 削除
10	アカリジューモザ9	hankyu09	2015/05/03	2009/12/31	2015/05/23 15:53	編集 クラウド 削除

### 6.1.3 利用者の登録

新しい利用者を追加します。

- 1) 「6.1.2」を参照し、利用者の一覧画面を表示します。



- 2) [新しい利用者]をクリックします。



- 3) 利用者コード入力エリアをクリックし利用者コードを入力します。

**<利用者コードのルール>**

- 入力文字数： 1～60文字
- 最初/最後の文字： 半角英数字
- 使用可能文字： 半角英数字、\_、.、@、-

利用者コード*	document_user
利用者名*	資料作成ユーザ
利用者名カナ	シリョウサクセイユーザ

- 4) 利用者名入力エリアをクリックし利用者名を入力します。  
振り仮名をつける場合は利用者名カナ入力エリアをクリックし入力してください。

**<利用者名のルール>**

- 入力文字数： 1～40文字
- 禁則文字： “、¥、タブ文字

利用者コード*	document_user
利用者名*	資料作成ユーザ
利用者名カナ	シリョウサクセイユーザ

- 5) パスワードを入力します。
  - a) パスワード入力エリアをクリックし、ログイン用のパスワードを入力します。
  - b) パスワード確認入力エリアをクリックし、手順a)と同じ内容を入力します。

**<パスワードのルール>**

パスワードの詳しいルールは「13.7利用者セキュリティ設定」を参照してください。

- 入力文字数： 1～30文字
- 使用可能文字： 半角英数、記号※  
※ 特殊記号(機種依存文字)は使用できません。

利用者名カナ	シリョウサクセイユーザ
パスワード*	*****
パスワード確認*	*****

- 6) 必要な場合は、利用者に関する各種設定をします。

**<メールアドレス>**

利用者のメールアドレスを入力します。  
メール送信機能のメール通知を使用したとき指定のメールアドレスに送信されます。

- 入力文字数： 最大255文字

**<コメント>**

利用者に関する補足情報を入力します。  
利用者の編集画面で確認できます。

メールアドレス	document@technotree.com
コメント	
ログイン区分	利用者画面 / 管理者画面
有効期限	2999/12/31
FTP利用可否	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否
利用者印	<div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="button" value="ファイルを選択"/> 印影.png                 <div style="margin-left: 20px; text-align: center;">  </div> <input type="button" value="削除"/> </div>

**<ログイン区分>**

利用者のログイン権限を選択します。

- 利用者画面/管理者画面：  
利用者画面、管理者画面にログインできます
- 利用者画面のみ：  
利用者画面にログインできます
- 無効：  
ログインできません。  
無効にした利用者はユーザー数にカウントされません。（2.3）

**<有効期限>**

利用者が使用できる期限を入力します。

期限を指定しない場合は初期設定を変更しないでください。

- 初期設定： 2999/12/31
- 入力例： 2022年1月31日→2022/01/31

**<FTP利用可否>**

利用者がFTP接続を利用できるか否かを設定します。

- 初期設定： 可  
※ 利用者の所属グループがFTP接続の利用を「否」にしている場合、利用者が「可」に設定していてもFTP接続は利用できません。（6.2.3）  
FTP接続については別紙「**【補足資料】XC-Gate.V3\_FTP接続について**」を参照ください。

**<利用者印>**

承認印タグで使用する印影を登録します。

[ファイルを選択]をクリックし、印影ファイル（jpg/bmp/png/tif）を選択してください。

[削除]をクリックすると、選択中のファイルを削除します。

- 7) [確認]をクリックします。  
[戻る]をクリックすると、利用者を登録せずに前の画面に戻ります。

利用者コード	document_user
利用者名	資料作成ユーザ
利用者名カナ	シヨウワクサイユーザ
パスワード	*****
パスワード確認	*****
メールアドレス	document@technotree.com
コメント	
ログイン区分	利用者画面/管理者画面
有効期限	2999/12/31
FTP利用可否	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否
利用者印	<div style="text-align: right;">  </div> <input type="button" value="ファイルを選択"/> 印影.png <input type="button" value="削除"/>
<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="確認"/>	

- [登録]をクリックします。  
内容を修正する場合は[キャンセル]をクリックし、利用者の登録画面に戻ってください。

利用者の登録確認	
登録情報	
利用コード	document_user
利用名	資料作成ユーザ
利用名カナ	シリオワサクセイユーザ
パスワード	非表示
パスワード確認	非表示
メールアドレス	document@technotree.com
コメント	
ログイン区分	利用者画面/管理者画面
有効期限	2999/12/31
利用者印	
FTP利用可否	可
<input type="button" value="キャンセル"/> <input style="border: 2px solid red;" type="button" value="登録"/>	

- 完了画面の[戻る]をクリックします。  
利用者のセキュリティのアクセス権限に登録者が自動的に登録されます。

利用者の登録完了

登録情報

利用者を登録しました。

戻るボタンを押して、利用者の一覧に戻ってください。

### 6.1.4 利用者の編集

利用者の登録内容を編集します。



ポイント

- 読込権限および書込権限のない利用者は、対象利用者を編集できません。(7.1、7.3)
- 利用者本人の場合、「利用者コード」、「ログイン区分」、「有効期限」の編集はできません。

- 「6.1.2」を参照し、利用者の一覧画面を表示します。

- 対象利用者行の[編集]をクリックします。  
利用者の編集画面が表示されます。

No	登録名	権限ユーザ	所属ログイン	有効期限	発注日	編集	操作
1	システム管理者	admin	2022/06/30	2999/12/31	2022/06/03 17:53	<input style="border: 2px solid red;" type="button" value="編集"/>	グループ セキュリティ
2	資料作成ユーザ	document_user		2999/12/31	2022/06/03 11:11	<input type="button" value="編集"/>	グループ セキュリティ

- 「6.1.3」の手順3)以降を参照し、利用者の設定および登録をします。

#### <パスワードについて>

パスワードとパスワード確認は空欄で表示します。変更する場合のみ入力してください。

#### <パスワードのルールについて>

パスワードの詳しいルールは「13.7利用者セキュリティ設定」を参照してください。

利用者の編集

登録情報

\*は必須項目です。  
・利用名に英数字以外(半角カタカナ)は使用しないでください。  
・パスワードは変更がある場合のみ入力してください。  
・メールアドレスの文字数は255文字です。

利用コード	document_user
利用名	資料作成ユーザ
利用名カナ	シリオワサクセイユーザ
パスワード	<input style="border: 2px solid red;" type="text"/>
パスワード確認	<input style="border: 2px solid red;" type="text"/>
メールアドレス	document@technotree.com
コメント	
ログイン区分	利用者画面/管理者画面
有効期限	2999/12/31
FTP利用可否	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否
利用者印	<input type="button" value="ファイルを選択"/> <span>選択されていません</span> <input style="border: 2px solid red;" type="button" value="印影"/> <input type="button" value="削除"/>

## 6.1.5 利用者の削除

利用者の削除方法について説明します。



ポイント

読込権限および削除権限のない利用者は、対象利用者を削除できません。(7.1、7.3)  
ログイン中の利用者および管理者グループに属する利用者は削除できません。

- 1) 「6.1.2」を参照し、利用者の一覧画面を表示します。



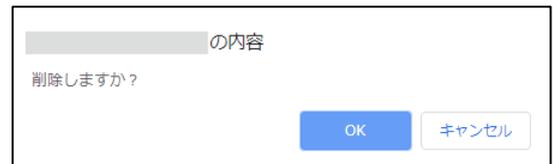
- 2) 利用者を削除します。

- a) 削除したい利用者行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。



- b) [×削除]をクリックします。

- 3) 確認画面の[OK]をクリックします。  
選択した利用者が削除されます。



### 6.1.6 利用者一覧の CSV 出力

一覧で選択した利用者をCSVファイルに出力します。

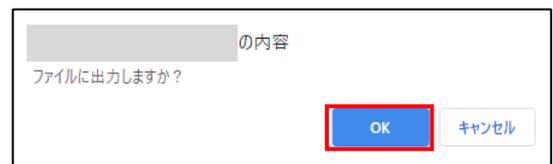
- 1) 「6.1.2」を参照し、利用者の一覧画面を表示します。



- 2) 利用者一覧をCSV出力します。
  - a) 出力したい利用者行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
  - b) [ダウンロード]をクリックします。



- 3) [OK]をクリックすると、「user.csv」の名称でCSVファイルがダウンロードされます。



ポイント

- CSVに出力される項目については「CSV ファイルの編集内容 (13.8.2)」を参照してください。
- 利用者のパスワード情報はダウンロードされません。

## 6.2 グループの管理

### 6.2.1 グループの一覧画面

登録されているグループが一覧表示されます。

No.	各部名称	概要	参照
1	検索	グループを検索します。	<b>6.2.2</b>
2	削除	選択したグループを削除します。	<b>6.2.5</b>
3	新しいグループ	新しいグループを追加します。	<b>6.2.3</b>
4	チェックボックス	削除または編集対象を選択します。	—
5	グループコード	グループコードを表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順/降順に並べ変えます。※	—
6	グループ名	グループの名称を表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順/降順に並べ変えます。※	—
7	登録者数	グループに登録されている利用者の人数を表示します。	—
8	有効期限	利用可能な期限日を表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順/降順に並べ変えます。※	—
9	登録日	グループが登録された日時を表示します。 ヘッダーをクリックすると昇順/降順に並べ変えます。※	—
10	操作	各データの操作ボタンを表示します。	<b>6.2.4</b> <b>6.3</b> <b>6.4</b>
11	ページ移動	ページ番号をクリックすると該当ページに移動します。	—
12	表示件数	画面の表示件数を切り替えます。 • 10件/20件/30件/50件/100件/200件/500件/1000件	—

※ ヘッダーの項目をクリックした順序で昇順/降順に並べ変えます。

## 6.2.2 グループの表示

登録されているグループを一覧表示します。



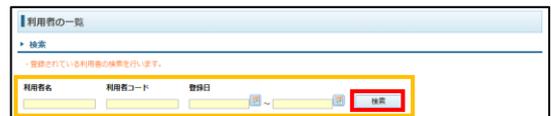
読込権限のないグループは表示されません。(7.1、7.3)

ポイント

- 1) 利用者メニューの[グループの一覧]をクリックし、フォルダー一覧画面を表示します。



- 2) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。  
検索条件を入力せずに検索した場合は、すべてのグループが表示されます。



### <グループコード/グループ名を指定>

グループ名/グループコード入力エリアをクリックし、検索条件を入力します。(部分一致)



### <登録日を指定>

- a) [登録日：開始日]をクリックし、開始日を入力します。  
開始日のみ指定した場合は、開始日以降が検索対象になります。

開始日 終了日

- b) [登録日：終了日]をクリックし、終了日を入力します。

終了日のみ指定した場合は、終了日以前が検索対象になります。



- 3) グループの一覧から各種操作をします。

No.	グループコード	グループ名	登録件数	有効期限	登録日	操作
1	AC001	AB001	3	2009/12/31	2015/05/29 11:27	編集 削除 一括操作
2	AC002	AB002	4	2009/12/31	2015/05/29 11:28	編集 削除 一括操作
3	AC003	AB003	6	2009/12/31	2015/05/29 11:26	編集 削除 一括操作
4	AC004	AB004	3	2009/12/31	2015/05/29 11:29	編集 削除 一括操作
5	AC005	AB005	4	2009/12/31	2015/05/29 11:28	編集 削除 一括操作
6	AC006	AB006	3	2009/12/31	2015/05/29 11:32	編集 削除 一括操作
7	AB00A	AD00A	1	2009/12/31	2015/05/29 11:33	編集 削除 一括操作
8	ADMINISTRATORS	ADMINISTRATORS	0	2009/12/31	2015/05/19 14:54	編集 削除 一括操作
9	USER0	USER0	0	2009/12/31	2015/05/19 14:54	編集 削除 一括操作

### 6.2.3 グループの登録

新しいグループを追加します。

- 1) 「6.2.2」を参照し、グループの一覧画面を表示します。



- 2) [新しいグループ]をクリックします。



- 3) グループコード入力エリアをクリックし利用者コードを入力します。

#### <グループコードのルール>

- 最初/最後の文字： 半角英数字
- 使用可能文字： 半角英数字、\_、.、@、-
- 入力文字数： 1~60文字

グループコード*	A03HAN
グループ名*	

- 4) グループ名入力エリアをクリックしグループ名を入力します。

- 入力文字数： 1~40文字

グループコード*	A03HAN
グループ名*	A03班長

- 5) 必要な場合は、グループに関する各種設定をします。

#### <管理者画面利用権限>

グループのログイン権限を選択します。

- 定義なし\*：  
グループでは権限を設定しません。  
※ 所属するすべてのグループが「定義なし」の場合、管理者画面にログインできません。
- 許可\*：  
管理画面にログインできます。  
※ ログイン区分が「利用者画面のみ」/「無効」の利用者は管理者画面にログインできません。
- 禁止：  
管理画面にログインできません。  
※ ADMINISTRATORSグループに所属する利用者は設定に関わらず管理者画面にログインできます。

管理者画面利用権限	定義なし	確認
コメント		
FTP利用可否	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否	
有効期限	2999/12/31	

#### <コメント>

グループに関する補足情報を入力します。

グループの編集画面で確認できます。

#### <FTP利用可否>

グループがFTP接続を利用できるか否かを設定します。

- 初期設定： 可

※利用者個人の設定がFTP接続「可」で設定されていても、所属グループでFTP接続「否」に設定していると、その利用者はFTP接続の利用ができません。(6.1.3)

FTP接続については別紙「[【補足資料】XC-Gate.V3\\_FTP接続について](#)」を参照ください。

#### <有効期限>

グループが使用できる期限を入力します。

期限を指定しない場合は初期設定を変更しないでください。

- 初期設定： 2999/12/31

- 6) [確認]をクリックします。  
 [戻る]をクリックすると、グループを登録せずに前の画面に戻ります。

グループコード*	A03HAN	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">確認</div>
グループ名*	A03班長	
管理画面利用権限	定義なし ▾	
コメント		
FTP利用可否	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否	
有効期限	2999/12/31	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px 10px; margin-top: 10px;">戻る</div>		

- 7) [登録]をクリックします。  
 内容を修正する場合は[キャンセル]をクリックし、利用者の登録画面に戻ってください。

グループコード	A03HAN	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">登録</div>
グループ名	A03班長	
管理画面利用権限	定義なし	
コメント		
FTP利用可否	可	
有効期限	2999/12/31	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px 10px; margin-top: 10px;">キャンセル</div>		

- 8) 完了画面の[戻る]をクリックします。  
 ※ 利用者のセキュリティのアクセス権限に登録者が自動的に登録されます。

■グループの登録完了

▶ 登録情報

グループを登録しました。  
 戻るボタンを押してください。

戻る

## 6.2.4 グループの編集

グループの登録内容を編集します。



ポイント

読込権限および書込権限のない利用者は、対象グループを編集できません。(7.1、7.3)  
初期設定のグループ(ADMINISTRATORS、USERS)はコメントのみ編集可能です。

- 1) 「6.2.2」を参照し、グループの一覧画面を表示します。



- 2) 対象グループ行の[編集]をクリックします。グループの編集画面が表示されます。



- 3) 「6.2.3」の手順3)以降を参照し、グループの設定および登録をします。

グループコード*	A03HAN	確認
グループ名*	A03班長	
管理画面利用権限	定義なし	
コメント		
FTP利用可否	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否	
有効期限	2999/12/31	

## 6.2.5 グループの削除

グループの削除方法について説明します。



ポイント

- ・ 読込権限および削除権限のない利用者は、対象グループを削除できません。(7.1、7.2)
- ・ 対象グループに所属している利用者は、対象グループを削除できません。
- ・ グループを削除すると、所属利用者に適用していたアクセス権限や有効期限の設定が解除されますので注意してください。
- ・ 初期設定のグループ(ADMINISTRATORS、USER)は削除できません。

- 1) 「6.2.2」を参照し、グループの一覧画面を表示します。



- 2) グループを削除します。
  - a) 削除したいグループ行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
  - b) [×削除]をクリックします。
- 3) 確認画面の[OK]をクリックします。  
選択した利用者が削除されます。



の内容	
削除しますか？	
<input type="button" value="OK"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>

## 6.3 グループのメンバー登録/解除

グループの所属メンバーの登録/削除方法について説明します。

### 6.3.1 利用者の所属グループの登録

利用者の所属するグループを一括して設定します。（複数登録可）



アクセス権限は禁止設定が優先されます。  
「管理者画面利用権限」が「禁止」のグループに所属すると、管理者画面にログインできなくなり  
ますので注意してください。

- 1) 「6.1.2」を参照し、利用者の一覧画面を表示します。



- 2) 対象利用者行の[グループ]をクリックします。  
利用者の所属グループ一覧画面が表示されます。



- 3) [グループ追加]をクリックします。



- 4) グループを追加します。  
a) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。  
詳細は「6.2.1」の手順2)を参照してください。



- b) 追加したいグループ行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。  
登録済のグループは選択できません。



- c) [グループ追加]をクリックします。  
5) 利用者の所属グループ一覧画面にグループが追加されます。



### 6.3.2 利用者の所属グループの解除

所属しているグループを解除します。



管理者ユーザーは ADMINISTRATORS グループから解除できません。

- 1) 「6.1.2」を参照し、利用者の一覧画面を表示します。



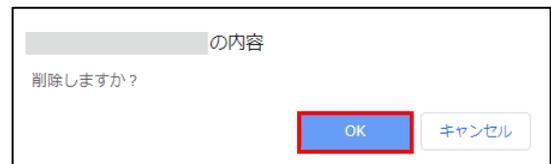
- 2) 対象利用者行の[グループ]をクリックします。利用者の所属グループ一覧画面が表示されます。

No.	利用者名	所属グループ	グループ名	有効期限	操作
1	システム管理者	admin	ADMIN	2015/05/04 ~ 2015/05/19 14:24	編集 削除
2	システム管理者 1	admin01	ADMIN	2015/05/05 18:51	編集 削除
3	システム管理者 2	admin02	ADMIN	2015/05/03 18:24	編集 削除
4	システム管理者 1	admin01	ADMIN	2015/05/05 18:56	編集 削除
5	システム管理者 2	admin02	ADMIN	2015/05/19 14:24	編集 削除
6	システム管理者 1	admin01	ADMIN	2015/05/05 18:16	編集 削除
7	システム管理者 2	admin02	ADMIN	2015/05/03 18:17	編集 削除

- 3) 所属グループを解除します。
  - a) 解除したいグループ行のチェックボックスにチェックを入れます。表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
  - b) [削除]をクリックします。

No.	利用者名	所属グループ	グループ名	有効期限	操作
1	ADMIN	ADMIN	ADMIN	2015/05/04 ~ 2015/05/19 14:24	編集 削除
2	ADMIN	ADMIN	ADMIN	2015/05/05 18:51	編集 削除
3	ADMIN	ADMIN	ADMIN	2015/05/03 18:24	編集 削除
4	ADMIN	ADMIN	ADMIN	2015/05/05 18:56	編集 削除
5	ADMIN	ADMIN	ADMIN	2015/05/19 14:24	編集 削除
6	ADMIN	ADMIN	ADMIN	2015/05/05 18:16	編集 削除
7	ADMIN	ADMIN	ADMIN	2015/05/03 18:17	編集 削除

- 4) 確認画面の[OK]をクリックします。選択したグループが解除されます。



### 6.3.3 グループの所属メンバーの登録

グループに所属する利用者（メンバー）を一括で登録します。  
 利用者の所属グループを一括して登録する場合は「6.3.1」を参照してください。



アクセス権限は禁止設定が優先されます。  
 利用者の「ログイン区分」が「利用者画面/管理者画面」以外の場合は、管理者画面にログインできませんので注意してください。

- 1) 「6.2.2」を参照し、グループの一覧画面を表示します。



- 2) 対象グループ行の[メンバー]をクリックします。グループの所属メンバー一覧画面が表示されます。



- 3) [利用者追加]をクリックします。利用者の一覧画面が表示されます。



- 4) メンバーを追加します。
  - a) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。詳細は「6.1.2」の手順2)を参照してください。



- b) 追加したい利用者行のチェックボックスにチェックを入れます。表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。登録済の利用者は選択できません。



- 5) グループの所属メンバー一覧画面にメンバーが追加されます。



### 6.3.4 グループの所属メンバーの解除

グループに所属するメンバーを解除します。



ポイント

管理者ユーザーは ADMINISTRATORS グループから解除できません。

- 1) 「6.2.2」を参照し、グループの一覧画面を表示し



- 2) 対象グループ行の[メンバー]をクリックします。  
グループの所属メンバー一覧画面が表示されます。



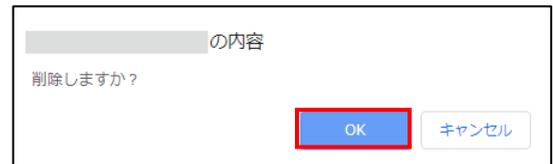
- 3) メンバーを解除します。

- a) 削除したい利用者行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。  
登録済の利用者は選択できません。



- b) [削除]をクリックします。

- 4) 確認画面の[OK]をクリックします。  
選択した利用者が解除されます。



## 6.4 利用者/グループのセキュリティの設定

利用者/グループのセキュリティー一覧画面では利用者/グループごとに権限を設定できます。  
セキュリティーの設定方法は「7.1」 / 「7.2」を参照してください。

## 7 セキュリティの管理

セキュリティでは利用者の所属グループまたは利用者の操作に関するアクセス権限を設定します。管理者、ADMINISTRATORSグループ、USERSグループの権限は変更できません。

### 7.1 アクセス権限の種類と事例

#### アクセス権限の種類

アクセス権限とはフォルダ/チェックシート/ファイルに対する操作の制限（許可/禁止）です。各種データには、以下のアクセス権限が設定できます。

- 読込権限：  
フォルダ/チェックシート/ファイルを参照（表示）する権限です。
- 書込権限：  
フォルダ/チェックシート/ファイルに書き込む権限です。
- 削除権限：  
フォルダ/チェックシート/ファイル削除する権限です。
- 削除権限（設定上書）：  
上位階層（フォルダ）に設定されている削除権限を強制的に適用する権限です。

対象	アクセス権限			
	読込み権限	書込み権限	削除権限	削除権限 (設定上書)
フォルダ	○	○	○	○
チェックシート	○	○	○	—
ファイル	○	○	○	—
利用者/グループ	○	○	○	—

#### 権限設定のルール

- アクセス権限は禁止設定が優先されます。  
関連するデータの権限に「禁止」がひとつでもあれば、「禁止」となります。



ポイント

例外として削除権限(設定上書)を「許可」にしているフォルダは、所属するフォルダが削除を実行したとき強制的に削除されます。

フォルダ内に保存されている各種データも強制的に削除されますので注意してください。

利用者	所属グループ A	所属グループ B	利用者の権限
許可	許可	許可	許可
許可	<b>禁止</b>	許可	<b>禁止</b>
<b>禁止</b>	許可	許可	<b>禁止</b>

上位フォルダの 削除権限	削除権限 (設定上書)	下位データの 削除権限	削除権限* (設定上書)	フォルダの 削除権限
許可	許可/指定なし	許可/指定なし	許可/指定なし	許可
<b>禁止</b>	<b>許可</b>	<b>許可/指定なし</b>	<b>許可/指定なし</b>	<b>許可</b>
<b>禁止</b>	<b>許可</b>	<b>禁止</b>	<b>許可</b>	<b>許可</b>
すべて	禁止	すべて	すべて	禁止
すべて	すべて	すべて	禁止	禁止

※ フォルダのみ設定可

- 「親からの継承」を「継承する」に設定すると、親フォルダのアクセス権限の設定が自動的に設定されます。
  - 「指定しない（継承）」に設定した権限は、親フォルダの設定を継承します。
  - 「継承しない」を選択したときの権限は、必ず「許可/禁止」を設定してください。
  - 親フォルダに登録されていないユーザーの権限は、必ず「許可/禁止」を設定してください。
  - 継承された設定は変更できません。
  - 上位階層のいずれかに「禁止」がひとつでもあれば「禁止」※となります。
    - ※ 削除権限（設定上書）が「許可」の場合は例外となります。詳細は前ページを確認してください。
  - セキュリティ設定に登録された利用者の書込権限にひとつも「許可」がない場合、自動的に「継承する」が設定されます。
  - 「親からの継承」の設定を変更できるのは書込権限が「許可」の利用者のみです。

継承	上位階層の権限	下位階層の権限	下位階層の権限
あり	許可	許可/指定なし	許可
あり	許可	禁止	禁止
あり	禁止	すべて	禁止
なし	すべて	許可	許可
なし	すべて	禁止/指定なし※	禁止

※ 権限「指定なし」は、継承を前提とした項目です。

- 「親からの継承」を継承しないとき、権限に「指定なし」を設定すると、権限不明のため操作は無効になります。
- 親フォルダに登録されていないユーザーに「指定なし」を設定すると権限不明のため操作は無効になります。

## アクセス権限に対応する動作

アクセス権限では、以下の操作に関する制限がされます。



**ポイント**

親フォルダ、子フォルダ、対象の状態、権限の組み合わせなどにより、実際の許可/禁止動作は異なります。

意図した操作ができない場合は、関連データのセキュリティ設定を見直してください。

対象	対応する動作			
	読み込み権限	書き込み権限	削除権限	削除権限 (設定上書)
フォルダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダの表示</li> <li>フォルダプロパティの読み込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダの作成</li> <li>フォルダプロパティの更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダの削除</li> <li>フォルダの移動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダの削除</li> <li>フォルダの移動</li> </ul>
チェックシート	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシートの表示</li> <li>チェックシートプロパティの読み込み</li> <li>実績の参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシートの作成</li> <li>チェックシートプロパティの更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシートの削除</li> <li>チェックシートの移動</li> </ul>	—
ファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルの表示</li> <li>ファイルのプロパティの読み込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルの作成</li> <li>ファイルのプロパティの更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルの削除</li> <li>ファイルの移動</li> </ul>	—
利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の作成</li> <li>利用者情報の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の削除</li> </ul>	—
グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの作成</li> <li>グループ情報の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの削除</li> </ul>	—

## 7.2 データのセキュリティの設定

フォルダ/チェックシート/ファイルのセキュリティ（アクセス権限）の設定方法について説明します。例としてフォルダの画面を使用しています。各項目により画面内容は異なります。

1) 各項目のセキュリティー画面を表示します。

a) プロパティ画面を表示します。

- フォルダのプロパティ： **3.4**
- チェックシートのプロパティ： **4.3**
- ファイルのプロパティ： **5.2**



b) 「セキュリティ」の[変更]をクリックします。セキュリティでは、現在のアクセス権限が確認できます。

「継承」が表示されている利用者/グループは、上位階層のアクセス権限の設定を継承しています。

- ○： 許可
- ×： 禁止
- -： 指定なし（継承）



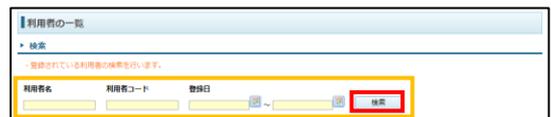
2) アクセス権限を設定する利用者/グループを追加します。

a) [利用者追加]/[グループ追加]をクリックします。



b) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。

詳細は「6.1.2」または「6.2.2」の手順2)を参照してください。



c) 追加したい利用者/グループ行のチェックボックスにチェックを入れます。

表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。

登録済の利用者/グループは選択できません。

d) [利用者追加]/[グループ追加]をクリックします。



3) アクセス権限を編集します。

編集内容の詳細は「7.1」を参照してください。

a) 親フォルダのアクセス権限を継承する場合は「親からの継承」の「継承する」を選択します。

b) 利用者/グループのアクセス権限を編集します。



4) [戻る]をクリックし、プロパティ画面に戻ります。

### 7.3 ユーザーのセキュリティの設定

フォルダ/チェックシート/ファイルのセキュリティ（アクセス権限）の設定方法について説明します。例としてフォルダの画面を使用しています。各項目により画面内容は異なります。

- 1) 各項目のセキュリティー一覧画面を表示します。
  - a) 利用者/グループ一覧画面を表示します。
    - 利用者の一覧： **6.1.2**
    - グループの一覧： **6.2.2**



- b) 対象利用者/グループの[セキュリティ]をクリックします。

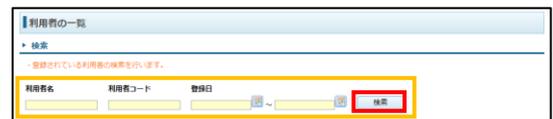


- 2) アクセス権限を設定する利用者/グループを追加します。

- a) [利用者追加]/[グループ追加]をクリックします。



- b) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。詳細は「6.1.2」または「6.2.2」の手順2)を参照してください。



- c) 追加したい利用者/グループ行のチェックボックスにチェックを入れます。表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。登録済の利用者/グループは選択できません。



- d) [利用者追加]/[グループ追加]をクリックします。

- 3) アクセス権限を編集します。編集内容の詳細は「7.1」を参照してください。



管理者および初期設定グループのアクセス権限は編集できません。



- 4) [戻る]をクリックし、プロパティ画面に戻ります。

## 7.4 セキュリティの削除



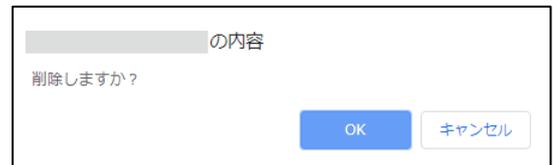
継承したアクセス権限、管理者および初期設定グループのアクセス権限は削除できません。

- 1) 「7.2」または「7.3」の手順1)を参照し、セキュリティー一覧画面を表示します。
- 2) 利用者/グループを削除します。

- a) 削除したい利用者/グループ行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れたい場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
- b) [×削除]をクリックします。



- 3) 確認画面の[OK]をクリックします。  
選択した利用者が削除されます。



## 8 マスタの管理

マスタは複数のチェックシートで共用できるデータです。  
各チェックシートでマスタを参照する場合は、データタグを使用してください。（12.24）

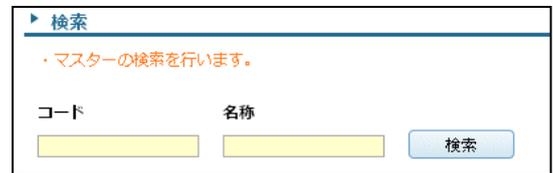
### 8.1 マスタの一覧画面

No.	名称	概要	参照
1	検索エリア	条件を指定し、一覧の表示内容を絞り込みます。	8.2
2	削除	選択したマスタを削除します。	8.10
3	新しいマスタ	新しいマスタを追加します。	8.3
4	チェックボックス	削除対象を選択します。	—
5	マスタコード	マスタに付与した識別コードを表示します。*	—
6	マスタ名称	マスタの名称を表示します。*	—
7	件数	登録されているマスタデータの件数を表示します。	—
8	操作	各データの操作ボタンを表示します。	8.4 8.7 8.10
9	ページ移動	ページ番号をクリックすると該当ページに移動します。	—
10	表示件数	画面の表示件数を切り替えます。 • 10件/20件/30件/50件/100件/200件/500件/1000件	—

※ ヘッダーの項目をクリックした順序で昇順/降順に並べ変えます。

## 8.2 マスタの一覧表示

- 1) マスタメニューの[マスタの一覧]をクリックし、マスタの一覧画面を表示します。
- 2) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。（部分一致）  
検索条件を入力せずに検索した場合は、すべてのデータが表示されます。
- 3) フォルダの一覧からフォルダおよび登録データの各種操作をします。



## 8.3 マスタの登録

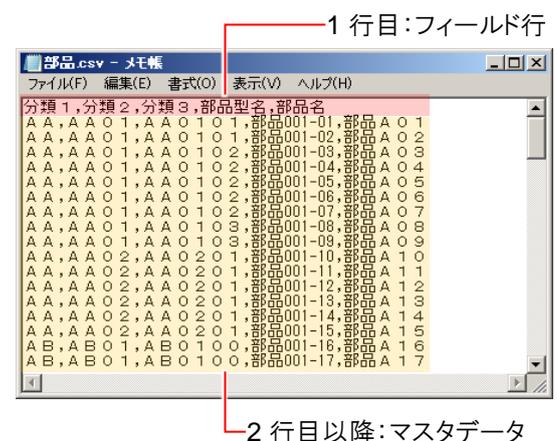
### 8.3.1 マスタの準備

事前に登録するマスタデータ（CSVファイル）を作成してください。  
以下は、部品マスタデータの作成例です。



- 登録可能なマスタ数は 30 件までです。
- インポートが可能なマスタデータ(CSV ファイル)の上限は、プランによって制限されています。
  - ライトプラン : 行数×項目数=150,000 件まで
  - スタンダードプラン : 行数×項目数=225,000 件まで
  - プロプラン : 行数×項目数=300,000 件まで

- 1) 1行目にフィールド名を記述します。
  - 区切り文字：カンマ (,)
- 2) 2行目以降にマスタデータを入力します。
  - a) 手順1)で入力したフィールド名に対応するテキストを入力します。
  - b) フィールド名と同じ区切り文字で区切ります。
  - c) 手順a)~b)を繰り返し、3行目以降のマスタデータを入力します。
- 3) ファイルをCSV形式で保存します。



### 8.3.2 マスタの新規登録

1) 「8.2」を参照し、マスタの一覧を表示します。



2) [新しいマスタ]をクリックします。



3) 登録情報を設定します。

a) マスタコード入力エリアをクリックしマスタコードを入力します。

#### <マスタコードのルール>

- 最初/最後の文字：  
半角英数字
- 使用可能文字：  
半角英数字、\_、.、-
- 入力文字数：1~45文字



[重複確認]をクリックし、マスタコードが重複していないことを確認してください。

b) マスタ名入力エリアをクリックしファイル名を入力します。

- 入力文字数：最大255文字

c) [ファイルを選択]をクリックし、CSVファイルを選択します。

d) [次へ]をクリックします。



4) 文字コードを設定します。

a) 文字コードと表示行数を選択します。

※ 環境依存文字を含むマスタデータを登録する場合はUTF-8Iにしてください。

b) [切り替え]をクリックします。



c) 文字化けが起こっていないことを確認し、[次へ]をクリックします。



5) 表示形式を設定します。

a) 各表示形式を選択します。

**<区切り文字>**

テキストを区切っている記号を選択します。「その他」を選択した場合は、任意の記号を入力してください。

**<文字列の引用符>**

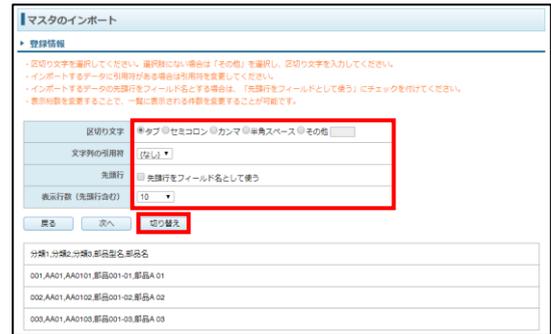
文字列を囲んでいる記号を選択します。「なし」にした場合は、引用符も文字列として処理されます。

**<先頭行>**

1行目をフィールド名として使用する場合はチェックを入れます。チェックを入れなかった場合は、1行目も実績の入力内容として処理されます。

**<表示行数>**

確認用の表示画面で表示する行数を選択します。



b) [切り替え]をクリックします。

c) エラーがないことを確認し、[次へ]をクリックします。



6) フィールドの設定をします。

a) 各フィールドの入力形式を選択します。

- テキスト型： 文字列
- 数値型※： 数値
- 日付型※： yyyy/MM/dd形式

※ 文字列や形式とは異なるテキストを入力するとエラーになります。

b) 項目名入力エリアをクリックし、項目名を入力します。

- 入力文字数： 最大100文字
- 手順5)で「先頭行」にチェックを入れた場合は、1行目の内容が表示されます。

c) [切り替え]をクリックします。

d) エラーがないことを確認し、[次へ]をクリックします。



7) 各フィールドにキーを設定します。

キーを設定すると、マスタ更新時にマスタデータを上書きするか判定します。詳細は次ページの「キー項目について」を参照してください。

a) 各項目のプルダウンをクリックし、キーを選択します。

- 0： キーを指定しない。
  - 1以上※： キーを指定します。
- 同一キーが設定された項目は内容がすべて一致したとき上書き判定されます。

※ 数値の大小は関係ありません。



- b) [切り替え]をクリックします。
  - c) エラーがないことを確認し、[次へ]をクリックします。
- 8) [インポート]をクリックします。  
登録処理中に[中断]をクリックするとインポートを中止します。



- 9) 処理結果が表示されます。  
[マスター一覧]をクリックし、マスター一覧画面に戻ります。



### キー項目について

キーはマスタ更新時（8.8）にデータを上書き登録するかを判定するための設定です。  
キー項目に対応するマスタデータの内容がすべて一致するとき、キー項目以外の項目のマスタデータの内容を上書きします。  
分類1/2のキーが「1」、分類3のキーが「2」のときを例に説明します。

#### <キーとマスタデータが一致する場合>

赤枠部の内容が一致したため、更新データを上書き保存します。

フィールド	キーあり			キーなし	
	分類1	分類2	分類3	型式	部品名
キー	1	1	2	0	0
マスタデータ	1	AA	あ 001	a-1	ア 01
	2	AA	あ 002	a-2	ア 02

キーあり			キーなし	
分類1	分類2	分類3	型式	部品名
1	1	2	0	0
1	AA	あ 001	b-1	イ 01
2	AA	あ 002	b-2	イ 02

#### <マスタデータが一致しない場合>

内容が一致した行は更新データを上書きし、一致しなかった行は元データを残した状態で更新データを新規登録します。

フィールド	キーあり			キーなし	
	分類1	分類2	分類3	型式	部品名
キー	1	1	2	0	0
マスタ	1	AA	あ 001	a-1	ア 01

キーあり			キーなし	
分類1	分類2	分類3	型式	部品名
1	1	2	0	0
1	AA	あ 001	b-1	イ 01

フィールド	キーあり			キーなし	
	分類 1	分類 2	分類 3	型式	部品名
データ	2	AA	あ 002	a-2	ア 02

キーあり			キーなし	
分類 1	分類 2	分類 3	型式	部品名
2	AA	あ 002	a-2	ア 02
2	<b>BB</b>	あ 002	b-2	イ 02

### 8.4 マスタのプロパティの表示

マスタのプロパティでは、マスタの内容の確認および編集ができます。

- 1) 「8.2」を参照し、マスタの一覧を表示します。



- 2) プロパティを表示したいマスタ行の[プロパティ]をクリックします。



- 3) マスタのプロパティ画面が表示されます。



### 8.5 マスタ名の変更

- 1) 「8.4」を参照し、マスタのプロパティを表示します。
- 2) マスタ名称の[変更]をクリックします。



- 3) マスタ名入力エリアをクリックし、マスタ名を入力します。
  - 入力文字数： 最大255文字
- 4) [更新]をクリックします。
- 5) [戻る]をクリックし、プロパティ画面に戻ります。



## 8.6 マスタ項目の確認と編集

フィールド名称の確認と編集およびマスタデータの型とキーの確認方法について説明します。

- 1) 「8.4」を参照し、マスタのプロパティを表示します。



- 2) 項目の[変更]をクリックします。



- 3) マスタ項目の内容を確認します。  
フィールド名を変更する場合は以下の手順で編集してください。

- a) フィールド名称入力エリアをクリックし、フィールド名を入力します。
- 入力文字数： 最大100文字
- b) [登録]をクリックします。



ポイント

フィールド名を変更する場合は、必ず更新マスタデータのフィールド名も修正してください。  
フィールド名が異なると、更新時にエラーが発生します。

- 4) [戻る]をクリックし、プロパティ画面に戻ります。

## 8.7 マスタデータの表示と編集

マスタデータの確認および編集方法について説明します。

- 1) マスタの詳細画面を表示します。

### <マスタの一覧より表示>

- a) 「8.2」を参照し、マスタの一覧を表示します。  
b) マスタデータを表示したいマスタ行の[参照]をクリックします。



**<マスタのプロパティより表示>**

- a) 「8.4」を参照し、マスタのプロパティを表示します。
- b) 件数の[参照]をクリックします。

- 2) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。検索条件を入力せずに検索した場合は、すべてのデータが表示されます。

**<検索方法>**

最大4項目まで指定できます。(AND検索)

- a) 名前の[▼]をクリックします。
- b) 項目名の一覧から検索するフィールドの[選択]をクリックします。

No	項目名	操作
1	分類1	選択
2	分類2	選択
3	分類3	選択
4	部品型名	選択
5	部品名	選択

- c) 手順b)で指定したフィールドの値を入力します。フィールドの型により入力条件が異なります。
  - ・ テキスト型： 部分一致
  - ・ 数値型： 完全一致
  - ・ 日付型： yyyy/MM/dd形式の完全一致

- 3) マスタデータを確認します。マスタデータを編集/削除する場合は、以下の手順で行ってください。



マスタデータを削除すると元に戻せません。  
 必要な場合は、事前にマスタデータの内容をバックアップしてください。(8.9)

**<マスタデータの内容を変更>**

- a) 編集したい行の[編集]をクリックします。新規データを登録したい場合は、[新しい行]をクリックしてください。

No	分類1	分類2	分類3	部品型名	部品名	操作
1	001	AA01	AA0101	部品A01-01	部品B 01	編集 削除
2	002	AA01	AA0102	部品A01-02	部品B 02	編集 削除
3	003	AA01	AA0103	部品A01-03	部品A 03	編集 削除

- b) データの入力エリアをクリックし、データを編集します。  
入力できる内容は各フィールドの型によります。

分類1	分類2	分類3	部品型名	部品名
001	AA01	AA0101	部品001-01	部品B 01

戻る 登録

- テキスト型： 文字列
- 数値型※： 数値
- 日付型※： yyyy/MM/dd形式

※ 文字列や形式とは異なるテキストを入力するとエラーになります。



キーに設定されているフィールド項目のデータが既存データと重複すると登録できません。

- c) [登録]をクリックします。  
d) [戻る]をクリックし、マスタの詳細画面に戻ります。

分類1	分類2	分類3	部品型名	部品名
001	AA01	AA0101	部品001-01	部品B 01

戻る 登録

### <マスタデータ行を個別に削除>

- a) 削除したいデータ行の[削除]をクリックします。

3件の検索結果があります。

選択した項目 0 件を  削除

新しい行

No	分類1	分類2	分類3	部品型名	部品名	操作
1	001	AA01	AA0101	部品001-01	部品B 01	編集 削除
2	002	AA01	AA0102	部品001-02	部品B 02	編集 削除
3	003	AA01	AA0103	部品aa1-03	部品A 03	編集 削除

戻る

- b) 確認画面の[OK]をクリックします。  
選択したデータが削除されます。

の内容

削除しますか？

OK キャンセル

### <マスタデータ行を一括削除>

- a) 削除したいデータ行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れたい場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。

4件の検索結果があります。

選択した項目 2 件を  削除

新しい行

No	分類1	分類2	分類3	部品型名	部品名	操作	
<input checked="" type="checkbox"/>	1	001	AA01	AA0101	部品001-01	部品B 01	編集 削除
<input checked="" type="checkbox"/>	2	002	AA01	AA0102	部品001-02	部品B 02	編集 削除
<input type="checkbox"/>	3	003	AA01	AA0103	部品aa1-03	部品A 03	編集 削除
<input type="checkbox"/>	4	003	BB01	BB0103	部品001-03	部品B 03	編集 削除

戻る

- b) [×削除]をクリックします。  
c) 確認画面の[OK]をクリックします。  
選択したデータが削除されます。

の内容

削除しますか？

OK キャンセル

- 4) [戻る]をクリックし、マスタの一覧画面に戻ります。

## 8.8 マスタデータのインポート

マスタをインポートし、既存マスタのマスタデータを更新します。



「マスタの自動インポート」については別紙「**XC-GateV3 自動インポート機能取扱説明書**」を参照ください。

### 8.8.1 マスタのインポート



- 事前に、更新するマスタのフィールドが既存のマスタと一致していることを確認してください。
- マスタデータを上書きすると元に戻せません。  
必要な場合は、事前にマスタデータの内容をバックアップしてください。(8.9)
- マスタコードは変更しないでください。マスタコードが異なると、新規マスタとして登録されます。

- 1) 「8.4」を参照し、マスタのプロパティを表示します。
- 2) 件数の[インポート]をクリックします。
- 3) 「8.3.2」の手順3)以降を参照し、マスタを更新します。

マスタのプロパティ	
▶ 詳細情報	
- マスタのプロパティを表示しています。	
マスタコード	sample_master
マスタ名称	sample_master
件数	6 件
項目	NO.日付, 製品番号, 製品名

### 8.8.2 マスタのインポート設定

マスタインポートでは、マスタごとでインポート時の設定を管理できます。

初期値は納入時に設定された内容となります。

また、個々で設定していない場合は、「システム管理」の内容で設定されています。システム管理での設定は「13.5インポート設定」を参照してください。

実績の登録や管理方法については、「4.8チェックシートの実績の管理」を参照してください。

- 1) 「8.4」を参照し、マスタのプロパティを表示します。
- 2) 件数の[マスタインポート設定]をクリックします。

マスタのプロパティ	
▶ 詳細情報	
- マスタのプロパティを表示しています。	
マスタコード	sample_master
マスタ名称	sample_master
件数	6 件
項目	NO.日付, 製品番号, 製品名

## ファイル設定

**マスタのインポート設定**

▶ マスタのインポート設定

・自動インポートの場合、FTPでサーバに接続し、「master\_import」フォルダ配下にファイル名を「XXXX\_[マスタコード].csv」とするか、CSVファイルの先頭行にマスタコードを記載したファイルを格納してください。記載したマスタコードのマスタに対して自動インポートを行います。インポート結果は「master\_import\_result」フォルダ配下に出力されます。  
 ・CSVファイルの先頭行（マスタコードを除く）がフィールド名の場合、「先頭行をフィールド名として使う」を選択してください。  
 ・「先頭行をフィールド名として使う」を選択しない場合、項目の紐付け方法は「項目順で紐付け」のみ選択可能となります。

①	マスタコード	masterimport	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <span style="font-size: 24px; color: green; font-weight: bold;">12</span> 登録         </div>
②	文字コード	<input checked="" type="radio"/> UTF-8 <input type="radio"/> Shift_JIS <input type="radio"/> EUC_JP	
③	区切り文字	<input type="radio"/> タブ <input type="radio"/> セミコロン <input checked="" type="radio"/> カンマ <input type="radio"/> 半角スペース <input type="radio"/> その他 <input style="width: 40px;" type="text"/>	
④	文字列の引用符	{なし} ▼	
⑤	先頭行	<input checked="" type="checkbox"/> 先頭行をフィールド名として使う	
⑥	項目の紐付け方法	<input type="radio"/> 項目順で紐付け <input checked="" type="radio"/> 項目名で紐付け	
⑦	マスタ項目に存在しないカラム	<input type="radio"/> 項目を追加する <input checked="" type="radio"/> 無視する	
⑧	(手動インポート) 更新方法	<input type="radio"/> 差分更新 <input checked="" type="radio"/> 一括更新	
⑨	(自動インポート) 更新方法	<input type="radio"/> 差分更新 <input checked="" type="radio"/> 一括更新	
⑩	(自動インポート) ログの言語	日本語 ▼	
⑪	メモ		

No.	設定項目	内容
1	マスタコード	マスタコードを表示しています。
2	文字コード	マスタの文字コードを以下のコードで設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>UTF-8</li> <li>Shift_JIS</li> <li>EUC_JP</li> </ul> ※ 環境依存文字を含むデータをインポートする場合は UTF-8 にしてください。
3	区切り文字	マスタの区切り文字を以下で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>タブ</li> <li>セミコロン</li> <li>カンマ</li> <li>半角スペース</li> <li>その他</li> </ul> ※ 「その他」を選択した場合は、CSV のデータ内に含まれない任意の記号を入力してください
4	文字列の引用符	マスタデータの引用符を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> <li>「"」ダブルクォーテーション</li> <li>「'」シングルクォーテーション</li> </ul>

No.	設定項目	内容
5	先頭行	CSV データの先頭行を項目名(フィールド名)にする設定をします。 ※ 先頭行を項目値にしない場合、⑥の「項目の紐づけ方法」は項目順となります。
6	項目の紐づけ方法	項目名のマッピングを、CSV の「項目順(フィールド順)」か「項目名(フィールド名)」で設定します。マッピングの詳細な設定は「3.1.3.2 マスタの項目マッピング設定」を参照してください。
7	マスタ項目に存在しないカラム	登録済みのマスタに、存在しない項目値がマスタデータに含まれている場合、新たに項目値としての追加の可否を設定します。
8	(手動インポート)更新方法	管理者画面でマスタのインポートを手動で行う場合、登録するマスタデータの未登録行を追加で登録(差分更新)するか、全て削除してから全データを登録(一括更新)するかを設定します。
9	(自動インポート)更新方法	自動インポート機能でマスタのインポートを行う場合、登録するマスタデータの未登録行を追加で登録(差分更新)するか、全て削除してから全データを登録(一括更新)するかを設定します。
10	(自動インポート)ログの言語	出力されるログの言語は、日本語のみの対応です。
11	メモ	個々のマスタごとに、メモ書き(注意書き)を残します。
12	登録	クリックすると「マスタのインポート設定」と「項目マッピング設定」を登録します。

### マスタの項目マッピング設定

インポートするマスタの項目を紐づける設定をします。  
紐づける方法は、CSVの「項目順」と「項目名」です。どちらも設定を必ず行ってください。

▶ 項目マッピング設定

- ・インポートするCSVファイルの項目順(1から)、CSVの項目名を記入してください。  
CSV項目順、CSV項目名ともに必須項目となります。
- ・項目の紐づけ方法が「項目順」の場合、インポート時に「CSV項目順」で指定した番号をもとにCSVファイルの左から項目を読み込んでマッピングします。
- ・項目の紐づけ方法が「項目名」の場合、インポート時に「CSV項目名」で指定した項目名をもとにCSVファイルの先頭行(マスタコード除く)のフィールド名とマッピングします。

No	項目	CSV項目順	CSV項目名
1	A	1 <input style="width: 80%;" type="text"/>	A <input style="width: 80%;" type="text"/>
2	B	2 <input style="width: 80%;" type="text"/>	B <input style="width: 80%;" type="text"/>
3	C	3 <input style="width: 80%;" type="text"/>	C <input style="width: 80%;" type="text"/>
4	D	4 <input style="width: 80%;" type="text"/>	D <input style="width: 80%;" type="text"/>
5	E	5 <input style="width: 80%;" type="text"/>	E <input style="width: 80%;" type="text"/>

⑤

No.	設定項目	内容
1	No	マスタ登録時の項目の順番を表示します。
2	項目	マスタ登録時の項目名を表示します。
3	CSV 項目順	インポート時に紐づける項目の順番を指定します。 インポートは CSV ファイルの左から、設定した番号順に取り込みます。
4	CSV 項目名	インポート時に紐づける項目名を指定します。 インポートする CSV ファイルの先頭行(フィールド名)でマッピングします。 ※ マスタコードが先頭行にある場合、マスタコードは取り込みません。
5	戻る	クリックすると、マスタのプロパティ画面に戻ります。

4) 設定が完了したら、[登録]ボタンをクリックします。

### ■ マスタのインポート設定

▶ マスタのインポート設定

・自動インポートの場合、FTPでサーバに接続し、「master\_import」フォルダ配下にファイル名を「XXXX」マスタコード「csv」とするが、CSVファイルの先頭にマスタコードを記載したファイルを格納してください。  
 格納したマスタコードのマスタに対して自動インポートを行います。  
 インポート設定は「master\_import\_new」フォルダ配下に保存されます。  
 ・CSVファイルの先頭行（マスタコードを除く）がフィールド名の場合、「先頭行をフィールド名として使う」を選択してください。  
 ・「先頭行もフィールド名として使う」を選択しない場合、項目の紐付け方法は「項目名で紐付け」のみ選択可能となります。

マスタコード	masterimport	
文字コード	<input checked="" type="radio"/> UTF-8 <input type="radio"/> Shift_JIS <input type="radio"/> EUC_JP	
区切り文字	<input type="radio"/> タブ <input type="radio"/> セミコロン <input checked="" type="radio"/> カンマ <input type="radio"/> 半角スペース <input type="radio"/> その他	
文字列の引用符	[なし]	
先頭行	<input checked="" type="checkbox"/> 先頭行をフィールド名として使う <input type="checkbox"/> 項目名で紐付け <input type="checkbox"/> 項目名で紐付け	
項目の紐付け方法	<input type="checkbox"/> 項目名で紐付け <input checked="" type="checkbox"/> 項目名で紐付け	
マスタ項目に存在しないフラム	<input type="checkbox"/> 項目を通知する <input checked="" type="checkbox"/> 削除する	登録
(手動インポート) 更新方法	<input type="checkbox"/> 差分更新 <input checked="" type="checkbox"/> 一括更新	
(自動インポート) 更新方法	<input type="checkbox"/> 差分更新 <input checked="" type="checkbox"/> 一括更新	
(自動インポート) ログの記録	[記録]	
メモ		

・インポートするCSVファイルの項目順（1から）、CSVの項目名を記入してください。  
 CSV項目順、CSV項目名ともに必須項目となります。  
 ・項目の紐付け方法が「項目名」の場合、インポート時に「CSV項目順」で指定した番号をもとに  
 CSVファイル内の左から項目を紐付けてマッピングします。  
 ・項目の紐付け方法が「項目名」の場合、インポート時に「CSV項目名」で指定した項目名をもとに  
 CSVファイルの先頭行（マスタコードを除く）のフィールド名とマッピングします。

No	項目	CSV項目順	CSV項目名
1	A	1	A
2	B	2	B
3	C	3	C
4	D	4	D
5	E	5	E

戻る

## 8.9 マスタデータのエクスポート

マスタデータをCSVファイル形式で書き出します。

- 1) 「8.4」を参照し、マスタのプロパティを表示します。
- 2) 件数の[エクスポート]をクリックします。

マスタのプロパティ

詳細情報

マスタのプロパティを表示しています。

マスタコード	sample_master	
マスタ名称	sample_master	変更
件数	6件	参照
項目	NO,日付,製品番号,製品名	インポート   マスタインポート設定
		<b>エクスポート</b>
		変更

戻る

- 3) 出力する文字コードを選択します。
  - UTF8\*: UTF-8
  - SJIS: Shift\_JIS

※ 環境依存文字を含むマスタデータをエクスポートする場合はUTF-8にしてください。
- 4) [エクスポート]をクリックします。
- 5) 「マスタ名.csv」の名称でCSVファイルがダウンロードされます。

マスタのエクスポート

登録情報

マスタのエクスポートを行います。

マスタコードMA001

マスタ名マスター-001

文字コードUTF8/SJIS

戻る **エクスポート**

### <ファイル形式>

- 区切り文字: タブ
- 文字列: 引用符なし

## 8.10 マスタの削除

マスタを削除します。削除したマスタは元に戻せませんので注意してください。

- 1) 「8.2」を参照し、マスタの一覧を表示します。

XC-Gate V3

TOP | ログ | 印刷 | マスタ | チェックシート | ログアウト

ようこそシステム管理者様

TOPページ

ようこそ!

上のメニューからも検索へ移動してください

ご利用ガイドダウンロード (ダウンロード後まで有効です)

- 2) 実績を削除します。

### <個別に削除>

削除したい実績行の[削除]をクリックします。

選択した項目 0 件を  削除

新しいマスタ

No	マスタコード	マスタ名称	件数	操作	
<input type="checkbox"/>	1	sample_master	sample_master	6件	プロパティ   参照   <b>削除</b>
<input type="checkbox"/>	2	sample_master_01	sample_master_01	166件	プロパティ   参照   <b>削除</b>

1 | 10件 | 表示

### <一括削除>

- a) 削除したい実績行のチェックボックスにチェックを入れます。  
表示中のすべての行にチェックを入れた場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
  - b) [×削除]をクリックします。
- 3) 確認画面の[OK]をクリックします。  
選択したデータが削除されます。

選択した項目 2 件を  削除

新しいマスタ

No	マスタコード	マスタ名称	件数	操作	
<input checked="" type="checkbox"/>	1	sample_master	sample_master	6件	プロパティ   参照   <b>削除</b>
<input checked="" type="checkbox"/>	2	sample_master_01	sample_master_01	166件	プロパティ   参照   <b>削除</b>

1 | 10件 | 表示

の内容

削除しますか?

**OK** | キャンセル

## 9 チェックシート設定

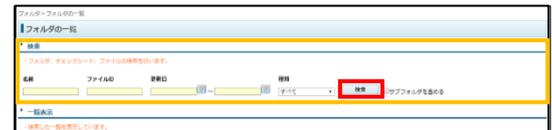
### 9.1 CSV 出力設定

実績一覧のCSV出力で出力するファイルの設定をします。

- 1) チェックシート設定メニューの[CSV出力設定]をクリックし、チェックシートの一覧画面を表示します。



- 2) 一覧の内容を絞り込む場合は、検索条件を入力し、[検索]をクリックします。(部分一致)  
検索条件を入力せずに検索した場合は、すべてのデータが表示されます。



#### <名前/ファイルIDを指定>

名前/ファイルID入力エリアをクリックし、検索条件を入力します。



#### <更新日を指定>

- a) [更新日：開始日]をクリックし、開始日を入力します。

開始日のみ指定した場合は、開始日以降が検索対象になります。



- b) [更新日：終了日]をクリックし、終了日を入力します。

終了日のみ指定した場合は、終了日以前が検索対象になります。

- 3) チェックシート一覧より、設定するチェックシートの[設定]をクリックします。
- 4) CSV出力設定をします。  
設定方法については「4.7.1」の手順3)以降を参照してください。

番号	名前	ファイルID	更新日	種類	サイズ	作成日時	操作
1	Th4001_システム管理	14001	2010/01/13 13	チェックシート	10 件	2	設定
2	Th4002_システム管理	14002	2010/03/09 20	チェックシート	2 件	0	設定
3	Th4003_システム管理	14003	2010/03/09 21	チェックシート	2 件	0	設定
4	Th4004_システム管理	14004	2010/03/14 50	チェックシート	4 件	0	設定

# 10 シート関数一覧

XC-Gate.V3システムがサポートするシート関数について説明します。

## 注意事項

### <セル参照について>

- セル参照はExcelの記述方法と同じです。
- セル参照ではExcelブック内のシート間も参照できます。
- 参照元が未入力の場合、セル参照とタグの参照では表示内容が異なりますので注意してください。

例 セルA1が未入力の場合のセルB2の表示内容

- セル参照： 数値「0」  
セルB2に「=A1」を記述した場合、セルB2に「0」を表示します。
- タグの参照： 空白  
セルB2に「\*入力 表示:=A1」を記述した場合、セルB2は空白です。

### <計算結果の表示について>

- 小数点を含む計算結果は、使用するブラウザ（JavaScript）の仕様によりExcelでの計算結果と誤差が生じることがあります。結果を合わせたい場合は、Round関数などを使用して必要な桁を指定してください。
- 計算式がエラーの場合、ExcelとXC-Gate.V3ではエラー出力文字が異なることがあります。

例 (1+A)の計算結果がエラーの場合

- Excel： #VALUE!
- XC-Gate.V3： NaN

### <関数指定範囲について>

- シート関数の検索範囲で、列全体を指定すると、メモリ不足によりサーバーがダウンする危険性があります。
- サーバースペックに依存するため、環境によって許容範囲は異なりますが、参考値として、指定する列、行は1000以下を目安としてください。

## 10.1 論理

No.	関数名	補足説明	書式の例
1	IF	条件により分岐します。	=IF(条件式,値 1,値 2)
2	AND	複数条件がすべて「真」のとき「TRUE」を返します。(AかつB)	=AND(論理式 1,論理式 2)
3	OR	複数条件のいずれかが「真」のとき「TRUE」を返します。(AまたはB)	=OR(論理式 1,論理式 2)
4	NOT	指定した条件が「偽」のとき「TRUE」を返します。(Aではない)	=NOT(論理式)
5	TRUE	常に「TRUE」を返します。	=TRUE()
6	FALSE	常に「FALSE」を返します。	=FALSE()
7	IFERROR	エラーが発生したとき、指定したエラーの値を返します。 エラーではないときは、式の値を返します。	=IFERROR(値,エラーの場合の値)

## 10.2 文字列操作

No.	関数名	補足説明	書式の例
1	TEXT	<p>数値を指定した書式に変換して表示します。 使用可能な表示形式は以下になります。 下記以外の表示形式を使用すると、Excel と異なる表示になるおそれがあります。</p> <p><b>&lt;使用可能な表示形式&gt;</b> 0、0.0、#、##、0%、#%、0,0、¥0、¥0,0、##、¥#、¥#,#、@、yyyy/mm/dd hh:mm:ss、yyyy/mm/dd、hh:mm:ss、yyyymmdd、hhmmss、yyyymmddhhmmss yyyy 年 mm 月 dd 日 hh 時 mm 分 ss 秒、 yyyy 年 mm 月 dd 日、hh 時 mm 分 ss 秒</p>	=TEXT(値,表示形式)
2	VALUE	<p>文字列を数値に変換します。 日付と時刻は基本的な書式パターンにのみ対応しています。</p>	=VALUE(文字列)
3	LEFT	<p>先頭(左端)から指定した文字数分の文字列を抽出します。</p>	=LEFT(文字列,文字数)
4	RIGHT	<p>末端(右端)から指定した文字数分の文字列を抽出します。</p>	=RIGHT(文字列,文字数)
5	MID	<p>指定した位置から指定した文字数分の文字列を抽出します。</p>	=MID(文字列,開始位置,文字数)
6	FIND	<p>指定した文字列を対象の文字列内から検索し、文字列の位置を返します。 英字の大文字、小文字は区別されます。</p>	=FIND(検索文字列,対象,開始位置)
7	SEARCH	<p>指定した文字列を対象の文字列から検索し、はじめに見つかった文字列の位置を返します。</p>	=SEARCH(検索文字列,対象)
8	REPLACE	<p>文字列内の指定した位置の文字を置き換えます。</p>	=REPLACE(文字列,開始位置,文字数,置換文字列)
9	SUBSTITUTE	<p>文字列内の指定した文字を置き換えます。</p>	=SUBSTITUTE(文字列,検索文字列,置換文字列)
10	REPT	<p>文字列を指定回数繰り返して結合します。</p>	=REPT(文字列,繰り返し回数)
11	UPPER	<p>英字を大文字に変換します。</p>	=UPPER(文字列)
12	LOWER	<p>英字を小文字に変換します。</p>	=LOWER(文字列)
13	LEN	<p>文字数を返します。</p>	=LEN(文字列)
14	FIXED	<p>数値を指定した桁数で四捨五入し、桁区切り書式を設定した値を返します。 桁区切り書式が FALSE の場合、カンマで桁区切ります。</p>	=FIXED(値,桁数,FALSE)
15	CONCATENATE	<p>指定した文字列を結合します。 範囲指定時はエラーを返します。</p>	=CONCATENATE(1,2,"a",H207,I207,J207)
16	EXACT	<p>文字列の比較結果を返します。大文字小文字を区別します。 同じ場合は TRUE、異なる場合は FALSE を返します。</p>	=EXACT("a","A")
17	TRIM	<p>文字列の両端のスペースを削除します。 文字列の途中に存在する連続スペースをひとつのスペースに置き換えます。</p>	=TRIM(" bcd za ")

## 10.3 日付/時刻

No.	関数名	補足説明	書式の例
1	DATE	指定した年月日をシリアル値で返します。	=DATE(年,月,日)
2	YEAR	指定したシリアル値から年を返します。	=YEAR(シリアル値)
3	MONTH	指定したシリアル値から月を返します。	=MONTH(シリアル値)
4	DAY	指定したシリアル値から日を返します。	=DAY(シリアル値)
5	TIME	時、分、秒の数値から時間・時刻のシリアル値を返す関数です。	=TIME(時,分,秒)
6	HOUR	指定したシリアル値から時間のみを整数で返します。	=HOUR(シリアル値)
7	MINUTE	指定したシリアル値から分のみを整数で返します。	=MINUTE(シリアル値)
8	SECOND	指定したシリアル値から秒のみを整数で返します。	=SECOND(シリアル値)
9	DATEVALUE	使用できる形式は以下です。 →平成 yy 年 mm 月 dd 日、昭和 yy 年 mm 月 dd 日、大正 yy 年 mm 月 dd 日、yyyy 年 mm 月 dd 日、yyyy/mm/dd、yyyy-mm-dd、dd-mm(JULY や APR 等)-yy、Hyy.mm.dd、Syy.mm.dd、Tyy.mm.dd に対応しています。	=DATEVALUE(yyyy/mm/dd)
10	TIMEVALUE	使用できる形式は以下です。 hh 時 mm 分 ss 秒、hh:mm:ss、hh:mm PM 等	=TIMEVALUE(hh:mm:ss)
11	WEEKDAY	日付に対応する曜日を以下の数値にして返します。 • 1: 日曜日 : : • 7: 土曜日	=WEEKDAY(シリアル値)
12	TODAY	現在の日付をシリアル値で返す関数です。	=TODAY()
13	NOW	現在の日付と時刻をシリアル値で返します。	=NOW()
14	EDATE	開始日から起算して、指定された月数だけ前または後の日付に対応するシリアル値を返します。	=EDATE(開始日のシリアル値,月数)

## 10.4 検索/行列

No.	関数名	補足説明	書式の例
1	VLOOKUP	縦方向に入力されたデータの範囲の中から、検索条件※に一致したデータを検索し取得します。 ※ 指定された検索条件に一致しない場合は、NaN エラーとなります。また、検索方法により、結果が異なる場合があります。	=VLOOKUP(検索値,範囲,列位置,検索方法)
2	HLOOKUP	横方向に入力されたデータの範囲の中から、検索条件※に一致したデータを検索し取得します。 ※ 指定された検索条件に一致しない場合は、NaN エラーとなります。また、検索方法により、結果が異なる場合があります。	=HLOOKUP(検索値,範囲,行番号,検索方法)
3	CHOOSE	指定したインデックスにある値を返します。	=CHOOSE(2,"1 番","2 番","3 番")
4	INDEX	指定した行と列の交差するセル値を返します。「参照」には、セル範囲または配列を指定してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の参照先に対応していません。領域番号は指定しないでください。</li> <li>列番号が指定されていない場合は「1」になります。</li> <li>指定された行列が存在しない場合は、NaN エラーとなります。</li> </ul>	=INDEX(参照,行番号,列番号)
5	MATCH	1 行、または 1 列に入力されたデータの範囲の中から、検索値に一致したデータを検索し、検索値の位置番号を返します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>検索の型が「1」の場合、検索範囲のデータを昇順に並び替えてください。</li> <li>検索の型が「-1」の場合、検索範囲のデータを降順に並び替えてください。</li> </ul>	=MATCH(検索値,範囲,検索の型)

## 10.5 数学/三角

No.	関数名	補足説明	書式の例
1	TRUNC	値の小数部を切り捨て、整数を返します。桁数指定には対応していません。桁数指定する場合は、ROUND 関数を使用してください。	=TRUNC(数値)
2	INT	値の小数部を切り捨て、整数を返します。	=INT(1.23)
3	PI	円周率(3.141592...)を返します。	=PI()
4	ABS	指定したセルに入力されている値の絶対値を返します。	=ABS(対象のセル)
5	MOD	割り算をしたときの余りを返します。	=MOD(値,除数)
6	SQRT	平方根を返します。	=SQRT(9)
7	POWER	数値を累乗した値を返します。	=POWER(10,3)
8	SIN	指定した角度のサイン(sin)を返します。	=SIN(ラジアン)
9	COS	指定した角度のコサイン(cos)を返します。	=COS(ラジアン)
10	TAN	指定した角度のタンジェント(tan)を返します。	=TAN(ラジアン)
11	ASIN	指定した角度のアークサイン(逆サイン)を返します。	=ASIN(ラジアン)
12	ACOS	指定した角度のアークコサイン(逆コサイン)を返します。	=ACOS(ラジアン)
13	ATAN	指定した角度のアークタンジェント(逆タンジェント)を返します。	=ATAN(ラジアン)

No.	関数名	補足説明	書式の例
14	ATAN2	指定した x 座標、y 座標のアークトанジェントを返す関数です。	=ATAN2(x 座標,y 座標)
15	DEGREES	指定したラジアンを角度で返します。	=DEGREES(ラジアン)
16	RADIANS	指定した角度(度数)のラジアンを返します。	=RADIANS(角度)
17	RAND	0 以上で 1 より小さい実数を返します。	=RAND()
18	ROUND	指定した値の四捨五入による結果を返します。	=ROUND(値,桁数)
19	ROUNDDOWN	指定した値の切り捨てによる結果を返します。	=ROUNDDOWN(値,桁数)
20	ROUNDUP	指定した値の切り上げによる結果を返します。	=ROUNDUP(値,桁数)
21	SUM <sup>※1</sup>	合計値を算出する関数です。	=SUM(範囲)
22	SUMIF <sup>※1</sup>	指定した検索条件に一致する値を合計して返します。	=SUMIF(範囲,検索条件,合計範囲)
23	SUMIFS	指定した複数の検索条件を満たす値を合計して返します。	=SUMIFS(合計対象範囲,条件範囲 1,条件 1,条件範囲 2…)
24	PRODUCT	引数の積を返します。	=PRODUCT(数値 1,数値 2…)
25	RANDBETWEEN	指定した数値の範囲で整数の乱数 <sup>※</sup> を発生させます。 <b>※ 式の実行対象となる場合にのみ乱数を発生させます</b>	=RANDBETWEEN(最小値,最大値)
26	FACT	指定した数値の階乗を返します。	=FACT(数値)
27	EXP	e(自然対数)を底とする数値のべき乗を返します。	=EXP(数値)
28	LOG	指定された数値を底とする数値の対数を返します。	=LOG(数値,底)
29	COMBIN	指定した数の対象から指定した個数を選択するとき、何通りのグループが作成できるかを返します。	=COMBIN(総数,抜き取り数)
30	FACTDOUBLE	指定した数値の二重階乗を返します。	=FACTDOUBLE(数値)
31	GCD	引数の数値の最大公約数を返します。	=GCD(数値 1,数値 2…)
32	LCM	引数の数値の最小公倍数を返します。	=LCM(数値 1,数値 2…)
33	MULTINOMIAL	指定された値の和の階乗と階乗の積との比を返します。	=MULTINOMIAL(数値 1,数値 2…)
34	ODD	一番近い奇数に切り上げた値を返します。	=ODD(数値)
35	EVEN	一番近い偶数に切り上げた値を返します。	=EVEN(数値)

※1 文字列でも「1」「01」などの数値であれば計算します。

## 10.6 統計

No.	関数名	補足説明	書式の例
1	MAX <sup>※1</sup>	指定範囲内の最大値を返します。	=MAX(数値 1,数値 2,…) )
2	MIN <sup>※1</sup>	指定範囲内の最小値を返します。	=MIN(数値 1,数値 2,…) )
3	COUNT <sup>※1</sup>	範囲内の数値データのセル個数を返します。	=COUNT(値 1,値 2,…) )
4	COUNTA <sup>※2</sup>	範囲内の空白でないセルの個数を返します。	=COUNTA(値 1,値 2,…) )
5	COUNTIF <sup>※1</sup>	条件指定可能な COUNT 関数です。	=COUNTIF(範囲,検索条件)
6	COUNTIFS	指定された複数の条件を満たすデータの数を返します。	=COUNTIFS(検索条件範囲 1,検索条件 1, 検索条件範囲 2,検索条件 2,…) )
7	AVERAGE <sup>※1</sup>	指定した値の平均値を返します。 空白や文字列は対象外になります。	=AVERAGE(値 1,値 2,…) )
8	AVERAGEA <sup>※2</sup>	指定した値の平均値を返します。 空白や文字列も対象になります。	=AVERAGEA(値 1,値 2,…) )
9	AVERAGEIF	指定された条件を満たす数値の平均値を返します。	=AVERAGEIF(範囲,条件)
10	AVERAGEIFS	指定された複数の条件を満たす数値の平均値を返します。	=AVERAGEIFS(平均対象範囲,条件範囲 1,条件 1,条件範囲 2,条件 2,…) )
11	COUNTBLANK	空白セルの個数を返します。	=COUNTBLANK(範囲)
12	LARGE	指定した順位の大きな値を返します。	=LARGE(配列,順位)
13	SMALL	指定した順位の小さな値を返します。	=SMALL(配列,順位)
14	PERMUT	指定した数の対象から、指定した個数を選択する場合の順列を返します。	=PERMUT(標本数,抜き取り数)
15	MINA	引数の最小値を返します。 文字型や論理型も対象となります。	=MINA(数値 1,数値 2,…) )
16	MAXA	引数の最大値を返します。 文字型や論理型も対象となります。	=MAXA(数値 1,数値 2,…) )
17	HARMEAN	1 組の数値の調和平均を返します。	=HARMEAN(数値 1,数値 2,…) )
18	FREQUENCY	範囲内でのデータの頻度分布を計算し、縦方向の数値の配列として返します。 配列関数指定の場合、戻り値は配列ではなく値となります。 ※ 区間配列は昇順か降順に並べる必要があります。 配列関数指定は複雑な数式パターンに対応していません。	=FREQUENCY(データ配列,区間配列)

※1 文字列でも「1」「01」など数値であれば計算します。

※2 判定対象のセルが「=if(A1<> "",A1,"")」などの式の結果、空白を表示する場合はカウントしません。

## 10.7 エンジニアリング

No.	関数名	補足説明	書式の例
1	DEC2BIN	10 進数を 2 進数に変換して返します。	=DEC2BIN(数値)
2	BIN2DEC	2 進数を 10 進数に変換して返します。	=BIN2DEC(数値)
3	DEC2OCT	10 進数を 8 進数に変換して返します。	=DEC2OCT(数値)
4	OCT2DEC	8 進数を 10 進数に変換して返します。	=OCT2DEC(数値)
5	DEC2HEX	10 進数を 16 進数に変換して返します。	=DEC2HEX(数値)
6	HEX2DEC	16 進数を 10 進数に変換して返します。	=HEX2DEC(数値)

## 10.8 情報

No.	関数名	補足説明	書式の例
1	ISTEXT	引数が文字列型の場合は TRUE を返します。	=ISTEXT(テストの対象)
2	ISNUMBER	数値の場合は TRUE を返します。	=ISNUMBER(テストの対象)
3	ISLOGICAL	引数が論理値(TRUE、FALSE)の場合は TRUE を返します。	=ISLOGICAL(テストの対象)
4	ISBLANK	引数が未入力(空白)の場合は TRUE を、それ以外は FALSE を返します。	=ISBLANK(テストの対象)
5	ISERROR	エラーの場合は TRUE を返します。	=ISERROR(テストの対象)
6	ISODD	指定した値が奇数の場合は TRUE を返します。	=ISODD(数値)
7	ISEVEN	指定した値が偶数の場合は TRUE を返します。	=ISEVEN(数値)
8	ISREF	引数が参照可能なセル範囲の場合、TRUE を返します。	=ISREF(テストの対象)
9	NA	NaN エラーを返します。	=NA()
10	TYPE	引数が数値型の場合は 1、文字列型の場合は 2、論理型の場合は 4、エラー型の場合は 16、値が未入力状態の場合は NULL を返します。 • 戻り値情報: NULL または数値型	=TYPE(値)

## 10.9 互換性

No.	関数名	補足説明	書式の例
1	CEILING	基準値の倍数のうち、最も近い値に切り上げた数値を返します。	=CEILING(数値,基準値)
2	FLOOR	基準値の倍数のうち最も近い値に切り捨てた値を返します。	=FLOOR(数値,基準値)
3	RANK	指定した数値の順位を返します。 「順序」が 0 のときは降順の、1 のときは昇順の結果を返します。	=RANK(数値,参照範囲,順序)
4	STDEV	標本に基づいて予測した標準偏差を返します。	=STDEV(数値 1,[数値 2],...)

## 10.10 データベース

No.	関数名	補足説明	書式の例
1	DMAX	指定された表の列を検索し、条件を満たす値の最大値を返します。	=DMAX(表の範囲,列名の文字列,条件)
2	DMIN	指定された表の列を検索し、条件を満たす値の最小値を返します。	=DMIN(表の範囲,列名の文字列,条件)
3	DSUM	指定された表の列を検索し、条件を満たす値の合計値を返します。	=DSUM(表の範囲,列名の文字列,条件)
4	DCOUNT	指定された表の列を検索し、条件を満たす数値型の数を返します。	=DCOUNT(表の範囲,列名の文字列,条件)
5	DCOUNTA	指定された表の列を検索し、条件を満たす未入力型でないデータの数を返します。	=DCOUNTA(表の範囲,列名の文字列,条件)
6	DAVERAGE	指定された表の列を検索し、条件を満たす値の平均値を返します。	=DAVERAGE(表の範囲,列名の文字列,条件)
7	DPRODUCT	指定された表の列を検索し、条件を満たす値の積を返します。	=DPRODUCT(表の範囲,列名の文字列,条件)
8	DGET	指定された表の列を検索し、条件を満たす値を返します。 複数のデータが返される場合は NaN エラーとなります。	=DGET(表の範囲,列名の文字列,条件)

# 11 チェックシートの確認事項

## 11.1 書式一覧

XC-Gate.V3システムがサポートする書式<sup>※</sup>は次のとおりです。

※ 全選択および、行または列で全体選択して指定した書式は表現できません。

### セルの表示形式

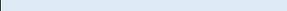
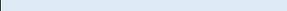
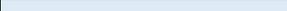
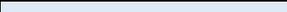
○：指定の書式で表現します。×：標準書式で表現します。

表示書式	種別	チェックシート		
		直接入力セルの表示書式	タグ記述セルの表示書式	タグ参照セルの表示書式
標準		○	○	○
数値	小数点以下の桁数	○	×	○
	桁区切りを使用する	○	×	○
	負の値の表示形式 (1234)  っこ付き赤文字	×	×	○
	負の値の表示形式 (1234)  っこ付き黒文字	○	×	○
	負の値の表示形式 1234  赤文字	×	×	○
	負の値の表示形式 -1234  マイナス符号付き 黒文字	○	×	○
	負の値の表示形式 -1234  マイナス符号付き 赤文字	×	×	×
	負の値の表示形式 △1234  △符号付き	○	×	○
	負の値の表示形式 ▲1234  ▲符号付き	○	×	○
通貨	小数点以下の桁数	○	×	○
	記号 ¥	○	×	○
	記号 \$	○	×	○
	記号 ¥、\$ 以外	×	×	×
	負の値の表示形式 (¥1234)  っこ付き赤文字	×	×	○
	負の値の表示形式 ¥-1234  マイナス符号付き 赤文字	×	×	×
	負の値の表示形式(上記以外)	×	×	○
会計	小数点以下	○	×	○
	記号 ¥	○	×	○
	記号 \$	○	×	○
	記号 ¥、\$ 以外	×	×	○

表示書式	種別	チェックシート		
		直接入力セルの表示書式	タグ記述セルの表示書式	タグ参照セルの表示書式
日付	年月日	○	△ (時間系タグのみ)	○
	年月	○	△ (時間系タグのみ)	○
	月日	○	△ (時間系タグのみ)	○
	年/月/日	○	△ (時間系タグのみ)	○
	年/月/日 時:分 AM	○	△ (時間系タグのみ)	○
	年/月/日 時:分	○	△ (時間系タグのみ)	○
	月/日	○	△ (時間系タグのみ)	○
	月/日/年(2桁)	○	△ (時間系タグのみ)	○
	月(2桁)/日(2桁)/年(2桁)	○	△ (時間系タグのみ)	○
	日-月(英字3文字)	○	△ (時間系タグのみ)	○
	日(2桁)/-月(英字2文字)-年(2桁)	○	△ (時間系タグのみ)	○
	月(英字3文字)-年(2桁)	○	△ (時間系タグのみ)	○
	月(英字)-年(2桁)	○	△ (時間系タグのみ)	○
	月(英字1文字)	○	△ (時間系タグのみ)	○
月(英字1文字)-年(2桁)	○	△ (時間系タグのみ)	○	
時刻	時:分	○	△ (時間系タグのみ)	○
	時:分 AM	○	△ (時間系タグのみ)	○
	時:分:秒	○	△ (時間系タグのみ)	○
	時:分:秒 AM	○	△ (時間系タグのみ)	○
	年(4桁数字)/月/日 時:分 AM	×	△ (時間系タグのみ)	○
	年(4桁数字)/月/日 時:分	×	△ (時間系タグのみ)	○
	時分	○	△ (時間系タグのみ)	○
	時分秒	○	△ (時間系タグのみ)	○
パーセンテージ	小数点以下の桁数	○	×	×
分数	すべて	×	×	×
指数	小数点以下の桁数	○	×	×
	指数表示	○	×	×
文字列	すべて	○	○	○
上記以外		×	×	×

## セルの書式形式

○：指定の書式で表現します。×：表現できません。

表示書式	種別	チェックシートへの変換可否
配置	横位置 左	○
	横位置 中央	○
	横位置 右	○
	縦位置 上	○
	縦位置 中央	○
	縦位置 下	○
	上記以外の配置	×
フォント	MS P ゴシック*	○
	上記以外のフォント	×
フォントスタイル	太字	○
	斜体	○
	フォント色変更(標準の色)	○
	上記以外のスタイル	×
罫線		○
		○
		○
		○
	上記以外の破線等	×
	罫線の線の色(標準色)	○
	セル中の斜線	×
塗りつぶし	背景色(標準色)	○
	上記以外の色変更	×
	パターン	×
上記以外		×

※ iPadOS用Safariの場合は、ブラウザの設定フォントに従います。

## 条件付き書式

### <注意事項>

- 使用可能なルールの種類は「指定の値を含むセルだけを書式設定」と「数式を使用して、書式設定するセルを決定」です。
- 複数の条件を設定すると、条件を作成した順番で書式が適応されます。条件の並び替えには対応していませんので注意してください。
- 「数式を使用して、書式設定するセルを決定」の参照を使用するときは、同一シート内を参照する数式を記述してください。

### <条件付き書式>

各種タグ参照時<sup>\*1</sup>の判別形式について記載します。

判別形式	タグ
文字列	入力タグ、コードタグ、(確認タグ、選択タグ、一覧タグ、ループタグ <sup>*2</sup> )、機能タグ承認タグ、データ表示タグ、データ検索タグ、参照タグ、CSV 表示タグ、QRリーダータグ
数値(シリアル値)	数値タグ、日付タグ、時刻タグ、時間タグ、タイマータグ
その他 <sup>*3</sup>	作業番号タグ、移動タグ、転記タグ、写真タグ、画像タグ、動画タグ、リンクタグ、データタグ、サインタグ、シェープタグ、CSV タグ

※1 タグ以外を参照先にすると、セルの書式設定が文字列のときは“文字列”、数値/日付/時刻は“数値”、標準は表示内容に応じて“文字列”または“数値”として判別します。

※2 タグの「値」または「項目」プロパティに設定されている内容に応じて、“文字列”または“数値”の判別をします。

※3 参照はできる「条件付き書式判定に適さないもの」「活用が難しいもの」「参照しても値が取れないもの」です。

### セルの書式形式

○：指定の書式で表現します。×：表現できません。

表示書式	種別	チェックシートへの変換可否
フォント	フォントの設定※	×
フォントスタイル	太字	○
	フォント色変更(標準の色)	○
	上記以外のスタイル	×
罫線	罫線の設定	×
塗りつぶし	背景色の色(標準色)	○
	上記以外の色変更	○
	上記以外の設定	×
上記以外		×

※ iPadOS用Safariの場合は、ブラウザの設定フォントに従います。

## 11.2 オートシェイプ

XC-Gate.V3システムがサポートするオートシェイプは次のとおりです。

### オートシェイプ使用時の注意事項

- 一覧の色網掛けのオートシェイプは未対応です。  
(半角文字の縦書きテキストボックス【★1】、数式図形、星、リボン関連)
- Excelファイルに配置しているオートシェイプやグラフは、チェックシートでは位置がずれて表示されることがあります。
- Excelファイルに記述しているタグ(12章参照)がオートシェイプで隠れていると、チェックシートではオートシェイプの後ろに入力エリアやボタンが表示されますので注意してください。
- Excelファイルで数式や文字列がオートシェイプで隠れていると、チェックシートではオートシェイプの背面に数式や文字列が表示されますので注意してください。
- オートシェイプの中にテキストを入力すると、XC-Gate.V3ではずれて表示されることがあります。テキストを配置する場合は、直接オートシェイプに入力せず、透明のテキストボックスを重ねて配置してください。

### 線

直線	矢印	双方向矢印	カギ線コネクタ	カギ線矢印コネクタ	カギ線双方向矢印コネクタ	曲線コネクタ	曲線矢印コネクタ	曲線双方向矢印コネクタ
曲線	フリーフォーム※	フリーハンド※						

※ 線の設定が点線、またはサイズの高さ/幅が0.02cm未満の場合、チェックシートが登録できないことがあります。

### 四角形

正方形/長方形	角丸四角形	ひとつの角を切りとった四角形	片側の2つの角を切りとった四角形	対角する2つの角を切りとった四角形	ひとつの角を丸めた四角形	ひとつの角を丸めた四角形	片側の2つの角を丸めた四角形	対角する2つの角を丸めた四角形

基本図形

	★1							
テキストボックス	縦書きテキストボックス	円/楕円	二等辺三角形	直角三角形	平行四角形	台形	ひし形	五角形
六角形	七角形	八角形	十角形	十二角形	パイ	弦	涙型	フレーム
フレーム(半分)	L字	斜め縞	十字型	ブローチ	円柱	直方体	額縁	ドーナツ
禁止	アーチ	メモ	スマイル	ハート	稲妻	太陽	月	雲
円弧	大かっこ	中かっこ	左大かっこ	右大かっこ	左中かっこ	右中かっこ		

ブロック矢印

右矢印	左矢印	上矢印	下矢印	左右矢印	上下矢印	四方向矢印	三方向矢印	曲折矢印
Uターン矢印	二方向矢印	屈折矢印	右カーブ矢印	左カーブ矢印	上カーブ矢印	下カーブ矢印	ストライプ矢印	V字型矢印
ベース型矢印	山形	右矢印吹き出し	下矢印吹き出し	左矢印吹き出し	上矢印吹き出し	左右矢印吹き出し	四方向矢印吹き出し	環状矢印

数式図形(未対応)

加算記号	減算記号	乗算記号	除算記号	等号	不等号			

フローチャート

処理	代替処理	判断	データ	定義済み処理	内部記憶	書類	複数書類	端子
準備	手操作入力	手作業	結合子	他ページ結合子	カード	せん孔テープ	和接合	論理和
照合	分類	抜出し	組合せ	記憶データ	論理積データ	順次アクセス記憶	磁器ディスク	直接アクセス記憶
表示								

星とリボン(未対応)

爆発 1	爆発 2	星 4	星 5	星 6	星 7	星 8	星 10	星 12
星 16	星 24	星 32	上リボン	下リボン	上カーブリボン	下カーブリボン	縦巻き	横巻き
大波	小波							

吹き出し

四角形吹き出し	角丸四角形吹き出し	円形吹き出し	雲形吹き出し	線吹き出し 1 (枠付き)	線吹き出し 2 (枠付き)	線吹き出し 3 (枠付き)	強調線吹き出し 1	強調線吹き出し 2
強調線吹き出し 3	線吹き出し 1	線吹き出し 2	線吹き出し 3	強調線吹き出し 1 (枠付き)	強調線吹き出し 2 (枠付き)	強調線吹き出し 3 (枠付き)		

## 11.3 セルの設定

チェックシートに使用するExcelファイルに「ウィンドウ枠の固定」機能を使用すると、チェックシートの表示が崩れるおそれがあります。以下の内容に注意してください。



### ウィンドウ枠固定使用時の注意事項

- A列または一番左端の列のセルは結合しないでください。表示が崩れます。
- チェックシートの途中にある行/列を非表示にしないでください。  
非表示にした行/列以降の表示が崩れます。  
非表示にする行/列は、チェックシートの表示に影響しない下端や右端に寄せて記述してください。
- ウィンドウ枠の固定の境界ではセルを結合しないでください。  
ウィンドウ枠の固定/非固定の境界に結合されたセルがあると、行の表示が崩れます。
- ウィンドウ枠の固定で固定されたセルは手書き機能を利用できません。

## 12 タグ

Excelファイルのセルに「タグ」を記述することによって、チェックシート登録時、「タグ」の内容に対応した機能をWeb画面上に生成します。

### タグの記述方法

\*<タグ名> 名前:<項目名> [機能名1]:<値> [機能名2]:<値> ....

### タグの詳細

記述項目	機能
*<タグ名>	<タグ名>に使用するタグ名称を入力します。
名前:<項目名>	<項目名>に実績の項目名を入力します。 実績取得で取得する実績値の項目名です。 実績一覧画面、CSV出力、EXCEL出力時に表示されます。
[機能名]:<値>	使用する機能を記述します。 機能名はタグごとに選択、省略できます。

#### <記述項目について>

<項目名>や<値>に記述する入力値は「」または「”」で囲んでください。

- ・ <項目名>では省略可能です。
- ・ 「」を入力値にしたいときは、「”」を「”」で囲んで記述します。

#### <機能名について>

- ・ タイプが「プロパティ」の場合、機能名の記述のみで動作します。値の記述は不要です。
- ・ タイプが「値」または「式」のとき、<値>を指定します。
  - 値： <値>に値を直接入力します。
  - 式： セル番地参照、セル番地の範囲参照、式の計算で値を設定します。
    - セル番地参照； 実績値を表示しているセル番地を指定します。  
[機能名]によっては使用できません。
    - セル番地の範囲参照； 複数のセルの区画を指定します。  
[機能名]によっては使用できません。
    - 式の計算； <値>に式を記述します。  
計算結果が[機能名]で使用できない値のとき、正常に動作しません。
- ・ [機能名]によっては併用できない各タグページの「併用不可」の欄を参照してください。

### 記述例

記述項目	機能
*入力 名前:'文字入力 1' 大きさ:'12' 複数行	文字入力する領域を生成します。 <b>&lt;内容&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 項目「文字入力 1」に実績値を記録します。</li> <li>・ 文字列はフォントサイズ 12 ポイントで表示します。</li> <li>・ 改行を含んだ複数行の文字列が入力できます。</li> </ul>

### 色コード

W3C標準カラー指定の詳細URL（参考）

- ・ 公式文書：<https://www.w3.org/TR/css-color-3/>
- ・ 公開文書：<http://stANDards.mitsue.co.jp/resources/w3c/TR/css3-color/>

## 12.1 制限事項

### 12.1.1 禁止文字

Excelファイル内のタグの項目名、Excelファイルのシート名に禁止文字を記述すると、チェックシートが正常に動作できなくなるおそれがあります。

ExcelファイルをXC-Gate.V3システムへ登録する前に、以下の文字が含まれていないことを確認してください。

#### タグ項目名、シート名の禁止文字

禁止	禁止例
名前が数値のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>タグ: *入力 名前:'1'</li> <li>シート名: <b>002</b></li> </ul>
名前がセル番地 (A1~ZZ1048576)	<ul style="list-style-type: none"> <li>タグ: *入力 名前:'A1'</li> <li>シート名: <b>002</b></li> </ul>
数値で始まる名前 (半角/全角)	<ul style="list-style-type: none"> <li>タグ: *入力 名前:'1 番目'</li> <li>シート名: 2月データ</li> </ul>
名前が空白	<ul style="list-style-type: none"> <li>タグ: *入力 名前:''</li> </ul>
入力値が文字になるタグ	文字を扱うタグの「初期値」項目に「全角コロン、全角スペース」を使用しない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>タグ 1: *入力 名前:'入力 01' 初期値:'比率 <b>1:2</b>'</li> <li>タグ 2: *入力 名前:'入力 02' 初期値:'<b>テクノ 太郎</b>'</li> </ul>
Excel のセル範囲参照で列/行のいずれか一方のみでの参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>列のみ: <b>=A:B</b></li> <li>行のみ: <b>=1:2</b></li> </ul>

文字種類	禁止文字
記号(半角)文字の禁止	~ ! @ # \$ % ^ & * ( ) + ` - = [ ] { } ¥   ; : ' " , . / < > ? など
記号(全角)文字の禁止	~ ! @ # \$ % ^ & * ( ) + ` - = 「 」 { } ¥   ; : ' " 、 。 < > ? ・ ♂ ★ ◎ □ ♀ ↓ など
連続するアンダーバー (全角、半角)文字の禁止	— ——
機種依存文字の禁止	キロ キン トル トル (株) (有) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ TEL viii など
半角スペース、全角スペース、タブ、改行、復帰等の文字の禁止	¥t ¥n ¥x0B ¥f ¥r
半角カタカナ文字の禁止	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダチヅデトハヒフヘホパピブペポアイウエオツヤユヨ。「」`^`、
システム予約語文字の禁止 (半角のみ、完全一致) ※ 大文字/小文字の区別なし	break case catch continue default delete do else finally for function if in instanceof new return switch this throw try typeof var void while with abstract boolean byte char class const debugger double enum export extends final float goto implements import int interface long native package private protected public short static super synchronized throws transient volatile

### 実績値の禁止文字

タグの実績値に禁止文字を記述し、XLSX出力またはPDF出力\*をした場合、実績値が文字化けするおそれがあります。

実績登録する前に、以下の文字が含まれていないことを確認してください。

※ PDF出力については、別紙「XC-GateV3 PDF出力機能取扱説明書」を参照ください。

文字種類	禁止文字
サロゲートペア文字(4バイト文字)	丈 土 堅 壅 孀 叱 岌 嶮 昇 梳 櫟 爵 恭 復 碇 碕 杼 竈 籊 艾 緇 緇 緇 緇 緇 鶉 ㄣ 斥 など

### ファイル ID の禁止文字

XC-Gate.V3のファイルIDには、以下の禁止文字を使用しないでください。

項目	文字種類	禁止文字
ファイル ID	記号(半角)文字の禁止	-(ハイフン)、_(アンダーバー)以外の全ての記号

### フォルダ名、ファイル名、作業タイトル詳細

XC-Gate.V3のフォルダ名、ファイル名、作業タイトルには、以下の禁止文字を使用しないでください。

項目	文字種類	禁止文字	非推奨文字
フォルダ名、ファイル名	記号(半角)文字の禁止	¥ / \ : * ? " < >   ( ) ~ !	# +
作業タイトル	記号(半角)文字の禁止	¥ < > ! ? # \$ % " ' "	

#### 12.1.2 名前に使用できる制限文字数

XC-Gate.V3で利用できる文字数は以下になります。

名前の種類	制限文字数	名前の種類	制限文字数
チェックシートの名前	255 文字 <sup>※1</sup>	ファイルの名前	255 文字 <sup>※1</sup>
チェックシートのファイル ID	45 文字	ファイルのファイル ID	255 文字
シート名	45 文字 <sup>※1</sup>	フォルダの名前	255 文字 <sup>※1</sup>
タグの名前項目	256 文字 <sup>※1</sup>	フォルダのファイル ID	255 文字 <sup>※2</sup>
作業タイトル	255 文字 <sup>※1</sup>		

※11文字は全角/半角関係なく1文字と数えます。

※2自動付番します。

#### 12.1.3 「\*」の記述について

最初の文字が「\*」のセルはXC-Gate.V3のタグとして認識されます。

## 12.2 初期値一覧

使用できる初期値は以下になります。

用途	名称	タグにおける記述例	使用タグ
現在のログイン利用者コードを取得	\$LOGIN_USER_CD	*入力 名前:'初期値 1' 表示:'\$LOGIN_USER_CD'	入力
現在のログイン利用者名を取得 <sup>※1</sup>	\$LOGIN_USER_NAME	*入力 名前:'初期値 2' 表示:'\$LOGIN_USER_NAME'	入力
現在開いているチェックシートのファイル ID を取得	\$REPORT_CD	*入力 名前:'初期値 3' 表示:'\$REPORT_CD'	入力 リンク データ
現在開いているチェックシートの作業タイトルを取得 <sup>※1,2</sup>	\$TITLE	*入力 名前:'初期値 4' 表示:'\$TITLE'	入力 リンク
現在のトランザクションコードを取得	\$TRX_CD	*入力 名前:'初期値 5' 表示:'\$TRX_CD'	入力
現在のログイン利用者コードを取得 <sup>※3</sup>	\$CURRENT_LOGIN_USER_CD	*入力 名前:'初期値 6' 表示:'\$CURRENT_LOGIN_USER_CD'	入力
現在のログイン利用者名を取得 <sup>※3</sup>	\$CURRENT_LOGIN_USER_NAME	*入力 名前:'初期値 7' 表示:'\$CURRENT_LOGIN_USER_NAME'	入力

※1 登録されている実績を表示した場合は、保存されている値を優先して表示します。

※2 作業番号タグを設定しているときのみ値を取得します。

※3 入力済の実績を表示した場合でも、ログイン中の利用者の情報を強制的に表示します。

## 12.3 作業番号タグ

### 機能

利用者画面でチェックシートを開いたとき、作業タイトル選択画面を表示します。  
作業番号タグを実績識別子として使用することで、ひとつの実績を複数人で共用できます。

### 記述形式

\*作業番号 名前:'<項目名>'

### 記述項目

同一項目は併用できません。

項目名	タイプ	機能
*作業番号 名前:'<項目名>' (必須)	値	チェックシートを開いた際、作業タイトル選択画面を表示します。 入力した実績に完了、未完了の状態を付与します。 本タグを設定することで、チェックシートのプロパティの属性[タイトル先]の値が「タイトルを実績開始時に入力する。」になります。

### 記述例

記述項目	機能
*作業番号 名前:'作業番号 01'	チェックシートを開いた際、「作業タイトル選択」画面(利用者編取扱説明書参照)を表示します。

※ 作業番号タグをExcelファイルに記述しない場合、チェックシートの実績登録時の作業タイトルには、「作業ID-年月日-時刻」が自動設定されます。

## 12.4 入力タグ

### 機能

文字を入力する入力領域をチェックシート上に生成します。  
入力タグを記述したセル位置にテキストボックス入力領域を配置します。

### 記述形式

\*入力 名前:'<項目名>'  
[初期値:'<初期表示文字>'] [表示:'=<参照セル番地>'] [最大文字数:'<桁数>'] [文字数:'<桁数>']  
[入力規制:'<規制文字>'] [大きさ:'<フォントサイズ>'] [テキスト表示色:'<色コード>']  
[背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>'] [非表示:'=<参照セル番地>']  
[確認:'<確認メッセージ>'] [権限:'<グループコード>'] [読み取り専用] [ソフト入力] [ソフト入力小]  
[複数行] [参照:'=<参照セル番地>'] [必須項目] [タグ順序:'<番号>']

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*入力 名前:'<項目名>' (必須)	値	文字入力領域を生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
初期値:'<初期表示文字>'	値	入力実績の新規作成時に<初期表示文字>で指定した文字を設定します。	表示、参照
表示:'<入力文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 参照セルの値が変更、もしくは画面の再読込を行うと指定セル番地の値を表示します。画面の再読込時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	初期値、参照
最大文字数:'<桁数>' 最大文字数:'=<参照セル番地>'	値、式	入力可能文字数を<桁数>の文字数に制限します。 本項目の省略時には入力可能文字数は半角文字、全角文字の総数が 1800 文字となります。 セル幅が狭い場合は、右側に残りの文字枠を表示します。	文字数、ソフト入力、ソフト入力小
文字数:'<桁数>' 文字数:'=<参照セル番地>'	値、式	入力領域を<桁数>で指定した文字数で分割します。 入力可能文字数を<桁数>で指定した文字数に制限します。 入力領域を選択すると専用の入力画面を表示します。	最大文字数、ソフト入力、ソフト入力小 複数行
入力規制:'<規制文字>' 入力規制:'=<参照セル番地>'	値、式	<規制文字>で指定した文字以外は入力できないように制限します。 JavaScript に対応している正規表現を使用できます。	
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで入力値を表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
テキスト表示色:'<色コード> テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	入力値の文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード> 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	セルの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
有効:'=<参照セル番地> 有効:'=[<参照セル番地>] 無効:'=<参照セル番地> 無効:'=[<参照セル番地>]	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれか のとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。	
非表示:'=<参照セル番地> 非表示:'=[<参照セル番地>]	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれか のとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3] で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ> 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認 メッセージ>で指定した確認メッセージを表示しま す。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード> 権限:'<グループコード 1>, <グループコード 2> 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可し ます。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定する ことができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属 さない場合、認証ポップアップを表示します。 その場合、指定されたグループに属する 利用者コード、パスワードを入力すると入 力が可能になります。	
読み取り専用	式、 プロパティ	入力内容を変更できません。	
ソフト入力	プロパティ	入力領域を選択すると簡易電卓画面から入 力が行います。 省略時には PC、タブレット端末のキー ボード入力になります。	最大文字数、 文字数、 複数行、 ソフト入力小
ソフト入力小	プロパティ	上記「ソフト入力」と同機能で簡易電卓 画面を縮小して表示します。	最大文字数、 文字数、 複数行、 ソフト入力、
複数行	プロパティ	入力領域に改行の入力が可能になり、 複数行で表示することができます。 ※ 入力値に改行を入力している場合、 セルの書式設定で「折り返して全体 を表示する」を設定していないと、 EXCEL 出力時に改行されません。	文字数、 ソフト入力、 ソフト入力小
参照:'<参照セル番地> 参照:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の 値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、 または画面の再読込を行った場合は 指定したセル番地の値を表示しま す。画面の再読込時に再表示を行 いたくない場合は環境タグの「*環 境 無効化:計算優先」を別のセル に記述します。	表示、 初期値

項目名	タイプ	機能	併用不可
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	
タグ順序:<番号>	値	タブキーで入力項目を指定した際の順序を数値で指定します。	ソフト入力、ソフト入力小

### 記述例

記述項目	機能
*入力 名前:'入力 01' 入力規制:'^[A-Za-z0-9]*\$'	半角英数字以外の文字列の入力を禁止します。
*入力 名前:'入力 02' 背景色:'#ffaa99' 入力規制:'^[A-Za-z0-9]+[¥w-]+@[¥w¥.-]+¥.¥w{1,}\$'	メールアドレス形式以外の文字列の入力を禁止します。背景色を淡いピンク色(#ffaa99)に設定します。
*入力 名前:'入力 03' 最大文字数:'50' 複数行	文章の改行と 50 文字まで入力できます。
*入力 名前:'入力 04' 無効:'=F18' 大きさ:'20'	文字の大きさが 20 ポイントになり、セル番地 F18 のセルの値が false の場合、入力できなくなります。
*入力 名前:'入力 05' 有効:'=IF(A1=1,TRUE,FALSE)' 確認:'変更します。よろしいですか?'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、入力内容を変更前に「変更します。よろしいですか?」の確認メッセージを表示します。

## 12.5 コードタグ

### 機能

指定した桁数の枠で区切った入力領域をチェックシート上に生成します。  
コードタグを記述したセル位置にコード入力領域を配置します。

### 記述形式

\*コード 名前:'<項目名>' 桁:'<桁数>'

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*コード 名前:'<項目名>' (必須)	値	コード入力領域を生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
桁:'<桁数>' (必須)	値	必須項目です。コード入力領域の桁数を指定します。 桁数の最大推奨値は255桁です。	

### 記述例

記述項目	機能
*コード 名前:'コード01' 桁:'5'	桁数"5"の枠で区切られた入力エリアを表示します。

## 12.6 数値タグ

### 機能

数値を入力する入力領域をチェックシート上に生成します。  
 数値タグを記述したセル位置に数値入力領域を配置します。  
 最大入力可能桁数は、小数点を含まず16桁(内10桁は小数)です。

### 記述形式

\*数値 名前:'<項目名>'  
 [初期値:'<初期表示文字>'] [表示:'=<参照セル番地>'] [最大文字数:'<桁数>'] [入力規制:'<規制文字>']  
 [大きさ:'<フォントサイズ>'] [テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>']  
 [無効:'=<参照セル番地>'] [非表示:'=<参照セル番地>'] [確認:'<確認メッセージ>']  
 [権限:'<グループコード>'] [ソフト入力] [ソフト入力小] [スライダー] [スピン] [ステップ:'<加減値>']  
 [最大値:'<最大値>'] [最小値:'<最小値>'] [読み取り専用] [参照:'=<参照セル番地>']  
 [しきい値上限:'<数値入力>'] [しきい値下限:'<数値入力>'] [しきい値色:'<色コード>'] [必須項目]  
 [タグ順序:'<番号>']

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
 記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*数値 名前:'<項目名>' (必須)	値	数値入力テキストボックスを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
初期値:'<初期表示文字>'	値	<初期表示文字>で指定された数字を入力実績の新規作成時に表示します。	表示、参照
表示:'<数値入力>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値が変更、もしくは画面の再読込を行うと指定するセル番地の値を表示します。画面の再読込時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	初期値、参照
最大文字数:'<桁数>' 最大文字数:'=<参照セル番地>'	値、式	入力可能桁数を<桁数>で指定した桁数に制限します。 省略時には入力可能桁数は小数点含まず16桁(内10桁は小数)です。 セル幅が狭い場合は、右側に残りの文字枠を表示します。	ソフト入力、ソフト入力小
入力規制:'<規制文字>' 入力規制:'=<参照セル番地>'	値、式	<規制文字>で指定した文字以外は入力できないように制限します。 JavaScriptに対応している正規表現を使用できます。	
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで入力値を表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=[<参照セル番地>]' 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=[<参照セル番地>]'	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、 入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>]'	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、 項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ>' 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード>' 権限:'<グループコード1>,<グループコード2>' 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	
ソフト入力	プロパティ	数値入力領域を選択すると簡易電卓画面から行います。 省略時には PC、タブレット端末のキーボード入力になります。	最大文字数、 ソフト入力小、 スライダー、 スピン
ソフト入力小	プロパティ	上記「ソフト入力」と同機能で簡易電卓画面を縮小して表示します。	最大文字数、 ソフト入力、 スライダー、 スピン
スライダー	プロパティ	数値入力用のスライダー画面(バーで数値を加減)を表示します。 • 必要な記述項目:最小値、最大値	ソフト入力、 ソフト入力小、 スピン
スピン	プロパティ	数値入力用のスピン画面(ボタンで数値を加減)を表示します。 • 必要な記述項目:最小値、最大値、ステップ	ソフト入力、 ソフト入力小、 スライダー
ステップ:'<加減値>'	値	数値の加減値を設定します。 • 必要な記述項目: スピンまたはスライダー	
最大値:'<最大値>'	値	数値入力の上限を設定します。	
最小値:'<最小値>'	値	数値入力の下限を設定します。	
読み取り専用	式、 プロパティ	入力内容を変更できません。	
参照:'<参照セル番地>' 参照:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読み込みを行った場合は指定したセル番地の値を表示します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:'計算優先」を別のセルに記述します。	表示、 初期値
しきい値上限:'<数値入力>'	値	数値入力の上限を設定します。 設定値を超えた数値を入力すると、入力フォームの背景色を「しきい値色」で指定した色に変更します。 「しきい値色」の指定をしていない場合は赤になります。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
しきい値下限:'<数値入力>'	値	数値入力の下限を設定します。 設定値未満の数値を入力すると、入力フォームの背景色を「しきい値色」で指定した色に変更します。 「しきい値色」の指定をしていない場合は赤になります。	
しきい値色:'<色コード>' しきい値色:'=<参照セル番地>'	値、式	しきい値上限/しきい値下限が設定された入力フォームの変更色を色コードで設定します。 • 必要な記述項目： しきい値上限またはしきい値下限	
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	
タグ順序:'<番号>'	値	タブキーで入力域を指定した際の順序を数値で指定します。	ソフト入力、 ソフト入力小

### 記述例

記述項目	機能
*数値 名前:'数値 01' テキスト表示色:'red' ソフト入力	表示される文字が赤(red)へ変わり、簡易電卓で入力を行えるようになります。
*数値 名前:'数値 02' スピン ステップ:'2' 最小値:'0' 最大値:'10'	本タグを選択時、スピン画面を表示します。 上下のボタンで2ずつ増減できるようになり、最小値は0、最大値は10まで入力できます。
*数値 名前:'数値 03' 表示:'=B1' 読み取り専用	B1のセルに入力されている値を表示し、本タグを選択しても変更ができません。
*数値 名前:'数値 04' 有効: '=IF(A1=1,TRUE,FALSE)' 最大文字数:'5'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、入力ができます。5文字まで入力ができます。

### 参照項目を使用時の注意

参照を使用する場合は、参照セルの結果が浮動小数点にならないようにRound関数を使用してください。Round関数を使用しない場合は、正しく参照できなくなります。

#### <Round関数を使用しなかった場合>

- Excel画面：

The screenshot shows an Excel spreadsheet. The formula bar at the top contains the formula `=7.6-7.5`. Below it, a cell in column B, row 1 contains the value `0.1`. The cell is highlighted with a black border.

- Web画面: 正しく参照できません

The screenshot shows a web interface with a green bar containing the value `0.099999999999999964`.

#### <Round関数を使用した場合>

- Excel画面：

The screenshot shows an Excel spreadsheet. The formula bar at the top contains the formula `=ROUND(7.6-7.5,10)`. Below it, a cell in column B, row 1 contains the value `0.1`. The cell is highlighted with a black border.

- Web画面: 正しく参照できます

The screenshot shows a web interface with a green bar containing the value `0.1 0.1`.

## 12.7 移動タグ

### 機能

別シートへ移動するボタンをチェックシート上に生成します。  
 移動タグを記述したセル位置に移動ボタンを配置します。

### 記述形式

\*移動 名前:'<項目名>'  
 [シート:'<移動先シート名>'] [テキスト:'<表示文字>'] [保存] [一時保存] [完了] [ロック] [表示:'<表示文字>']  
 [大きさ:'<フォントサイズ>'] [テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>']  
 [無効:'=<参照セル番地>'] [非表示:'=<参照セル番地>'] [確認:'<確認メッセージ>']  
 [権限:'<グループコード>']

※ 上記記述形式は箇条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
 記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*移動 名前:'<項目名>' (推奨)	値	移動ボタンを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。 ※ 移動タグは、「名前:'<項目名>」を記述しない場合、帳票の上書き登録時に帳票内のタグ数が増減してエラーとなることがあるため、本項目の記述を推奨します。	
シート:'<移動先シート名>'	値	<移動先シート名>で指定されたシートへ移動します。 シート名が禁止文字に該当する場合、機能しない場合があります。	
テキスト:'<表示文字>'	値	<表示文字>で指定した文字列を移動ボタン上に表示します。 チェックシートで本タグを選択すると、<表示文字>の値をサーバーへ保存します。	表示
保存	プロパティ	本項目を記述したボタンを選択するとチェックシートの入力実績をサーバーに保存します。 保存が正常終了すると、入力実績の新規作成を行います。 作業番号タグを設定したチェックシートでは入力実績をサーバーへ保存時に『作業未完了』の情報を付加します。 保存が正常完了すると、作業タイトル選択画面(利用者編取扱説明書参照)へ遷移します	一時保存
一時保存	プロパティ	本項目を記述したボタンを選択するとチェックシートの入力実績をサーバーに保存します。保存が正常完了すると、「シート:」で指定したシートへ遷移します。 作業番号タグを設定したチェックシートでは入力実績をサーバーへ保存時に『作業未完了』の情報を実績に付加します。 • 必要な記述項目:シート	保存、 ロック、 完了

項目名	タイプ	機能	併用不可
完了	プロパティ	本項目を記述したボタンを選択するとチェックシートの入力実績をサーバーに保存します。入力実績をサーバーへ保存時に『作業完了』の情報を実績に付加します。『保存』との併用が必須です。 作業番号タグを設定したチェックシート以外では使用できません。 『作業完了』した場合、『作業未完了』へ戻すことはできません。 • 必要な記述項目:保存	
ロック	プロパティ	チェックシートの入力実績をサーバーへ保存後、書き換えをできないように「ロック」します。 • 必要な記述項目:保存 ※ 「ロック」の解除は、管理者画面で実績の操作より「ロックする」ボタンをクリックすることで「ロック解除」となります。	一時保存
表示:'<表示文字>'	値	「テキスト:」と同じ機能ですが、チェックシートで本タグを選択しなくても、<表示文字>の値をサーバーへ保存します。 「テキスト:」と同時使用はできません。	テキスト
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。入力エリアの縦幅が文字の縦幅より小さい場合、指定したフォントサイズに合わせて行高さが広がります。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=[<参照セル番地>] 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=[<参照セル番地>]	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>]	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ>' 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード>' 権限:'<グループコード 1>,<グループコード 2>' 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	

記述例	
記述項目	機能
*移動 名前:'移動 01' 表示:'保存' 保存 ロック	今開いているチェックシートの実績をサーバーに送信後ロックし、新しい実績を表示します。一時保存実績からは削除されません。 ※ 作業番号タグが記述されたチェックシートは、「作業タイトル選択」画面(利用者編取扱説明書参照)に遷移します。
*移動 名前:'移動 02' 表示:'管理者シート移動' シート:'管理者シート' 権限:'AdminGroup'	ログインしている利用者がグループコードの『AdminGroup』に所属している、ポップアップ認証を行った利用者により『管理者シート』へ遷移できます。
*移動 名前:'移動 03' 表示:'シート 2 へ移動' シート:' Sheet2' 一時保存	現在の入力実績をサーバーに保存し、『Sheet2』へ遷移します。
*移動 名前:'移動 04' 表示:'シート 2 へ移動' シート:' Sheet2' 非表示:'=F14'	現在の入力実績を端末に保存し、『Sheet2』へ遷移します。セル番地 F14 のセルの値が false の場合、本タグが表示されません。なお、入力実績はサーバーに保存されません。
*移動 名前:'移動 05' 表示:'シート 2 へ移動' シート:' Sheet2' 有効:'=IF(A1=1,TRUE, FALSE)' 確認:'移動します。よろしいですか?'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、選択できます。選択すると、『Sheet2』へ遷移する前に「移動します。よろしいですか?」の確認メッセージを表示します。

## 12.8 確認タグ

### 機能

『ON』、『OFF』の切り替えボタンをチェックシート上に生成します。

確認タグを記述したセル位置に確認ボタンを配置します。

また、「未入力」⇒「値1」⇒「値2」・・・と確認ボタンをクリックすると表示内容が切り替わるトグルボタンを生成できます。

### 記述形式

\*確認 名前:'<項目名>'

[値:'<表示文字>'] [トグル:'<項目1/項目2/...>'] [初期値:'<初期表示文字>'] [表示:'=<参照セル番地>']

[大きさ:'<フォントサイズ>'] [選択色:'<色コード>'] [テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>']

[トグル選択色:'<色コード1/色コード2/...>'] [トグル選択文字色:'<色コード1/色コード2/...>']

[有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>'] [非表示:'=<参照セル番地>']

[確認:'<確認メッセージ>'] [権限:'<グループコード>'] [参照:'=<参照セル番地>'] [必須項目]

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*確認 名前:'<項目名>' (必須)	値	確認ボタンを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
値:'<表示文字>' 値:'=<参照セル番地>'	値、式	<表示文字>で指定した文字列を確認ボタン上に表示します。	トグル
トグル:'<項目 1/項目 2/...>' トグル:'=<項目リスト範囲>'	値、式	本項目を記述したボタンを選択すると<項目 1/項目 2/...>、もしくは<項目リスト範囲>で指定された項目を表示します。選択するたびに「未入力」→「項目 1」→「項目 2」の順に表示が切り替わります。 「値:」と同時使用はできません。また、重複した項目値を設定しないようにしてください。	値
初期値:'<初期表示文字>'	値	入力実績の新規作成時に<初期表示文字>で指定した値に対応する状態を表示します。 「値:」と同じ場合:『選択状態』 「値:」と違う場合:『未選択状態』	表示、参照
表示:'<入力文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値に対応する状態を表示します。 「値:」と同じ、または「トグル:」に含まれる値の場合:『選択状態』 「値:」と違う、または「トグル:」に含まれない値の場合:『未選択状態』 指定したセルの値が変更、もしくは画面の再読み込みを行うと指定セル番地の値により選択状態を変更します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	初期値、参照
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	
選択色:'<色コード>'	値	選択時、タグの背景色を指定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	トグル選択色
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
トグル選択色:'<色コード 1/ 色コード 2/...>'	値	選択時、タグの背景色を指定の色に変更します。選択するたびに「未入力」→「色コード 1」→「色コード 2」の順に背景色が切り替わります。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。 • 必要な記述項目:トグル	選択色
トグル選択文字色:'<色コード 1/ 色コード 2/...>'	値	選択時、タグの表示文字色を指定の色に変更します。選択するたびに「未入力」→「色コード 1」→「色コード 2」の順にテキスト文字色が切り替わります。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。 • 必要な記述項目:トグル	
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=[<参照セル番地>]' 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=[<参照セル番地>]'	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>]'	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ>' 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード>' 権限:'<グループコード 1>,< グループコード 2>' 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	
参照:'<参照セル番地>' 参照:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読込を行った場合は指定したセル番地の値を表示します。画面の再読込時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	表示、 初期値
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	

記述例

記述項目	機能
*確認 名前:'確認 01' 値:'確認済み' 選択色:'blue'	選択するとタグの背景色が青色(blue)になり、選択状態になります。
*確認 名前:'確認 02' 大きさ:'15' トグル:'○/×'	本タグに表示される文字の大きさが 15 ポイントになり、選択するたびに「未選択」、「○」、「×」と表示が切り替わります。
*確認 名前:'確認 03' 確認:'変更します。 よろしいですか?' トグル:'=F12:F14'	選択するたびにセル番地 F12~F14 の内容を表示します。変更前に「変更します。よろしいですか?」の確認メッセージを表示します。
*確認 名前:'確認 04' 値:'確認済' テキスト表示色:'red' 有効: '=IF(A1=1,TRUE,FALSE)'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、選択できます。選択すると、表示文字は赤(red)表示されます。

## 12.9 選択タグ

### 機能

複数の選択項目のある内、ひとつ選択を選択できるボタンをチェックシート上に生成します。  
選択タグを記述したセル位置に選択ボタンを配置します。

### 記述形式

\*選択 名前:'<項目名>'  
[値:'<表示文字>'] [初期値:'<初期表示文字>'] [表示:'=<参照セル番地>'] [大きさ:'<フォントサイズ>']  
[選択色:'<色コード>'] [テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>']  
[無効:'=<参照セル番地>'] [非表示:'=<参照セル番地>'] [確認:'<確認メッセージ>']  
[権限:'<グループコード>'] [参照:'=<参照セル番地>'] [必須項目]

※ 上記記述形式は箇条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
* <b>選択 名前:'&lt;項目名&gt;'</b> (必須)	値	選択ボタンを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。 同一の選択対象である複数の選択タグに対して、名前:'<項目名>'に同じ項目名を記述します。	
<b>値:'&lt;表示文字&gt;'</b> <b>値:'=&lt;参照セル番地&gt;'</b> (必須)	値、式	<表示文字>で指定した文字列を確認ボタン上に表示します。	
初期値:'<初期表示文字>'	値	入力実績の新規作成時に<初期表示文字>で指定した値に対応する状態を表示します。 「値:」と同じ場合:『選択状態』 「値:」と違う場合:『未選択状態』 同一の選択対象である複数の選択タグに対して、同じ内容の初期値を記述します。	表示、参照
表示:'<入力文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値に対応する状態を表示します。 「値:」と同じ場合:『選択状態』 「値:」と違う場合:『未選択状態』 指定したセルの値が変更、または画面の再読込を行うと指定するセル番地の値により選択状態を変更します。画面の再読込時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	初期値、参照
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	
選択色:'<色コード>'	値	選択時、タグの背景色を指定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
有効:'=<参照セル番地> 有効:'=[<参照セル番地>] 無効:'=<参照セル番地> 無効:'=[<参照セル番地>]	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、 入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地> 非表示:'=[<参照セル番地>]	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、 項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ> 確認:'=<参照セル番地>	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ> で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード> 権限:'<グループコード 1>,< グループコード 2> 権限:'=<参照セル番地>	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	
参照:'<参照セル番地> 参照:'=<参照セル番地>	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読込を行った場合は指定したセル番地の値を表示します。画面の再読込時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	表示、 初期値
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	

### 記述例

記述項目	機能
[セル番地 A1] *選択 名前:'選択 01' 値:'○' 選択色:'green' [セル番地 A2] *選択 名前:'選択 01' 値:'×' 選択色:'red'	[セル番地 A1] ボタンに「○」が表示され、選択するとボタンの背景色が緑色 (green)になり、「×」のボタンが未選択状態になります。 [セル番地 A2] ボタンに「×」が表示され、選択するとボタンの背景色が赤色 (red)になり、「○」のボタンが未選択状態になります。
[セル番地 B1] *選択 名前:'選択 02' 値:'○' 有効: '=IF(A1=1,TRUE,FALSE)' 大きさ:'15' [セル番地 B2] *選択 名前:'選択 02' 値:'×' 有効: '=IF(A1=1,TRUE,FALSE)' 大きさ:'15'	[セル番地 B1] 関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、 選択できます。表示文字の大きさが 15 ポイントになり、ボタンに 「○」が表示され、「×」のボタンが未選択状態になります。 [セル番地 B2] 関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、 選択できます。表示文字の大きさが 15 ポイントになり、ボタンに 「×」が表示され、「○」のボタンが未選択状態になります。

## 12.10 一覧タグ

### 機能

一覧リストを表示するコンボボックスをチェックシート上に生成します。  
一覧タグを記述したセル位置にコンボボックスを配置します。

### 記述形式

\*一覧 名前:'<項目名>'

[項目:'<項目リスト>'] [初期値:'<初期表示文字>'] [表示:'=<参照セル番地>'] [大きさ:'<フォントサイズ>']  
[テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>']  
[非表示:'=<参照セル番地>'] [確認:'<確認メッセージ>'] [権限:'<グループコード>'] [フラット]  
[参照:'=<参照セル番地>'] [範囲:'=<項目リスト範囲>'] [必須項目]

※ 上記記述形式は箇条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*一覧 名前:'<項目名>' (必須)	値	コンボボックスを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	名前
項目:'<項目リスト>' 項目:'=<項目リスト範囲>' (必須)	値、式	コンボボックスに表示するリストを作成します。 <項目リスト>を使用する場合は、「項目 1/項目 2/項目 3...」 と指定します。 <項目リスト範囲>を使用する場合は、「シート名!A1:A20」と セルの範囲指定で指定します。	範囲
初期値:'<初期表示文字>'	値	入力実績の新規作成時に<初期表示文字>で指定した値 に対応する状態を表示します。 「項目:」で指定したリストにある場合:その値 「項目:」で指定したリストにない場合:『未選択状態』	表示、 参照
表示:'<入力文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	入力実績の新規作成時に<参照セル番地>で指定したセル 番地の値に対応する状態を表示します。 「項目:」で指定したリストにある場合:その値 「項目:」で指定したリストにない場合:『未選択状態』 指定したセルの値が変更、または画面の再読み込みを行うと 指定するセル番地の値により選択状態を変更します。画面の 再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	初期値、 参照
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	フラット
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル 番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定しま す。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=<参照セル番地>' 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=<参照セル番地>'	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、入 力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返しま す。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定 が可能です。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
非表示:'=<参照セル番地> 非表示:'=[<参照セル番地>']	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ> 確認:'=<参照セル番地>	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード> 権限:'<グループコード 1>,<グループコード 2> 権限:'=<参照セル番地>	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	
フラット	プロパティ	本項目を記述した場合、タグの表示形式を簡素なものに変更します。 このプロパティを使用した場合、「大きさ:」は使用できません。	大きさ
参照:'<参照セル番地> 参照:'=<参照セル番地>	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読み込みを行った場合は指定したセル番地の値を表示します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	表示、 初期値
範囲:'=<項目リスト範囲> 範囲:'<項目リスト>	値、式	XC-Gate.STD との互換性項目です。 コンボボックスに表示するリストを作成します。 <項目リスト範囲>を使用する場合は、「シート名!A1:A20」とセルの範囲指定で指定します。	項目
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	

### 記述例

記述項目	機能
*一覧 名前:'一覧 01' テキスト表示色:'red' 項目:'利用者 1/ 利用者 2/利用者 3'	表示文字が赤く(red)表示され、選択すると「利用者 1、利用者 2、利用者 3」と記述されたリストが表示されどれかひとつを選択できます。
*一覧 名前:'一覧 02' 項目:'=F12:F14'	選択するとセル F12~F14 の内容をリストに表示します。
*一覧 名前:'一覧 03' 項目:'=F12:F14' フラット	選択するとセル F12~F14 の内容がリストに表示され、本タグの表示形式が簡素なものになります。
*一覧 名前:'一覧 04' 項目:'=F12:F14' 有効:'=IF(A1=1,TRUE,FALSE)' テキスト表示色:'blue'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、選択できます。選択するとセル F12~F14 の内容がリストに表示され、文字を青で(blue)表示します。

## 12.11 日付タグ

### 機能

日付を表示するボタンをチェックシート上に生成します。  
 日付タグを記述したセル位置に日付ボタンを配置します。  
 日付ボタンを選択すると、カレンダー画面が表示され日付を選択できます。  
 「セルの書式設定」－「表示形式」日付」で指定した形式の時刻を表示します。  
 記録される値がシリアル値のため、形式を指定しない場合は、シリアル値を表示します。

### 記述形式

\*日付 名前:'<項目名>  
 [初期値:'<シリアル値>'] [表示:'=<参照セル番地>'] [大きさ:'<フォントサイズ>']  
 [テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>']  
 [非表示:'=<参照セル番地>'] [確認:'<確認メッセージ>'] [権限:'<グループコード>'] [今]  
 [参照:'=<参照セル番地>'] [必須項目]

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
 記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*日付 名前:'<項目名>' (必須)	値	日付ボタンを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
初期値:'<シリアル値>'	値	入力実績の新規作成時に<シリアル値>で指定した文字を表示します。ボタンに表示するテキストは初期値を優先します。	表示、参照、今
表示:'<シリアル値>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値が変更、または画面の再読み込みを行うと指定するセル番地の値を表示します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	初期値、参照、今
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=[<参照セル番地>'] 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=[<参照セル番地>']	値、式、プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>']	式、プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
確認:'<確認メッセージ> 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード> 権限:'<グループコード 1>,< グループコード 2> 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	
今	プロパティ	入力実績の新規作成時に本日の日付を自動取得します。	表示、初期値、参照
参照:'<参照セル番地> 参照:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読み込みを行った場合は指定したセル番地の値を表示します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	表示、初期値、今
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	

### 記述例

記述項目	機能
*日付 名前:'日付 01'	カレンダーより日付を選択します。
*日付 名前:'日付 02' 大きさ:'30'	カレンダーより日付を選択し、フォントサイズ 30 ポイントで結果を表示します。
*日付 名前:'日付 03' 今	現在日付を初期表示します。 本タグを選択するとカレンダーが表示され日付を変更できます。
*日付 名前:'日付 04' 有効:'=IF(A1=1,TRUE,FALSE)' 表示:'=B1'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、選択できます。タグには B1 の値が表示されます。

## 12.12 時刻タグ

### 機能

時刻入力を行うボタン領域をチェックシート上に生成します。  
 時刻タグを記述したセル位置に時刻ボタンを配置します。  
 「セルの書式設定」－「表示形式『時刻』」で指定した形式の時刻を表示します。  
 記録される値がシリアル値のため、形式を指定しない場合は、シリアル値を表示します。  
 PC以外の端末の場合、時刻部分の直接入力/編集は不可となります。

### 記述形式

\*時刻 名前:'<項目名>'  
 [形式:'<表示形式>'] [分:'<加減値>'] [秒:'<加減値>'] [規定値:'<シリアル値>'] [初期値:'<シリアル値>']  
 [表示:'<シリアル値>'] [表示:'=<参照セル番地>'] [大きさ:'<フォントサイズ>'] [テキスト表示色:'<色コード>']  
 [背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>'] [非表示:'=<参照セル番地>']  
 [確認:'<確認メッセージ>'] [権限:'<グループコード>'] [今] [押したとき今] [参照:'=<参照セル番地>']  
 [リスト選択] [必須項目]

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
 記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*時刻 名前:'<項目名>' (必須)	値	時刻ボタンを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
形式:'<表示形式>'	値	表示、入力形式を変更します。 『HH:mm』で「時:分」、『mm:ss』で「分:秒」のみを入力できます。	
分:'<加減値>'	値	分の入力時に、分の値を加減する値を設定します。	
秒:'<加減値>'	値	秒の入力時に、秒の値を加減する値を設定します。	
規定値:'<シリアル値>' 規定値:'=<参照セル番地>'	値、式	入力時、規定値ボタンを選択すると<シリアル値>に設定した時刻を表示します。 時刻はシリアル値で指定します。	
初期値:'<シリアル値>'	値	<シリアル値>で指定した時刻を入力実績の新規作成時に表示します。 時刻はシリアル値で指定します。	表示、参照、今
表示:'<シリアル値>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値が変更、または画面の再読み込みを行うと指定するセル番地の値を表示します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境無効化:計算優先」を別のセルに記述します。 時刻はシリアル値で指定します。	初期値、参照、今
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=[<参照セル番地>]' 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=[<参照セル番地>]'	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>]'	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ>' 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード>' 権限:'<グループコード 1>,<グループコード 2>' 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	
今	プロパティ	入力実績の新規作成時に現在時刻を自動取得します。	表示、 初期値、参照
押したとき今	プロパティ	本項目を記述した場合、押したタイミングでの時刻を自動取得します。	押したとき今
参照:'<参照セル番地>' 参照:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読み込みを行った場合は指定したセル番地の値を表示します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。 時刻はシリアル値で指定します。	表示、 初期値、今
リスト選択	プロパティ	本項目を記述した場合、「時」「分」「秒」の数字部分をクリックすると一覧リストが表示され、選択方式で入力できます。	
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	

記述例

記述項目	機能
*時刻 名前:'時刻 01' 形式:'HH:mm'	本タグを選択すると「時:分」の時刻を入力できます。
*時刻 名前:'時刻 02' 規定値:'=F20'	本タグを選択すると時刻入力の他に「規定値」ボタンが追加されています。選択するとセル F20 の値を表示します。
*時刻 名前:'時刻 03' 押したとき今	本タグを選択すると現在時刻を表示します。
*時刻 名前:'時刻 04' 有効:'=IF(A1=1,TRUE,FALSE)' 大きさ:'15'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、選択できます。表示される文字の大きさは 15 ポイントになります。

## 12.13 時間タグ

### 機能

現在時刻取得を行うボタンをチェックシート上に生成します。  
 時間タグを記述したセル位置に時間ボタンを配置します。  
 セルの書式設定「表示形式」で「時刻」で指定した形式の時刻を表示します。  
 記録される値がシリアル値のため、形式を指定しない場合は、シリアル値を表示します。

### 記述形式

\*時間 名前:'<項目名>'  
 [初期値:'<シリアル値>'] [表示:'<シリアル値>'] [表示:'=<参照セル番地>'] [大きさ:'<フォントサイズ>']  
 [テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>']  
 [無効:'=<参照セル番地>'] [非表示:'=<参照セル番地>'] [確認:'<確認メッセージ>']  
 [権限:'<グループコード>'] [今] [参照:'=<参照セル番地>'] [必須項目]

※ 上記記述形式は箇条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
 記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*時間 名前:'<項目名>' (必須)	値	時間ボタンを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
初期値:'<シリアル値>'	値	<シリアル値>で指定した時刻を入力実績の新規作成時に表示します。 時刻はシリアル値で指定します。	表示、参照、今
表示:'<シリアル値>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値が変更、または画面の再読込を行うと指定するセル番地の値を表示します。画面の再読込時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。 時間はシリアル値で指定します。	初期値、参照、今
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=[<参照セル番地>'] 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=[<参照セル番地>']	値、式、プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかるとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>']	式、プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかるとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ>' 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
権限:'<グループコード>' 権限:'<グループコード 1>,<グループコード 2>' 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	
今	プロパティ	入力実績の新規作成時に現在時刻を自動取得します。	表示、初期値、参照
参照:'<参照セル番地>' 参照:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読み込みを行った場合は指定したセル番地の値を表示します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。 時間はシリアル値で指定します。	表示、初期値、参照
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	

### 記述例

記述項目	機能
*時間 名前:'時間 01'	本タグを選択すると現在時刻を表示します。
*時間 名前:'時間 02' 今	現在時刻を初期表示します。 本タグを選択すると時刻を更新できます。
*時間 名前:'時間 03' 有効:'=IF(A1=1,TRUE, FALSE)' 背景色:'#ffaa99'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、選択できます。 本タグは、背景色を淡いピンク色(#ffaa99)で表示します。

## 12.14 タイマータグ

### 機能

時間測定を行うボタンをチェックシート上に生成します。  
タイマータグを記述したセル位置にタイマー領域とボタンを配置します。

### 記述形式

\*タイマー 名前:'<項目名>'  
[初期値:'<シリアル値>'] [表示:'<シリアル値>'] [大きさ:'<フォントサイズ>'] [テキスト表示色:'<色コード>']  
[背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>'] [非表示:'=<参照セル番地>']  
[確認:'<確認メッセージ>'] [権限:'<グループコード>'] [自動起動] [参照:'=<参照セル番地>']  
[開始:'=<参照セル番地>'] [停止:'=<参照セル番地>'] [時分秒] [必須項目]

※ 上記記述形式は箇条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*タイマー 名前:'<項目名>' (必須)	値	タイマーを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
初期値:'<シリアル値>'	値	<シリアル値>で指定した時刻を入力実績の新規作成時に表示します。 時刻はシリアル値で指定します。	表示、参照
表示:'<シリアル値>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値が変更、または画面の再読み込みを行うと指定するセル番地の値を表示します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。 時刻はシリアル値で指定します。	初期値、参照
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=[<参照セル番地>]' 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=[<参照セル番地>]'	値、式、プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>]'	式、プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ>' 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
権限:'<グループコード> 権限:'<グループコード 1>,< グループコード 2> 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	
自動起動	プロパティ	本項目が記述されたシートを開いたときにタイマーを自動起動します。	
参照:'<参照セル番地> 参照:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読み込みを行った場合は指定したセル番地の値を表示します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。 時刻はシリアル値で指定します。	表示、 初期値
開始:'=<参照セル番地>'	値、式	タイマーが停止状態で、下記の条件を満たした場合に開始状態になります。 1. 文字列型の場合は空文字列以外の場合に起動(例:[a,0,1,zzz]等) 2. 数値型の場合は 0 以外の場合に起動(例:[-1,1,988]等) 3. 論理型の場合は true の場合のみ起動 4. 未入力セルの場合は起動しない ※ 開始プロパティ、停止プロパティは同時に使用可能ですが、どちらも作動する条件となる場合の動作は保証しません。 ※ 通常時のボタンと併用したときは、ボタンでの起動、停止の処理のほうが優先されます。	
停止:'=<参照セル番地>'	値、式	タイマーが開始状態で、下記の条件を満たした場合に停止状態になります。 1. 文字列型の場合は空文字列以外の場合に停止(例:[a,0,1,zzz]等) 2. 数値型の場合は 0 以外の場合に停止(例:[-1,1,988]等) 3. 論理型の場合は true の場合のみ停止 4. 未入力セルの場合は停止しない ※ 開始プロパティ、停止プロパティは同時に使用可能ですが、どちらも作動する条件となる場合の動作は保証しません。 ※ 通常時のボタンと併用したときは、ボタンでの起動、停止の処理のほうが優先されます。	
時分秒	プロパティ	タイマーの表示形式を「時:分:秒」の形式で表示します。	
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	

### 記述例

記述項目	機能
*タイマー 名前:'タイマー-01' 大きさ:'20'	フォントサイズ 20 ポイントのタイマーを表示します。
*タイマー 名前:'タイマー-02' 無効:'=F14'	セル F14 に値がない場合、タイマーの操作が無効になります。
*タイマー 名前:'タイマー-03' 自動起動	本タグが記述されたチェックシートのシートを開くと、自動的にタイマーが起動します。
*タイマー 名前:'タイマー-04' 開始:'=K2'	セル K2 の値が開始条件を満たした場合、タイマーを起動します。
*タイマー 名前:'タイマー-05' 停止:'=P2=P3' 自動起動	シート表示時にタイマーを自動起動します。 セル P2 と P3 が同じ値になった場合、タイマーを停止します。
*タイマー 名前:'タイマー-06' 有効:'=IF (A1=1,TRUE,FALSE)' 時分秒	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、タイマーを操作できます。タイマーの表示形式は「時:分:秒」の形式で表示します。

## 12.15 転記タグ

### 機能

指定セル番地に値を計算、代入するボタンをチェックシート上に生成します。  
 転記タグを記述したセル位置に転記ボタンを配置します。  
 値を転記する先のセルに、タグが記述されている必要があります。

※ 転記タグは項目名を実績登録しますが、実績値は登録されません。

### 記述形式

\*転記 名前:'<項目名>'

[表示:'<表示文字>'] [処理:'<転記先セル番地=転記内容>'] [クリア] [一括入力:'<転記内容>']

[項目:'<転記先セル番地>'] [監視:'<参照セル番地>'] [初期化時転記無] [大きさ:'<フォントサイズ>']

[テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>']

[非表示:'=<参照セル番地>'] [確認:'<確認メッセージ>'] [権限:'<グループコード>'] [順次実行]

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

「いずれか必須」と記載されている項目は、必ずいずれかひとつを記述してください。  
 処理プロパティ以外の同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
 記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*転記 名前:'<項目名>' (推奨)	値	転記ボタンを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。 ※ 転記タグは、「名前:'<項目名>」を記述しない場合、帳票の上書き登録時に帳票内のタグ数が変動してエラーとなることがあるため、本項目の記述を推奨します。	
表示:'<表示文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<表示文字>で指定された文字列を転記ボタン上に表示します。	
処理:'<転記先セル番地= 転記内容>' (いずれか必須) (複数可)	値	転記先セル番地に転記内容を転記します。 転記内容の文字列は「」で囲みます。 Excel の関数を転記することもできます。転記内容に使用できる関数については 10 章参照。 ※ 関数、またはタグ、タグのプロパティとして使用していないセルには転記できません。	クリア、 一括入力 項目
クリア (いずれか必須)	プロパティ	「項目」で指定した転記先セル番地を未入力の状態にします。 設定すると、初期値プロパティがあるタグ、日時のタグ、数値タグも空白になります。 • 必要な記述項目： 項目	処理、 一括入力
一括入力:'<転記内容>' 一括入力:'=<参照セル番地>' (いずれか必須)	値、式	「項目」で指定した転記先セル番地に指定した値を一括入力します。 • 必要な記述項目： 項目	処理、 クリア
項目:'<転記先セル番地>' (複数可)	値	「クリア」または「一括入力」を実行する転記先セル番地を設定します。 カンマ区切りで複数のセル番地を設定できます。 • 必要な記述項目： クリアまたは一括入力	処理

項目名	タイプ	機能	併用不可
順次実行	プロパティ	「処理」プロパティを複数記述した際にセル内に記述した「処理」プロパティを左から順番に実行します。 ※ 「順次実行」プロパティを記載すると、先に実行される「処理」プロパティの処理結果としてタグ・セルに設定された値を、次の「処理」プロパティの処理の初期値として適用します。 ※ 記載しない場合は実行を行う最初のタイミングでタグ・セルに設定されている値を初期値として、各「処理」プロパティに記載された処理を実行します。	
監視:'<参照セル番地>'	値、式	本項目を記述すると以下の条件で「処理:」で指定した内容を実行します。 1. <参照セル番地>で指定した値が変化した。 2. 本ボタンを選択した。 3. チェックシートを開いた。 4. シートを移動した。	
初期化時転記無	プロパティ	本項目を記述すると、「監視:」の1. と2. の動作時のみ「処理:」を実行します。 必要な記述項目:監視	
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。 入力エリアの縦幅が文字の縦幅より小さい場合、指定したフォントサイズに合わせて行高さが広がります。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=[<参照セル番地>]' 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=[<参照セル番地>]'	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>]'	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ>' 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード>' 権限:'<グループコード 1>,<グループコード 2>' 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	

## 記述例

記述項目	機能
*転記 名前:'転記 01' 表示:'転記開始' 処理:'Sheet1!A1=Sheet2!A2'	本タグを選択すると、Sheet2 のセル A2 の値を Sheet1 のセル A1 へ転記します。
*転記 名前:'転記 02' 表示:'転記開始' 処理:'{Sheet1!B1}=A1'  [セル A1] A です [セル Sheet1!B1] C1	本タグを選択すると、セル A1 の値が“A です”と記述されている場合、Sheet1 のセル B1 の値が“C1”だと、セル C1 に“A です”を転記します。 ※ {}の中で記載したセル番地の値が「空欄」または「セル番地以外」の場合、転記できません。
*転記 名前:'転記 03' 表示:'転記開始' 処理:"Sheet1!A1=IF(E1='A','A です','B です)'"	本タグを選択すると、セル A1 の値を Sheet1 のセル A1 へ IF 文の判定結果を転記します。
*転記 名前:'転記 04' 表示:'転記開始' 処理:'B1=A1' 監視:'A1'	セル A1 の値が変更されたら、セル B1 へ A1 の値を転記します。
*転記 名前:'転記 05' 表示:'転記開始' 処理:'B1=A1' 監視:'A1>=5'	セル A1 の値が 5 より大きいときに、セル B1 へ A1 の値を転記します。
*転記 名前:'転記 06' 表示:'転記開始' 処理:'B1=A1' 監視:'{C1}>=5'	セル C1 に「A1」(セル番地形式文字列)がある場合、セル A1 の値が 5 より大きいときに、セル B1 へ A1 の値を転記します。
*転記 名前:'転記 07' 表示:'転記開始' 処理:'B1=A1' 監視:'=IF(and(A1>0,mod(A1,5)=0),1,0)'	セル A1 の値が 5 で割り切れる整数のときに、セル B1 へ A1 の値を転記します。
*転記 名前:'転記 08' 表示:'転記開始' 処理:'Sheet1!E1=Sheet2!A1' 有効:'=IF(A1=1,TRUE,FALSE)' 確認:'転記します。よろしいですか?'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、選択できます。本タグを選択すると、Sheet2 のセル A1 の値を Sheet1 のセル E1 へ転記します。変更前に「転記します。よろしいですか?」の確認メッセージを表示します。
*転記 名前:'転記クリア 09' 表示:'クリア' クリア 項目:'B2,D2,D6,F8'	本タグを選択すると、セル B2、D2、D6、F8 の内容を空白にします。
*転記 名前:'転記一括 10' 表示:'一括入力 10' 一括入力:'AAA' 項目:'B2,D2,D6,F8'	本タグを選択すると、セル B2、D2、D6、F8 に「AAA」を転記します。
*転記 名前:'転記一括 11' 表示:'一括入力 11' 一括入力:'=A1' 項目:'B2,D2,D6,F8'  [セル A1] A です	本タグを選択すると、セル B2、D2、D6、F8 にセル A の値「A です」を転記します。

## 12.16 写真タグ

### 機能

写真を表示する領域をチェックシート上に生成します。  
 撮影写真や、タブレット端末で保管している画像を読み込み、手書きでコメントを付けることができます。  
 写真タグを記述したセル位置に写真表示領域と操作ボタンを配置します。

※ Excel 1ブックあたりの写真タグ/画像タグ/サインタグの記述数が15枚程度を目安にタグを設定してください。  
 数が多い場合、画面利用時の動作が遅くなる場合があります。

### 記述形式

\*写真 名前:'<項目名>  
 [表示:'=<参照セル番地>'] [背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>']  
 [非表示:'=<参照セル番地>'] [確認:'<確認メッセージ>'] [権限:'<グループコード>'] [win] [auto] [edge]  
 [初期画像:'=<参照セル番地>'] [選択無効] [削除無効] [リサイズ:'<ピクセル数>']  
 [参照:'=<参照セル番地>'] [必須項目]

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

※ Android端末利用の場合には「Win/Auto/Edge」プロパティはご使用しないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
 記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*写真 名前:'<項目名>' (必須)	値	写真表示領域を生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	名前
表示:'<入力文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の写真タグの画像を表示します。 指定したセルの画像を変更すると指定するセル番地の写真タグの画像を表示します。再読み込みがないため、環境タグの「*環境 無効化:計算優先」は意味を持ちません。	参照、 初期画像
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=<参照セル番地>' 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=<参照セル番地>'	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=<参照セル番地>'	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ>' 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード>' 権限:'<グループコード 1>,<グループコード 2>' 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
win	プロパティ	本項目を記述すると、Windows タブレットのカメラ撮影に対応します。 ※ 主要ブラウザの最新バージョンでは使用できません。 本機能で使用している Adobe Flash は 2020 年 12 月末でサポートが終了します。	auto、edge
auto	プロパティ	本項目を記述すると、Windows タブレット・iPadOS タブレット両方のカメラ撮影に対応します。	win
edge	プロパティ	本項目を auto と同時に記述すると、Edge(Web ブラウザ)でのカメラ撮影に対応します。 • 必要な記述項目:auto	win
初期画像:'<参照データのパス>' 初期画像:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照データのパス>で指定したパス先のデータを表示します。 <参照セル番地>に表示データのパスがある場合、パス先のデータを表示します。 • 帳票を開いたときのみ動作します。<参照セル番地>の値が変更されても表示画像は変更されません。 • フォルダー一覧へ登録された画像ファイルを参照できます。 ※ 登録チェックシートと同階層のファイルを参照する場合は、「.」ファイル ID」を記述します。「..」はひとつ上の階層、「.フォルダ名」はひとつ下の階層を参照します。	表示、参照
選択無効	プロパティ	写真タグの画面左下にある「ファイルを選択」ボタンを選択不可にします。	選択無効
削除無効	プロパティ	写真タグの写真存在時に画面右上にある「削除」ボタンを選択不可にします。	削除無効
リサイズ:'<ピクセル数>' リサイズ:'=<参照セル番地>'	値、式	写真の解像度をピクセル数で指定できます。 写真の縦幅と横幅どちらか長いほうに指定されたピクセル数に合わせます。 ※ <参照セル番地>でピクセル数を変更した場合は、変更後に撮影、選択した写真画像からリサイズが適用されます。 ※ リサイズの数値を変更したチェックシートを上書き登録しても、以前の設定で登録された実績のサイズは変更されません。新たな数値で写真を登録したい場合は、一度登録した写真を削除してから再度登録してください。	リサイズ
参照:'<参照セル番地>' 参照:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読み込みを行った場合は指定したセル番地の値を表示します。	表示、初期画像
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	

記述例	
記述項目	機能
*写真 名前:'写真 1'	写真撮影、端末内に保存されている写真を登録表示できます。 ※ iPad で写真撮影可能です。
*写真 名前:'写真 2' auto	写真撮影、端末内に保存されている写真を登録表示できます。 ※ iPad、Windows タブレット両方で写真撮影可能です。
*写真 名前:'写真 3' 初期画像:'.0.jpg' 選択無効 削除無効	帳票を開いたときに『0.jpg』の画像を表示します。 選択ボタンと削除ボタンが無効になっており、画像編集のみ可能です。
*写真 名前:'写真 4' リサイズ:'800' win	写真撮影、端末内に保存されている写真を登録表示できます。 撮影した写真の縦幅、横幅どちらか長いほうのピクセル数を 800 にリサイズします。 ※ Windows タブレットで写真撮影可能です。
*写真 名前:'写真 5' 有効: '=IF(A1=1, TRUE,FALSE)' 確認:'変更します。よろしいですか?'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、写真の登録や編集ができます。登録や編集の前に「変更します。よろしいですか?」の確認メッセージを表示します。

## 12.17 QR リーダータグ

### 機能

QRコードを撮影およびアップロードし、QRコードの内容を読み込みます。

- QRコードの利用には、端末に保存されているQRコード画像を選択し読み込む方式<sup>※1</sup>、写真撮影にてQRコードを読み込む方式<sup>※2</sup>、端末カメラを利用、QRコードを自動で読み込む方式(WebRTC)があります。
- QRコードの「モデル2」のみ対応。

※1 XC-Gate.V3対応ブラウザすべてで利用可能です。

※2 iPad端末でSafari利用時の方式です。



「モデル2」QRコード  
株式会社テクノツリー

### 記述形式

\*QRリーダー 名前:'<項目名>'

[解像度:'<1~100>'] [RTC] [選択無効] [実績無効] [必須項目] [文字コード:'<文字コード>']

### 記述項目

同一項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*QRリーダー 名前:'<項目名>' (必須)	値	QRリーダーを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
解像度:'<1~100>'	値 (1~100)	カメラで描画されるリアルタイム動画の解像度を設定します。 1~100 の値をパーセンテージとして受け取り、画質を調整します。それ以外の値が指定されている場合、デフォルトの画質で表示されます。 デフォルトの値は「50」です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な記述項目: RTC</li> </ul> ※ 100 を指定した場合、端末の性能によりパフォーマンスが落ちる場合があります。 ※ 低すぎる値を指定した場合、QRコードを読み込めない場合があります。 ※ ひとつの帳票に2つ以上のQRリーダータグが存在する場合、システムにより最初読み込まれる解像度ですべてのQRリーダータグに対するカメラ設定が行われますので、2つ以上使用する場合ご注意ください。	
RTC (推奨)	プロパティ	カメラが撮影するリアルタイム動画の読み込みを許可します。 このプロパティが指定されていない場合、ファイルアップロードのみ利用可能になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な記述項目: 解像度</li> </ul>	
選択無効	プロパティ	ファイルアップロードを禁止、カメラのみの使用に設定します。	
実績無効	プロパティ	読み込まれた QR コードの値を実績に登録しないよう設定します。	必須項目
文字コード:'auto' 文字コード:'utf8' 文字コード:'sjis'	値	読み込む QR コードの文字コードを指定します。 <auto> 文字コードを自動的に認識、QRコードの内容を読み込みます。 <utf8> 文字コードを『utf8』で作成された QR コードの内容を読み込みます。 <sjis> 文字コードを『sjis』で作成された QR コードの内容を読み込みます。 ※ 文字コードを設定しない場合は、『utf8』で読み込みます。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	実績無効

### 記述例

記述項目	機能
*QRリーダー 名前:'QRリーダー1' 解像度:'50' RTC	リアルタイム動画を描画します。 リアルタイム動画が優先的に50%の画質で描画されます。
*QRリーダー 名前:'QRリーダー2' 選択無効	iOS(iPadOS)端末上でファイルアップロードは使えず、カメラのみ使用になります。RTC 記述がないため、iOS(iPadOS)端末以外ではファイルアップロードのみの使用になります。
*QRリーダー 名前:'QRリーダー3' 選択無効 実績無効	iOS(iPadOS)端末上でファイルアップロードは使えず、カメラのみ使用になります。RTC 記述がないため、iOS(iPadOS)端末以外ではファイルアップロードのみの使用になります。 読み込まれた値は実績には登録しません。
*QRリーダー 名前:'QRリーダー4' 文字コード:'auto'	文字コードを自動的に認識し、QRコードの内容を読み取ります。

## 12.18 画像タグ

### 機能

画像を表示する領域をチェックシート上に生成します。フォルダ内のファイルまたは、任意のURLで指定した画像を表示します。

画像タグを記述したセル位置に画像表示領域を配置します。

表示可能な画像の拡張子は、jpg/bmp/tif/pngです。

※ Excel 1ブックあたりの画像タグ/写真タグ/サインタグの記述数が15枚程度を目安にタグを設定してください。  
数が多い場合、画面利用時の動作が遅くなる場合があります。

### 記述形式

\*画像 名前:'<項目名>'

[ファイル:'<参照データのパス、または参照セル番地>'] [非表示:'=<参照セル番地>']

[参照:'=<参照セル番地>']

※ 上記記述形式は箇条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*画像 名前:'<項目名>' (必須)	値	画像表示領域を生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
ファイル:'<参照データのパス>' ファイル:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照データのパス>で指定したパス先のデータを表示します。 <参照セル番地>に表示データのパスがある場合、パス先のデータを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダー一覧へ登録された画像ファイルを参照できます。</li> </ul> ※ 登録チェックシートと同階層のファイルを参照する場合は、「/ファイルID」を記述します。「../」はひとつ上の階層、「/フォルダ名」はひとつ下の階層を参照します。	参照
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>']	式、プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
参照:'=<参照セル番地>'	値、式	ファイル:'<参照セル番地>'と同じ動作をします。	ファイル

### 記述例

記述項目	機能
*画像 名前:'画像 1' ファイル:'./1.jpg'	チェックシートが登録されている場所と同じ階層にある画像ファイル『1.jpg』を表示します。
*画像 名前:'画像 2' ファイル:'http://【アドレス】/画像ファイル名.jpg'	指定したアドレスにある画像ファイルを表示します。
*画像 名前:'画像 3' 参照:'=I21'	セル I21 の画像タグに表示されている画像を表示します。

## 12.19 動画タグ

### 機能

動画を再生する領域をチェックシート上に生成します。フォルダ内のファイルまたは、任意のURLで指定した動画を再生できます。

動画タグを記述したセル位置に動画ボタンを配置します。

再生可能な拡張子はmp4です。また、対応しているブラウザはiPadのSafariとPCタブレット端末のGoogle Chromeです。

※ ブラウザごとに再生できるコーデックが異なります。そのため、mp4ファイルでもブラウザによっては、再生できない場合があります。

### 記述形式

\*動画 名前:'<項目名>'

[ファイル:'<参照データのパス、または参照セル番地>'] [非表示:'=<参照セル番地>'] [背景色:'<色コード>'] [自動再生] [連続再生]

※ 上記記述形式は箇条書きしています。実セルに記述する場合は改行しないでください。

※ Excel 1シートあたりの動画タグの記述数は10タグ程度を目安に設定してください。  
数が多いと、画面利用時の動作が遅くなるおそれがあります。

### 記述項目

同一項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能
*動画 名前:'<項目名>' (必須)	値	動画表示領域を生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。
ファイル:'<参照データのパス>' ファイル:'=<参照セル番地>' (必須)	値、式	<参照データのパス>で指定したパス先のデータを表示します。 <参照セル番地>に表示データのパスがある場合、パス先のデータを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダ一覧へ登録された動画ファイルを参照できます。</li> </ul> ※ 登録チェックシートと同階層のファイルを参照する場合は、 「./ファイルID」を記述します。「./」はひとつ上の階層、 「./フォルダ名」はひとつ下の階層を参照します。
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>']	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ [ ]の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。
自動再生	プロパティ	本項目が記述されたシートを開いたときに、動画を自動再生します。
連続再生	プロパティ	動画を繰り返し再生します。

### 記述例

記述項目	機能
*動画 名前:'動画 1' ファイル:'./1.mp4'	チェックシートが登録されている場所と同じ階層にある動画ファイル『1.mp4』を表示します。
*動画 名前:'動画 2' ファイル:'http://【アドレス】/動画ファイル名.mp4'	指定したアドレスにある動画ファイルを表示します。

## 12.20 リンクタグ

### 機能

任意のURLで指定されたファイルを別タブで開くボタンをチェックシート上に生成します。  
リンクタグを記述したセル位置にリンクボタンを配置します。本タグではhttp通信、https通信でブラウザからアクセス可能なwebページやファイルの閲覧、またはご利用中のXC-Gateのチェックシートへの移動が可能です。

別チェックシートへの移動の場合、現在開いている実績情報を保存してから画面遷移は行われます。

※ 保存時に「タイトル名入力画面は表示されないため、作業タイトルの変更はできません。

### 記述形式

\*リンク 名前:'<項目名>'

[テキスト:'<表示文字>'] [URL:'<参照データのパス、または=参照セル番地>'] [大きさ:'<フォントサイズ>']  
[テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>']  
[非表示:'=<参照セル番地>'] [確認:'<確認メッセージ>'] [権限:'<グループコード>']  
[帳票番号:'<ファイルID>'] [シート:'<シート名>'] [actioncd:'<タイトル>'] [タスク削除] [ロック] [表示]  
[<遷移先の項目>:'=<遷移元のセル番地>'] [読込権限確認] [自画面]

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合は、改行を行わないでください。

### 記述項目

遷移先の項目以外の同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*リンク 名前:'<項目名>' (推奨)	値	リンクボタンを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。 ※ リンクタグは、「名前:'<項目名>」を記述しない場合、帳票の上書き登録時に帳票内のタグ数が増加してエラーとなることがあるため、本項目の記述を推奨します。	
テキスト:'<表示文字>'	値	<表示文字>で指定した文字列をリンクボタン上に表示します。 選択すると<表示文字>で指定した文字列を入力値としてサーバーへ保存します。	表示
URL:'<参照データのパス>' URL:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照データのパス>で指定したパス先のデータを表示します。 <参照セル番地>に参照データのパスがある場合、パス先のデータを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダ一覧へ登録されたファイルを参照できます。 ※ 登録チェックシートと同階層のファイルを参照する場合は、「/ファイルID」を記述します。「../」はひとつ上の階層、「/フォルダ名」はひとつ下の階層を参照します。</li> <li>URL を指定してインターネット上の Web ページを表示できます。</li> </ul>	シート、 帳票番号、 actioncd、 ロック、 <遷移先の項目>、 読込権限 確認
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=<参照セル番地>' 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=<参照セル番地>'	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、trueを返します。 ※ [ ]の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=<参照セル番地>'	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、trueを返します。 ※ [ ]の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ>' 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード>' 権限:'<グループコード 1>,<グループコード 2>' 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	
帳票番号:'<ファイル ID>' 帳票番号:'=<参照セル番地>'	値、式	<ファイル ID>で指定したチェックシートを開きます。 「帳票番号:」がない場合、または<ファイル ID>の値や式が空欄の場合、現在開いているチェックシートを開きます。 ※ 現在開いているチェックシートのファイル IDを取得する場合、「帳票番号:\$REPORT_CD」にします。 ※ この記述項目は移動先のチェックシートに作業番号タグが必要です。	URL、 自画面
シート:'<シート名>' シート:'=<参照セル番地>'	値、式	「帳票番号:」で指定したチェックシートに「シート:」で指定したシートがある場合、指定したチェックシートのシートに遷移します。	URL
actioncd:'<タイトル>' actioncd:'=<参照セル番地>'	値、式	<タイトル>で指定した作業タイトルを付けて開きます。 ※ この記述項目は移動先のチェックシートに作業番号タグが必要です。 ※ 現在開いているチェックシートの作業タイトルを取得する場合、「actioncd:\$TITLE」にします。 ※ <タイトル>で指定した作業タイトルが既に存在する場合、該当する実績を表示した状態で開きます。	URL
タスク削除	プロパティ	本項目を記述すると、現在開いている実績情報を登録せずに画面遷移を行います。 ※ 「URL」を併用する場合、「自画面」も併せて使用する場合のみ機能が有効となります。	
ロック	プロパティ	画面遷移前にチェックシートの入力実績を保存し入力、書き換えをできないように「ロック」します。 ※ 「ロック」の解除は、管理者画面で実績の操作より「ロックする」ボタンをクリックすることで「ロック解除」となります。 ※ 「URL」を併用する場合、「自画面」も併せて使用する場合のみ機能が有効となります。	タスク削除
<遷移先の項目>:'=<遷移元のセル番地>' <遷移先の項目>:'<値>' (複数可)	値、式	任意の遷移先タグに値を入力できます。 '遷移先のシート名!項目名=遷移元のセル番地または値'	URL
表示:'<表示文字>'	値	「テキスト:」と同じ機能ですが、チェックシートで本タグを選択しなくても、<表示文字>の値をサーバーへ保存します。	テキスト
読込権限確認	プロパティ	チェックシート画面のリンクタグで帳票遷移時にセキュリティ設定を有効化します。 • 必要な記述項目:帳票番号	URL

項目名	タイプ	機能	併用不可
自画面	プロパティ	入力実績がサーバーに登録されると、現在使用しているタブが指定された URL に遷移します。 ※ 「自画面」プロパティと「URL」プロパティを併用し、画面遷移後にブラウザバックを行うと、利用者ログイン画面になります。	帳票番号

記述例

記述項目	機能
*リンク 名前:'リンク 1' テキスト:'ファイルを表示' URL: '/1.pdf'	チェックシートが登録されている場所と同じ階層にある PDF ファイル『1.pdf』をブラウザの別タブにします。
*リンク 名前:'リンク 2' テキスト:'ファイルを表示' URL:'http://【アドレス】/ファイル名.pdf'	指定したリンクアドレスのファイルをブラウザの別タブにします。
*リンク 名前:'リンク 3' テキスト:'ファイルを表示' URL:'=E3'	セル E3 で指定したリンクアドレスのファイルをブラウザの別タブにします。
*リンク 名前:'リンク 4' テキスト:'今の実績を破 棄して別の実績を表示' 帳票番号:'=E4' actioncd:'=F4' タスク削除	開いているチェックシートの実績を保存せずに削除 <sup>※</sup> し、指定したチェックシートの実績を表示します。 ※ 一時保存実績にも残りません。
*リンク 名前:'リンク 5' テキスト:'今の実績を保 存して別の実績を表示' 帳票番号:'=E4' actioncd:'=F4' ロック	開いているチェックシートの実績をサーバーに送信後 <sup>※</sup> ロックし、指定したチェックシートの実績を表示します。 ※ 一時保存実績からは削除されます。
*リンク 名前:'リンク 6' テキスト:'実績を渡す' 帳票番号:'=E4' actioncd:'=F4' タスク削除 Sheet1!入力 01:'=Sheet1!B5'	開いているチェックシート Sheet1!B5 セルに入力されている値を、指定したチェックシートの実績の Sheet1 シート内にある名前が入力 01 のタグに代入します。 開いていたチェックシートは保存せずに削除 <sup>※</sup> されます。 ※ 一時保存実績にも残りません。
*リンク 名前:'リンク 7' テキスト:'次のシートへ' 有効:'=IF(A1=1,TRUE,FALSE)' 帳票番号:'=C1' シート:'Sheet1'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、選択できます。選択すると画面遷移し、指定したチェックシートのシート「Sheet1」を表示します。
*リンク 名前:'リンク 8' 表示:'次のシートへ' 帳票番号:'=E4' シート:'Sheet1' 読込権限確認	リンクタグ選択時、現在ログインしているユーザーが、遷移先帳票に対して読み込みの権限がある場合は、遷移できます。読み込みの権限がない場合は、遷移できません。
*リンク 名前:'リンク 9' 表示:'XX システムに戻る' URL:'=E5' 自画面 タスク削除	開いているチェックシートの実績を保存せずに削除 <sup>※</sup> した後、現在使用しているタブが指定された URL に遷移します。 ※ 一時保存実績にも残りません。

## 12.21 環境タグ

### 機能

本タグを任意のシート1箇所に記入すると、利用者向け画面上部に表示されるヘッダーの表示状態を変更できます。

チェックシート上のすべてのシートに対して有効となります。

※ 環境タグは1ブック内に同じ機能の記述を複数記述した場合、予期せぬ動作を起こす可能性があるため、同じ機能を複数記述しないでください。ただし、「無効化:固定幅」につきましては除外となります。

### 記述形式

\*環境 名前:'<項目名>'

[無効化:'<機能名>'] [有効化:'<機能名>'] [作業タイトル:'<作業タイトル名>'] [優先] [強調色]

※ 上記記述形式は箇条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*環境 名前:'<項目名>' (推奨)	値	環境設定機能を生成します。 ※ 環境タグは、「名前:'<項目名>'」を記述しない場合、帳票の上書き登録時に帳票内のタグ数が増加してエラーとなること があるため、本項目の記述を推奨します。	
無効化:'<機能名>' (いずれか必須)	値	<機能名>で指定した機能を無効化します。	有効化、 作業タイトル、 優先、強調色
有効化:'<機能名>' (いずれか必須)	値	<機能名>で指定した機能を有効化します。 ※ PDF 出力については別冊「XC-Gate.V3 PDF 出力機能」を 参照してください。	無効化
作業タイトル:'<作業タイトル名>' 作業タイトル:'=<参照セル番地>'	値、 参照先	タイトル設定で有効化した作業タイトル名を設定します。 • 必要な記述項目:有効化	無効化、 強調色
優先	プロパティ	設定した「作業タイトル:'<作業タイトル名>'」を最優先します。 • 必要な記述項目:有効化	無効化、 強調色
強調色:'<強調文字色>' 強調色:'=<参照セル番地>'	値、 参照先	タグ強調表示で有効化した強調色を設定します。 • 必要な記述項目:有効化	無効化、 作業タイトル、 優先

### 記述例

記述項目	機能
*環境 名前:'環境 1' 無効化:'ヘッダー'	チェックシートの画面ヘッダーが非表示になります。
*環境 名前:'環境 2' 無効化:'保存'	チェックシートの画面ヘッダーにある登録ボタンが非表示になります。
*環境 名前:'環境 3' 無効化:'移動'	チェックシートの画面ヘッダーにある移動ボタンが非表示になります。
*環境 名前:'環境 4' 無効化:'メニュー'	チェックシートの画面ヘッダーにあるメニューボタンが非表示になります。
*環境 名前:'環境 5' 無効化:'ログアウト'	チェックシートの画面ヘッダーにあるログアウトボタンが非表示になります。
*環境 名前:'環境 6' 無効化:'戻る'	チェックシートの画面ヘッダーにある戻るボタンが非表示になります。
*環境 名前:'環境 7' 無効化: '新規作成'	チェックシートの画面ヘッダーにあるメニューから新規作成ボタンが非表示になります。

記述項目	機能
*環境 名前:'環境 8' 無効化: '入力一覧'	チェックシートの画面ヘッダーにあるメニューから入力一覧ボタンが非表示になります。
*環境 名前:'環境 9' 無効化:'写真'	チェックシートの画面ヘッダーにあるメニューから写真ボタンが非表示になります。
*環境 名前:'環境 10' 無効化: '手書き'	チェックシートの画面ヘッダーにあるメニューから手書きボタンが非表示になります。
*環境 名前:'環境 11' 無効化' 計算優先'	各種タグの「表示:」=<参照セル番地>」「参照:」=<参照セル番地>」プロパティを使用すると帳票を開いたとき、またはシート移動した際に、<参照セル番地>で指定した参照先の値が表示されますが、本項目を記述することで無効化します。 すでに入力されていた値を表示し、参照先の値を表示しなくなります。 ※ 画像・写真・サインタグは「参照:」=<参照セル番地>」プロパティで計算優先が無効化できません。
*環境 名前:'環境 12' 無効化:'固定幅'	画面の横幅を画面サイズにあわせて縮小表示します。 ※ iPad 端末のみ適応されます。 ※ 画面の縦幅が短い帳票の場合、適応されない場合があります。 ※ シートごとに記述が必要です。
*環境 名前:'環境 13' 無効化: '作業タイトル'	チェックシートの画面ヘッダーにあるメニューから登録ボタンで登録する場合に作業タイトルの変更が無効になります。
*環境 名前:'環境 14' 有効化: 'タグ最前面'	すべてのタグをオートシェイプより前面に表示します。 ※ シェーブタグを記述したオートシェイプは、前面表示の対象となりません。
*環境 名前:'環境 15' 有効化: 'タイトル設定' 作業タイトル:'AAAAA'	チェックシートの作業タイトル未入力で作業開始できます。 このとき、作業タイトルは AAAAA になります。 ※ 作業番号タグと組み合わせで記述することにより同一帳票、同一作業タイトルの実績更新ができます。作業番号タグを記述せず作業タイトルが重複する実績を登録すると、実績送信エラーが発生しサーバーに登録できません。
*環境 名前:'環境 16' 有効化: 'タイトル設定' 作業タイトル:'=B6' 優先	チェックシートの作業タイトル未入力で作業開始できます。 このとき、<=B6>で参照した値が作業タイトルとして最優先されます。
*環境 名前:'環境 17' 有効化: 'XLSX 出力'	チェックシートの画面ヘッダーにあるメニューからエクセルの出力機能を追加します。 メニューのボタン押下時に、作業タイトルの入力を行い、実績登録後にエクセル出力の処理が実行されます。 エクセルの出力後の挙動は端末の設定によりファイルのダウンロードや、ブラウザ上での表示となります。 また、同一帳票、同一の作業タイトルで実績を同時刻に保存された場合、出力は実績登録と順次実行されます。 実行されるタイミングによりますが、同時の登録の場合は EXCEL 出力が待機状態になります。
*環境 名前:'環境 18' 有効化: 'タグ強調表示' 強調色:'#777'	チェックシート内の「入力タグ」「数値タグ」が、強調表示になり、文字色が<#777>になります。

## 12.22 承認タグ

### 機能

権限を持った利用者のみが状態変更できるボタンをチェックシート上に生成します。状態は「空白」⇒「OK」⇒「NG」が選択できます。本タグを入力すると「承認状態 利用者名 年月日 時分」の情報を表示します。

生成された承認ボタンはExcelファイルのセルに記述した箇所と同じ場所へ配置します。

### 記述形式

\*承認 名前:'<項目名>'

[権限:'<グループコード>'] [初期値:'<初期表示文字>'] [表示:'=<参照セル番地>']

[大きさ:'<フォントサイズ>'] [選択色:'<色コード>'] [テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>']

[有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>'] [非表示:'=<参照セル番地>']

[確認:'<確認メッセージ>'] [参照:'=<参照セル番地>'] [必須項目]

※ 上記記述形式は箇条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*承認 名前:'<項目名>' (必須)	値	承認ボタンを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
権限:'<グループコード>' 権限:'<グループコード 1>,<グループコード 2>' 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	
初期値:'<初期表示文字>'	値	指定の以下の数値を<初期表示文字>に指定すると、ボタンの選択状態を設定できます。 1. 「1」を指定すると、承認状態:「OK」を指定します。 2. 「2」を指定すると、承認状態:「NG」を指定します。 3. それ以外は承認状態:「未選択」を指定します。	表示、参照
表示:'<入力文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値により、ボタンの選択状態を設定できます。指定方法は、初期値の記述と同様です。 指定したセルの値が変更、または画面の再読み込みを行うと、指定セル番地の値により選択状態を変更します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	初期値、参照
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	
選択色:'<色コード>'	値	選択時、タグの背景色を指定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=[<参照セル番地>]' 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=[<参照セル番地>]'	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>]'	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ>' 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
参照:'<参照セル番地>' 参照:'=[<参照セル番地>]'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読みを行った場合は指定したセル番地の値を表示します。画面の再読み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	表示、 初期値
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	

記述例

記述項目	機能
*承認 名前:'承認 1'	選択するたびに次の状態を切り替え表示します。 「OK…承認」+「利用者名 年月日 時分」 「NG…未承認」+「利用者名 年月日 時分」 「空白…未入力」 ※ “利用者名”とは、利用者画面で現在ログインしている利用者名を指します。
*承認 名前:'承認 2' 有効:'=IF(A1=1,TRUE,FALSE)' 大きさ:'10'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、選択できます。選択すると、表示される文字の大きさが 10 ポイントになります。

## 12.23 承認印タグ

### 機能

前述の「承認タグ」とは異なり、決められた相手の承認印をする印鑑欄を作成するタグです。利用者がチェックシートを呼び出すと、登録している利用者の印影を押印欄に表示します。

### 記述形式

\*承認印 名前:'<項目名>'

[利用者コード] [表示:'=<参照セル番地>']

※ 利用者コードは、入力タグでログイン利用者のIDを「初期値」プロパティで取得します。

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*承認印 名前:'<項目名>' (必須)	値	承認印ボタンを生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	
利用者コード (必須)	プロパティ	別の入力タグで取得している利用者コードを、サーバーから検索し印影を取得します。 ※ 利用者コードを部分一致検索で検索します。検索結果が複数ある場合は、表示されません。	
表示:'=<参照セル番号>' (必須)	式	<参照セル番号>で指定したセル番地の利用者コードに登録されている承認印を表示	

### 記述例

記述項目	機能
【利用者コード設定】 [セル B2] *入力 名前:'利用者コード 1' 初期値:'\$CURRENT_LOGIN_USER_CD'	『セル B2』にチェックシートを呼び出した利用者の利用者コードを取得します。 『セル B3』に取得した利用者コードの利用者印影を表示します。
【承認印】 [セル B3]*承認印 名前:'承認者 1' 利用者コード 表示: '=B2'	

チェックシートのタグの記述例

	A	B	C	D	E	F
1						
2		*入力 名前:'利用者コード 1' 初期値:'\$CURRENT_LOGIN_USER_CD'				
3		*承認印 名前:'承認者 1' 利用者コード 表示: '=B2'				
4						

チェックシート呼出画面



## 12.24 データタグ、データ表示タグ、データ検索タグ

### 機能

本タグを組み合わせるとExcelファイルのセルに記述すると、XC-Gate.V3システムに登録されている入力実績、マスタデータを取得、表示できます。

取得した内容はExcelファイルのデータ表示タグで記述した位置に表示します。

データタグで条件に合った実績行の集合結果を取得し、データ表示タグで指定した行のタグ項目の値を表示します。

ボタンをクリックすると取得データの一覧をポップアップ画面で表示<sup>※1</sup>します。

データタグ<sup>※2</sup>、データ表示タグ、データ検索タグは必ず同シートに記述します。

項目名を指定する場合は、「シート名!項目名」または「項目名」の形式で指定します。

(名前データタグの[名前:]、データ表示タグの[名前:]、[データ:]で項目名を指定する場合は、「項目名」の形式で指定します。)

※1日付型は文字列で表示します。(例:[ yyyy/MM/dd HH:mm:ss ])

※2データタグによる1実績あたりの取得項目件数は500件まで、マスタデータは100件までです。超える場合は取得を中止します。取得する場合は指定の件数を超えないように取得項目を指定してください。

### 記述形式

\*データ 名前:'<項目名>'

[表示:'<表示文字>'] [非表示:'=<参照セル番地>'] [帳票番号:'<ファイルID>']

[マスターコード:'<マスターコード>'] [条件:'<条件式>'] [並び:'<項目名>,<並び順>'] [開始位置:'<行番号>']

[終了位置:'<行番号>'] [取得上限:'<取得量>'] [取得項目:'<項目名>'] [通知無効] [現在シート]

[セキュリティ] [日付項目:'<項目名>'] [取得方法:'<方法>'] [取得日数:'<日数>'] [実行:'<式>']

\*データ表示 名前:'<項目名>'

[データ:'<データタグの項目名>'] [項目:'<項目名、または集計関数>'] [条件:'<条件式>']

[行番号:'<行番号>'] [日付書式] [実績無効] [必須項目] [表示日:'<表示日数>'] [表示位置:'<位置>']

\*データ検索 名前:'<項目名>'

[データ:'<データ検索タグの項目名>'] [項目:'<項目名>'] [検索:'<項目名>'] [日付書式] [実績無効]

[必須項目]

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

#### <データ>

項目名	タイプ	機能	併用不可
*データ 名前:'<項目名>' (必須)	値	データボタンを生成します。<項目名>が実績登録時の項目名になります。	
表示:'<表示文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	ボタンに表示する文字を指定します。	日付項目 取得方法 取得日数
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>']	式、プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ [ ]の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	日付項目 取得方法 取得日数

項目名	タイプ	機能	併用不可
帳票番号:'<ファイル ID>' 帳票番号:'=<参照セル番地>' (いずれか必須)	値、式	実績を取得する帳票番号を指定します。 ※ 現在開いているチェックシートのファイル ID を取得する場合、「帳票番号:\$REPORT_CD」にします。	マスターコード
マスターコード:'<マスターコード>' マスターコード:'=<参照セル番地>'(いずれか必須)	値、式	マスターデータを取得するマスターコードを指定します。	帳票番号 セキュリティ 日付項目 取得方法 取得日数
条件:'<条件式>' 条件:'=<参照セル番地>' (複数可)	値、式	実績参照したいチェックシートの条件を<条件式>で指定します。 「条件:」に記述できる条件は複数可能です。 複数記述したい場合は、「条件:」を複数記述します。 複数の「条件:」を指定した場合は、その条件すべてを満たした実績を参照します。 • 使用可能な符号: '='、 '<>'、 '<'、 '>'、 '<='、 '>='、 'like' ※ 未入力の条件指定はできません。 ※ 数値タグ、承認タグは条件指定に数値しか使用できません。	
並び:'<項目名>,<並び順>' 並び:'=<項目参照セル番地>,<並び順参照セル番地>'	値、式	<項目名>*で指定した項目名を<並び順>で指定した順番に参照します。 取得するデータの項目名と並び順をカンマ区切りで指定します。 <並び順>で指定可能な値は「昇順」、「降順」です。 ※ <項目名>を'\$更新日'にすると、更新日順に並び替えます。	日付項目 取得方法 取得日数
開始位置:'<行番号>' 開始位置:'=<参照セル番地>'	値、式	取得するデータの開始行値番号を指定します。(初期値:0) 1 行目から取得する場合は 0 を指定します。	日付項目 取得方法 取得日数
終了位置:'<行番号>' 終了位置:'=<参照セル番地>'	値、式	取得するデータの終了行値番号を指定します。 10 行目まで取得する場合は 9 を指定します。	取得上限 日付項目 取得日数 取得方法
取得上限:'<取得量>' 取得上限:'=<参照セル番地>'	値、式	取得するデータの上限量を指定します。 ※ 実績は初期値:1000 最大:5000、マスタは初期値、最大共に 3000 件です。超えた場合は警告メッセージを表示します。	
取得項目:'<項目名>' 取得項目:'=<参照セル番地>'	値、式	取得する対象の項目名をスラッシュ区切りで指定します。 省略した場合、すべての項目が取得対象となります。 ※ 指定した帳票のタグが 500 タグ以上の場合、取得項目を省略するとエラーとなります。	
通知無効	プロパティ	指定した場合はデータが無い、または取得上限時などに表示されるポップアップメッセージを表示しません。	
現在シート	プロパティ	指定したシートを開いたときのみタグが動作します。	
セキュリティ	プロパティ	ログインしているユーザーに読込権限がない場合は取得できません。	マスターコード
日付項目:'<項目名>'	値	データタグのボタンをカレンダーに切り替えることができます。 <項目名>で指定した日付タグ*の値と、カレンダーで選択する「基準日」を比較します。 選択した「基準日」の日付(シリアル値)をデータタグの実績としてサーバーへ保存します。 • 必要な記述項目:取得方法、取得日数 ※ 日付タグ以外の項目名を指定すると、正しく取得できません。	表示 非表示 マスターコード 並び 開始位置 終了位置

項目名	タイプ	機能	併用不可
取得方法:'以前' 取得方法:'以降'	値	日付項目と「基準日」を比較する方法を指定します。 <以前> 日付項目の値が「基準日」以前の実績を取得します。 <以降> 日付項目の値が「基準日」以降の実績を取得します。 • 必要な記述項目:日付項目、取得日数	表示 非表示 マスター コード 並び 開始位置 終了位置
取得日数:'<日数>'	値	日付項目、取得方法と合わせて、「基準日」から<日数>で指定した分の実績を取得します。 • 必要な記述項目:日付項目、取得方法 ※ 実績の並び順は「実績更新日時以降」で取得されます。 実績数が取得上限数より多い場合、取得が中断され、実績更新日時の古い実績が取得されない可能性があります。	表示 非表示 マスター コード 並び 開始位置 終了位置
実行:'<式>' 実行:'=<参照セル番地>'	式	内容が true の時、データを取得します。	

<データ表示>

項目名	タイプ	機能	併用不可
*データ表示 名前:'<項目名>' (推奨)	値	実績登録時の項目名を指定します。 ※ データ表示タグは、「名前:'<項目名>」を記述しない場合、帳票の上書き登録時に帳票内のタグ数が増加してエラーとなるため、本項目の記述を推奨します。	
データ:'<データタグの項目名>' (必須)	値	対象となるデータタグの名前プロパティを指定します。	
項目:'<項目名>' 項目:'<シート名!項目名>' 項目:'=<参照セル番地>' (必須)	値、式	値を表示する項目名を指定します。 シートを指定する場合はシート名を記述します。 写真タグ、サインタグを指定した場合は、画像のパスを取得できます。取得したパスを写真タグ/画像タグの表示プロパティで指定すると取得画像が表示されます。 集計結果は以下の集計関数が指定できます。 • 使用可能な集計関数: 'sum(項目名)[合計]、'avg(項目名)[平均]、'min(項目名)[最小]、'max(項目名)[最大]、'count(項目名)[個数]、'recordcount(項目名)[最大数]	
条件:'<条件式>' 条件:'=<参照セル番地>' (複数可)	値、式	実績参照したいチェックシートの条件を<条件式>で指定します。 「条件:」に記述できる条件は複数可能です。 複数記述したい場合は、「条件:」を複数記述します。 複数の「条件:」を指定した場合は、その条件すべてを満たした実績を参照します。 • 使用可能な符号: '='、'<>'、'<'、'>'、'<='、'>='、'like'	
行番号:'<行番号>' 行番号:'=<参照セル番地>'	値、式	表示する値の行番号を指定します。(初期値:1) ※ 親のデータタグに日付項目プロパティ、取得日数プロパティ、取得方法プロパティの記述がされていると無効化されます。	表示日
日付書式	プロパティ	指定した場合、項目が日付型であれば、表示を [yyyy/MM/dd HH:mm:ss]形式にします。	
実績無効	プロパティ	指定した場合、実績に保存しません。	必須項目
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	実績無効

項目名	タイプ	機能	併用不可
表示日:'<表示日数> 表示日:'=<参照セル番地>'	値、式	基準日 <sup>※</sup> から何日めの実績を表示するかを指定します。 0:「基準日」の実績を表示します。 +1:「基準日」の1日後の実績を表示します。 -1:「基準日」の1日前の実績を表示します。 <sup>※</sup> 親のデータタグに日付項目プロパティ、取得日数プロパティ、取得方法プロパティの記述が必要です。	行番号
表示位置:'<位置>'	値	タグに表示する値の表示位置を指定します。 記述できる<位置>は以下になります。 左 / 中央 / 右 <sup>※</sup> 表示位置プロパティが未指定の場合は、Excel のセルの書式設定が反映されます。	

## &lt;データ検索&gt;

項目名	タイプ	機能	併用不可
*データ検索 名前:'<項目名>' (推奨)	値	実績登録時の項目名を指定します。 <sup>※</sup> データ検索タグは、「名前:'<項目名>」を記述しない場合、帳票の上書き登録時に帳票内のタグ数が変動してエラーとなることがあるため、本項目の記述を推奨します。	
データ:'<データタグの項目名>' (必須)	値	対象となるデータタグの名前プロパティを指定します。	
項目:'<項目名>' 項目:'=<参照セル番地>' (必須)	値、式	値を表示する項目名を指定します。 対象項目が写真タグ、サインタグの場合、画像のパスを取得します。 このパスを写真タグの表示プロパティ、画像タグの表示プロパティで指定して、取得画像を表示できます。	
検索:'<検索項目名 1> 検索:'<検索項目名 1>/ <検索項目名 2>' 検索:'=<参照セル番地>' (最大3個)	値、式	実績参照したいチェックシートの条件を<検索項目名>で指定します。 「検索:」に記述できる<検索項目名>は最大3個です。 複数記述したい場合は、<検索項目名>をスラッシュ '/' で区切ります。 複数<検索項目名>指定した場合は、その条件すべてを満たした実績を参照します。 検索実行前に比較に使用する符号を選択できます。 • 使用可能な符号: '='、 '<>'、 '<'、 '>'、 '<='、 '>='、 'like'	
日付書式	プロパティ	指定した場合、項目が日付型であれば、表示を [yyyy/MM/dd HH:mm:ss] 形式にします。	
実績無効	プロパティ	指定した場合、実績に保存しません。	必須項目
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	実績無効

## 記述例

## &lt;チェックシート実績参照&gt;

記述項目 1	機能
*データ 名前:'データ 1' 表示:'取得値確認' 帳票番号:'A1001'	チェックシートのファイル ID が『A1001』の実績をサーバーから取得します。取得した実績は、サーバーのデータ取得順で並んでおり、『1000 件』まで取得できます。
*データ表示 名前:'データ表示 1' データ:'データ 1' 項目:'シート1!入力値' 行番号:'1' 条件:'検査値 >=3'	取得したデータタグ『データ 1』の実績に対して『検査値の値が3以上』の条件で絞り込みを行い、『シート1』にある行番号が『1 番目』の項目名『入力値』の値を表示します。 また、この表示結果は実績送信時に記録されます。

記述項目 2	機能
<p>*データ 名前:'データ 2' 表示:'取得値確認' 帳票番号:'=B10' 条件:'=B11' 条件:'=B12' 並び:'=B13'</p> <p>[セル B10] A1001 [セル B11] 入力値&lt;&gt;BBB [セル B12] 日付値&gt;=2018/01/01 [セル B13] 日付値,昇順</p>	<p>チェックシートのファイル ID がセル『B10』の値で、かつセル『B11』、『B12』両方に合致する実績をサーバーから取得します。 実績は『B13』で指定された順番に並び替えられ取得されます。</p>
<p>*データ表示 名前:'データ表示 2' データ:'データ 2' 項目:'=B16' 条件:'=B17' 条件:'=B18' 行番号:'=B19' 実績無効</p> <p>[セル B16] count(入力値) [セル B17] 入力値=AAA [セル B18] 日付値&lt;2019/01/01 [セル B19] 1</p>	<p>取得したデータタグ『データ 2』の実績に対してセル『B17』、『B18』の条件で絞り込みを行い、行番号がセル『B19』の項目名セル『B16』の値を表示します。 また、この表示結果は実績送信時に記録されません。</p>
記述項目 3	機能
<p>*データ 名前:'データ 3' 表示:'取得値確認' 帳票番号:'A1001' 開始位置:'=B21' 取得上限:'=B22' 取得項目:'=B23' 現在シート 通知無効 セキュリティ</p> <p>[セル B21] *数値 名前:'開始位置' 初期値:'0' [セル B22] *数値 名前:'取得上限' 初期値:'100' [セル B23] *入力 名前:'取得項目' 初期値:'入力値/日付値/検査値'</p>	<p>チェックシートのファイル ID が『A1001』データ取得開始行をセル『B21』、実績数の取得上限をセル『B22』、取得項目をセル『B23』に設定し実績を取得します。 データタグは本タグが記載されたシートを開いたときのみ動作します。 実績件数が、取得上限を超えている場合に表示される通知はされません。 また、チェックシートを開いている利用者に『A1001』の実績を参照する権限がない場合は実績を取得できません。 ※ 設定する値をタグにしておくことでチェックシートを開いてから値を変更できます。</p>
<p>*データ表示 名前:'データ表示 3' データ:'データ 3' 項目:'日付値' 日付書式 行番号:'1'</p>	<p>取得したデータタグ『データ 3』の実績の行番号が『1 番目』の項目名『日付値』の値を表示します。 値は[ yyyy/MM/dd HH:mm:ss ]の形式で表示されます。 また、この表示結果は実績送信時に記録されます。</p>
記述項目 4	機能
<p>*データ 名前:'データ 4' 表示:'取得' 帳票番号:'=E3'</p> <p>*データ検索 名前:'データ表示 4' データ:'データ 4' 項目:'検査値' 検索:'検査項目/検査値'</p>	<p>チェックシートのファイル ID がセル『E3』の値で合致する実績をサーバーから取得します。</p> <p>取得したデータタグ『データ 4』の実績を表示します。 実績の絞り込みを行う入力エリア『検査項目』『検査値』が表示され、実績の絞り込みを行うことができます。 また、この表示結果は実績送信時に記録されます。</p>
記述項目 5	機能
<p>*データ 名前:'生産月報' 帳票番号:'A1002' 日付項目:'作業日' 取得方法:'以降' 取得日数:'30'</p>	<p>チェックシートのファイル ID が『A1002』で、かつ『作業日』の値がデータタグで指定した基準日以降 30 日分の実績をサーバーから取得します。</p>
<p>*データ表示 名前:'生産数 1' データ:'生産月報' 項目:'生産数' 表示日:'0'</p>	<p>取得したデータタグ『生産月報』の実績に対して、表示日が『基準日』の項目名『生産数』の値を表示します。 また、この表示結果は実績送信時に記録されます。</p>
<p>*データ表示 名前:'生産数 2' データ:'生産月報' 項目:'生産数' 表示日:'+1'</p>	<p>取得したデータタグ『生産月報』の実績に対して、表示日が『基準日+1 日』の項目名『生産数』の値を表示します。 また、この表示結果は実績送信時に記録されます。</p>

記述項目 6	機能
*データ 名前:'前日実績' 帳票番号:'A1003' 日付項目:'点検日' 取得方法:'以前' 取得日数:'5'	チェックシートのファイル ID が『A1003』で、かつ『点検日の値がデータタグで指定した基準日以前 5 日分』の実績をサーバーから取得します。
*データ表示 名前:'不良数 1' データ:'前日実績' 項目:'不良数' 表示日:'-1'	取得したデータタグ『前日実績』の実績に対して、表示日が『基準日-1 日』の項目名『不良数』の値を表示します。また、この表示結果は実績送信時に記録されます。

記述項目 7	機能
*データ 名前:'随時更新' 帳票番号:'A1004' 取得項目:'担当者' 実行:'=B24=10' 通知無効 [セル B24] *ループ 間隔:'1000' 開始:'0' 終了:'10' 加算:'1'	チェックシートのファイル ID が『A1004』で、ループタグで10カウントする度に担当者名をサーバーから取得し更新します。データ取得時にデータが無い、データが上限を超えている場合に表示されるメッセージを表示しません。
*データ表示 名前:'現在担当者' データ:'随時更新' 項目:'担当者' 行番号:'1'	取得したデータタグ『随時更新』の実績に対して、3 つのデータ表示タグで最新の「担当者」を、データタグの実行プロパティでループタグが10カウントするたびに表示します。

#### <マスタ実績参照>

記述項目 1	機能
*データ 名前:'データ 5' 表示:'取得' マスターコード:'M1002'	マスターコードが『M1002』のマスタデータを取得します。取得した実績は、サーバーの処理順で並んでおり、『1000 件』まで取得できます。
*データ表示 名前:'データ表示 5' データ:'データ 5' 項目:'入力値' 行番号:'1'	取得したデータタグ『データ 5』のマスタデータの行番号が『1 番目』の項目名『入力値』の値を表示します。また、この表示結果は実績送信時に記録されます。

記述項目 2	機能
*データ 名前:'データ 6' 表示:'取得' マスターコード:'M1003'	マスターコードが『M1003』のマスタデータを取得します。取得した実績は、サーバーの処理順で並んでおり、『1000 件』まで取得できます。
*データ検索 名前:'データ検索 6' データ:'データ 6' 項目:'入力値' 検索:'検査項目/検査値'	取得したデータタグ『データ 6』のマスタデータを表示します。実績の絞り込みを行う入力エリア『検査項目』『検査値』が表示され、実績の絞り込みを行うことができます。また、この表示結果は実績送信時に記録されます。

## 12.25 サインタグ

### 機能

本タグをExcelファイルのセルに記述すると、手書きサインの記述可能な領域をチェックシート上に生成します。

生成された入力領域はExcelファイルのセルに記述した箇所と同じ場所へ配置します。

手書き領域に編集ボタン、削除ボタンを表示します。

※ Excel 1ブックあたりのサインタグ/写真タグ/画像タグの記述数が15枚程度を目安にタグを設定してください。  
数が多い場合、画面利用時の動作が遅くなる場合があります。

### 記述形式

\*サイン 名前:'<項目名>'

[表示:'=<参照セル番地>'] [背景色:'<色コード>'] [有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>']

[非表示:'=<参照セル番地>'] [確認:'<確認メッセージ>'] [権限:'<グループコード>']

[参照:'=<参照セル番地>'] [必須項目]

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*サイン 名前:'<項目名>' (必須)	値	手書きサインを記述可能な領域を生成します。 <項目名>が実績登録時の項目名になります。	名前
表示:'<入力文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地のサインタグの画像を表示します。 指定したセルの画像を変更すると指定するセル番地のサインタグの画像を表示します。再読み込みが無いため、環境タグの「*環境 無効化:計算優先」は意味を持ちません。	参照
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
有効:'=<参照セル番地>' 有効:'=[<参照セル番地>]' 無効:'=<参照セル番地>' 無効:'=[<参照セル番地>]'	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、 入力不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>]'	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、 項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認:'<確認メッセージ>' 確認:'=<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ> >で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限:'<グループコード>' 権限:'<グループコード 1>,<グループコード 2>' 権限:'=<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
参照:'<参照セル番地> 参照:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。 指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読み込みを行った場合は指定したセル番地の値を表示します。	表示
必須項目	プロパティ	帳票の実績登録時に値が未入力(空白)のとき登録できません。	

### 記述例

記述項目	機能
*サイン 名前:'サイン 01'	手書きサインの入力領域を表示します。
*サイン 名前:'サイン 02' 有効:'=IF(A1=1, TRUE,FALSE)' 権限:'=D1'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、入力でき、特定のグループに属する利用者に変更を許可します。

## 12.26 シェープタグ

### 機能

XC-Gate.V3でサポートしているオートシェイプ（**11.2**）の表示/非表示を切り替えます。  
本タグはExcelに配置されているオートシェイプ上で右クリックをし、「サイズとプロパティ」の「代替テキスト」の「説明」に記述します。

※ シェープタグは項目名を実績登録しますが、実績値は登録されません。

### 記述形式

\*シェープ 名前:'<項目名>' [非表示:'=<参照セル番地>']

### 記述項目

同一項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能
*シェープ 名前:'<項目名>' (推奨)	値	記載したオートシェイプに操作を設定します。 ※ シェープタグは、「名前:'<項目名>」を記述しない場合、帳票の上書き登録時に帳票内のタグ数が変動してエラーとなることがあるため、本項目の記述を推奨します。
<b>非表示:'=&lt;参照セル番地&gt;'</b> <b>非表示:'=[&lt;参照セル番地&gt;']'</b> (必須)	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ 実績を XLSX 出力または PDF 出力した場合は、参照先の値に関係なく表示されます。(PDF 出力については別冊「XC-Gate.V3 PDF 出力機能」を参照してください。)

### 記述例

記述項目	機能
*シェープ 名前:'シェープ 1' 非表示:'=A2'	セル番地 A2 のセルの値が、true の場合、本記載を行ったオートシェイプが表示され、false の場合、本記載を行ったオートシェイプが表示されません。

## 12.27 参照タグ

### 機能

本タグをExcelファイルのセルに記述すると、値を表示する領域をチェックシート上に生成します。生成された参照領域はExcelファイルのセルに記述した箇所と同じ場所へ配置します。本タグでは、「写真タグ」、「サインタグ」、「画像タグ」、「動画タグ」の画像や動画の参照はできません。

### 記述形式

\*参照 名前:'<項目名>' [シート:'<参照先シート名>'] [項目:'<項目名>'] [初期値:'<初期表示文字>'] [表示:'=<参照セル番地>'] [大きさ:'<フォントサイズ>'] [テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>'] [非表示:'=<参照セル番地>'] [参照:'=<参照セル番地>']

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*参照 名前:'<項目名>' (必須)	値	参照領域を生成します。<項目名>が実績登録時の項目名になります。	
シート:'<参照先シート名>'	値	取得したい項目があるシート名を<参照先シート名>で指定します。 必要な記述項目:項目	
項目:'<項目名>'	値	取得したいタグの項目名を記述します。「初期値:」、「表示:」は同時使用できません。 必要な記述項目:シート	表示、初期値、参照
初期値:'<初期表示文字>'	値	<初期表示文字>で指定した文字を入力実績の新規作成時に表示します。「項目:」、「表示:」は同時使用できません。	表示、参照、項目
表示:'<入力文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。指定したセルの値が変更、または画面の再読み込みを行うと指定セル番地の値を表示します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。「項目:」、「初期値:」は同時使用できません。	初期値、参照、項目
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>']	式、プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
参照:'<参照セル番地>' 参照:'=<参照セル番地>'	値、式	<参照セル番地>で指定したセル番地の値を表示します。指定したセルの値を変更した場合、または画面の再読み込みを行った場合は指定したセル番地の値を表示します。画面の再読み込み時に再表示を行いたくない場合は環境タグの「*環境 無効化:計算優先」を別のセルに記述します。	表示、初期値、項目

## 記述例

記述項目	機能
*参照 名前:'参照 1' シート:'Sheet1' 項目:'入力 1'	本タグの記載されているチェックシートの Sheet1 シートのタグの項目名が入力 1 に入っている値を表示します。

## 12.28 ループタグ

## 機能

指定した間隔でカウントし、処理のタイミングを測るタグを生成します。

※ ループタグは実績登録されません。

## 記述形式

\*ループ 名前:'<項目名>'

[項目:'<項目 1/項目 2/...>'] [開始:'<開始値>'] [間隔:'<間隔値>'] [終了:'<終了値>'] [加算:'<加算値>']

[中断] [有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>'] [大きさ:'<フォントサイズ>']

[テキスト表示色:'<色コード>'] [背景色:'<色コード>'] [表示位置:'<位置>']

※ 上記記述形式は箇条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

## 記述項目

「いずれか必須」と記載されている項目は、必ずいずれかひとつを記述してください。

処理プロパティ以外の同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*ループ 名前:'<項目名>'	値	ループカウント設定機能を生成します。	
項目:'<項目 1/項目 2/...>' 項目:'=<参照セル番地>'	値、式	記述した項目順<項目 1/項目 2/...>、または<参照セル番地>で設定された項目をループカウント順に表示します。 項目値がない場合は、「0/1」が設定されます。	開始、 終了、 加算
間隔:'<間隔値>' 間隔:'=<参照セル番地>'	値、式	<間隔値>または<参照セル番地>をカウントする値を設定します。(単位:ミリ秒[ms]) 「3000」未満を指定された場合は 変更等の通知なく 3000 ミリ秒として実行します。 設定値がないときは 3000 が設定されます。	
開始:'<開始値>' 開始:'=<参照セル番地>'	値、式	カウントを開始する<開始値>または<参照セル番地>の値を設定します。 「開始:""」のように設定値がないときは「0/1」が設定され、空白の場合は 0 が設定されます。	項目
終了:'<終了値>' 終了:'=<参照セル番地>'	値、式	カウントを終了する<終了値>または<参照セル番地>の値を設定します。 「終了:""」のように設定値がないときは「0/1」が設定され、空白の場合は 0 が設定されます。	項目
加算:'<加算値>' 加算:'=<参照セル番地>'	値、式	<開始値>の値を、設定された<加算値>で増減し<終了値>まで繰り返します。 • 必要な記述項目: 開始値、終了値	項目
中断	プロパティ	ループ処理のカウントを 1 ループで終了します。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
有効:='<<参照セル番地>' 有効:='[<参照セル番地>]' 無効:='\<参照セル番地>' 無効:='\[<参照セル番地>'	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、ループ処理を中断します。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:='\<参照セル番地>' 非表示:='\[<参照セル番地>']	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
大きさ:<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。 表示エリアの縦幅が文字の縦幅より小さい場合、指定したフォントサイズに合わせて行高さが広がります。	
テキスト表示色:<色コード>' テキスト表示色:='\<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:<色コード>' 背景色:='\<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
表示位置:<位置>'	値	タグに表示する値の表示位置を指定します。 記述できる<位置>は以下になります。 左 / 中央 / 右 ※ 表示位置プロパティが未指定の場合は、Excel のセルの書式設定が反映されます。	

### 記述例

記述項目	機能
*ループ 名前:'ループ 1' 項目:'田中/井上/鈴木/木下/山田' 間隔:500 *ループ 名前:'ループ 2' 開始:'1' 終了:'100' 加算:'=A1' 中断	項目のスラッシュ「/」区切りの値順に、500 ミリ秒間隔で表示を繰り返します。
[セル A1] *数値 名前:'数値 1' 初期値:'1' *ループ 名前:'ループ 3' 開始:'1' 終了:'10' 加算:'1' 間隔:'=A2'	[セル A1]の数値タグに表示されている数だけ、ループタグのカウン트가増減します。 カウン트는 1 から開始し 100 で終了します。1 ループでカウン트는止まり、再度ループタグをカウントしません。
[セル A2] *数値 名前:'数値 2' 初期値:'2000' *ループ 名前:'ループ 4' 開始:'0' 終了:'1000' 加算:'10' 有効:'=A3'	[セル A2]の数値タグに表示されている間隔(ミリ秒)でループタグのカウン트가 1 ずつ増えます。 カウン트는 1 から開始し 10 になると、再び 1 からカウントします
[セル A3] =IF(A4="TRUE",1,IF(A4="FALSE","", "")) [セル A4] *一覧 名前:'選択' 項目:'TRUE/FALSE'	[セル A4]の一覧タグを「true」に選択したとき、[セル A3]の条件式が「1」となり、ループタグのカウン트가始まります。 カウン트는 0 から開始し 10 ずつ加算され 1000 になると再び 0 からカウントします。

## 12.29 機能タグ

### 機能

「実績の登録」「実績の複製」「戻る」「ログアウト」機能を実行するボタンをチェックシート上に生成します。

※ 機能タグは実績登録されません。

### 記述形式

\*機能 名前:'<項目名>'

[処理:'<項目名>'] [表示:'=<参照セル番地>'] [実行:'=<参照セル番地>'] [通知無効]

[通知無効:メッセージバー] [通知無効:すべて][有効:'=<参照セル番地>'] [無効:'=<参照セル番地>']

[非表示:'=<参照セル番地>'] [大きさ:'<フォントサイズ>'] [テキスト表示色:'<色コード>']

[背景色:'<色コード>'] [確認:'<確認メッセージ>'] [権限:'<グループコード>']

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

「いずれか必須」と記載されている項目は、必ずいずれかひとつを記述してください。  
処理プロパティ以外の同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。  
記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

項目名	タイプ	機能	併用不可
*機能 処理:'<項目名>' 処理:'=<参照セル番地>' (必須)	値、式	処理で指定された機能をもつボタンを生成します。 記述できる<処理名>は以下になります。 登録/ログアウト/戻る/複製	
実行:'<実行判定式>' 実行:'=<参照セル番地>'	式	処理で指定された機能を、判定式、または参照先が true のとき、実行にします。	
表示:'<表示文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	<表示文字>で指定された文字列を機能ボタン上に表示します。	
通知無効 通知無効:メッセージバー' 通知無効:すべて'	プロパティ	処理が実行される際のポップアップ通知を非通知にします。「メッセージバー」にすると、エラーやアラート以外のメッセージを非表示にします。「すべて」にすると、すべてのメッセージ表示を非表示にします。 詳しくは別紙「 <b>XC-Gate.V3 取扱説明書 管理者編</b> 」 <b>3.11 章</b> を参照してください。 ※ 作業番号タグがないチェックシートで、処理で<登録>にしている場合、自動で新規登録はしません。処理が<複製>の場合は複製のタイトル名入力画面が表示されます。	
大きさ:'<フォントサイズ>'	値	<フォントサイズ>で指定した文字サイズで表示します。 省略時にはそのセルの標準フォントで表示します。 表示エリアの縦幅が文字の縦幅より小さい場合、指定したフォントサイズに合わせて行高さが広がります。	
テキスト表示色:'<色コード>' テキスト表示色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの表示文字色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	
背景色:'<色コード>' 背景色:'=<参照セル番地>'	値、式	タグの背景色を<色コード>で指定した色に設定します。 色コードの指定方法は W3C 標準カラー指定形式です。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
有効:='<<参照セル番地>' 有効:='[<参照セル番地>]' 無効:='<<参照セル番地>' 無効:='[<参照セル番地>]'	値、式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、実行不可にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
非表示:='<<参照セル番地>' 非表示:='[<参照セル番地>]'	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
確認: '<確認メッセージ>' 確認: '='<参照セル番地>'	値、式	不用意な変更を防止するため、変更時に<確認メッセージ>で指定した確認メッセージを表示します。 ※ 「キャンセル」ボタンを押すと、変更を取り消します。 確認メッセージは<参照セル番地>から取得できます。	
権限: '<グループコード>' 権限: '<グループコード 1>,<グループコード 2>' 権限: '='<参照セル番地>'	値、式	特定のグループに属する利用者に変更を許可します。 グループはグループコードで指定します。 グループはカンマ「,」区切りで複数指定することができます。 ※ ログインしている利用者が指定グループに属さない場合、認証ポップアップを表示します。その場合、指定されたグループに属する利用者コード、パスワードを入力すると入力が可能になります。	

記述例

記述項目	機能
*機能 処理:'登録' 表示:'登録' 通知無効	本タグを選択すると登録処理が行われます。 登録のとき、ポップアップウィンドウは表示されません。
*機能 処理:'複製' 表示:'実績の複製をする'	本タグを選択すると実績の複製画面が表示されます。
*機能 処理:'ログアウト' 通知無効:'すべて'	本タグを選択すると利用者画面をログアウトし、利用者画のログイン画面が表示されます。
*機能 処理:'戻る' 表示:'元の画面に戻る' 通知無効	本タグを選択すると前の画面に戻ります。 戻るとき、ポップアップウィンドウは表示されません。
*機能 処理:'登録' 実行: '=B1=10' 表示:'定期保存' 通知無効:'すべて'	チェックシートに作業番号タグがある場合、ループタグで10カウントする度に実績の登録・更新処理が行われます。作業番号タグが無い場合、新規の登録はされません。 ポップアップウィンドウやすべてのメッセージバーは表示されません。
[セル B1] *ループ 間隔:'1000' 開始:'0' 終了:'10' 加算:'1' *機能 処理:'登録' 表示:'登録確認' 有効: '=IF(A1=1,TRUE,FALSE)' 確認:'登録します。よろしいですか?' 通知無効:'メッセージバー'	関数の条件により分岐を行い、セル番地 A1 の値が「1」の場合、選択できます。本タグを選択すると、実績の登録をします。変更前に「登録します。よろしいですか?」の確認メッセージを表示します。 ポップアップウィンドウやエラーとアラート以外のメッセージバーは表示されません。

## 12.30 CSV タグ、CSV 表示タグ

### 機能

本タグを組み合わせてExcelファイルのセルに記述すると、XC-Gate.V3システムに登録されているCSVデータを取得、表示できます。

取得した内容はExcelファイルのCSV表示タグで記述した位置に表示します。

CSVタグでサーバーに設置されたデータを取得し、CSV表示タグで指定した行や列のタグ項目の値を表示します。

ボタンをクリックすると取得データの一覧をポップアップ画面で表示します。

CSVタグ※、CSV表示タグは必ず同シートに記述します。

項目名を指定する場合は、「シート名!項目名」または「項目名」の形式で指定します。

(CSVタグの[名前:]、CSV表示タグの[名前:]、[データ:]で項目名を指定する場合は、「項目名」の形式で指定します。)

※ CSVタグによる取得項目件数は100件、データ件数(行数)は3000件までです。超える場合はCSVデータの取得を中止します。

### 記述形式

\*CSV 名前:'<項目名>'

[表示:'<表示文字>'] [非表示:'=<参照セル番地>'] [src:'<ファイルのパス指定>'] [文字コード:'<文字コード指定>'] [区切り文字:'<区切り文字指定>'] [引用符:'<引用符指定>'] [ヘッダー無し]

\*CSV表示 名前:'<項目名>'

[CSV:'<CSVタグ名>'] [項目:'<項目名>'] [条件:'<条件式>']

[行番号:'<行番号>'] [列番号:'<列番号>'] [実績無効] [必須項目] [表示位置:'<位置>']

※ 上記記述形式は簡条書きしています。実セルへ記述する場合、改行を行わないでください。

### 記述項目

同一項目および「併用不可」に記載されている項目は併用できません。

記述方法が複数ある項目を使用するときは、いずれかひとつを記述してください。

#### <CSV>

項目名	タイプ	機能	併用不可
* <b>CSV 名前:'&lt;項目名&gt;'</b> (必須)	値	CSV ボタンを生成します。<項目名>が実績登録時の項目名になります。	
表示:'<表示文字>' 表示:'=<参照セル番地>'	値、式	ボタンに表示する文字を指定します。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>']	式、プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 ※ []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。	
<b>src:'&lt;ファのパス指定&gt;'</b> <b>src:'=&lt;参照セル番地&gt;'</b> (いずれか必須)	値、式	サーバーに配置されている CSV ファイルのパスを指定します。 ※ 登録チェックシートと同階層のファイルを参照する場合は、「/ファイルID」を記述します。「./」はひとつ上の階層、「/フォルダ名」はひとつ下の階層を参照します。	
文字コード:'<文字コード指定>'	値、式	取得する CSV ファイルの文字コードを指定します。 指定できる文字コードは、以下になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• sjis: Shift-JIS</li> <li>• euc: EUC-JP</li> <li>• utf8: UTF-8</li> </ul> ※ 環境依存文字を含む場合は UTF-8 にしてください。 ※ 指定がない場合は Shift-JIS となります。	

項目名	タイプ	機能	併用不可
区切り文字:'<区切り文字指定>'	値	取得する CSV ファイルの区切り文字指定します。 指定できる区切り文字指定は1～4で指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1: タブ</li> <li>2: セミコロン</li> <li>3: カンマ</li> <li>4: 半角スペース</li> </ul> ※ 指定がない場合はカンマとなります。	
引用符:'<引用符指定>'	値	取得する CSV ファイルの引用符を指定します。 指定できる引用符指定は1～3で指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1: シングルクォーテーション</li> <li>2: ダブルクォーテーション</li> <li>3: なし</li> </ul> ※ 指定がない場合はダブルクォーテーションとなります。	
ヘッダー無し	プロパティ	ヘッダー(先頭行)を項目値として読み込みません。	

<CSV表示>

項目名	タイプ	機能	併用不可
*CSV 表示 名前:'<名前>'(必須)	値	実績登録時の項目名を指定します。	
CSV:'<CSV タグの項目名>'(必須)	値	対象となる CSV タグの名前プロパティを指定します。	
項目:'<項目名>' 項目:'=<参照セル番地>'	値、式	取得するCSVデータの項目値(ヘッダー)を指定します。	列番号
列番号:'<番号>' 列番号:'=<参照セル番地>'	値、式	取得する列番号を指定します。1以上で指定してください。	項目
行番号:'<番号>' 行番号:'=<参照セル番地>'	値、式	取得する行番号を指定します。1以上で指定してください。 ヘッダーがある CSV タグは項目値(ヘッダー)を1行目としていません。データ部からの行カウントとなります。 ※ 行番号プロパティがない場合、CSV タグデータの1行目を読み込みます。	
条件:'<条件式>' 条件:'=<参照セル番地>'(複数可)	値、式	参照したい CSV タグデータの条件を<条件式>で指定します。 「条件:」に記述できる条件は複数可能です。 複数記述したい場合は、「条件:」を複数記述します。 複数の「条件:」を指定した場合は、その条件すべてを満たした実績を参照します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>使用可能な符号: '='、 '&lt;&gt;'、 '&lt;'、 '&gt;'、 '&lt;='、 '&gt;='、 'like'</li> </ul>	
実績無効	プロパティ	指定した場合、実績に保存しません。	
非表示:'=<参照セル番地>' 非表示:'=[<参照セル番地>]'	式、 プロパティ	<参照セル番地>の値が false,0,空欄のいずれかのとき、項目を非表示にします。 [<参照セル番地>]のセルが入力済のとき、true を返します。 []の中はカンマ区切り[A1,A2,A3]や、範囲指定[A1:A3]で複数設定が可能です。 ※ csv 表示タグが非表示の場合でも、実績に値は登録されます。	
表示位置:'<位置>'	値	タグに表示する値の表示位置を指定します。 記述できる<位置>は以下になります。 左 / 中央 / 右 ※ 表示位置プロパティが未指定の場合は、Excel のセルの書式設定が反映されます。	

## 記述例

## &lt;CSVデータ参照&gt;

記述項目 1	機能
*CSV 名前:'CSV タグ 1' src:'./CSV データ/CSV01' 文字コード:'utf8' 区切り文字:'3' 引用符:'2'	サーバーのCSVデータフォルダから、文字コードUTF-8、カンマ区切り、引用符がダブルクォーテーションの CSV ファイル「CSV01」を取得します。
*CSV 表示 名前:'CSV 表示タグ 1' CSV:'CSV タグ 1' 項目:'日付' 条件:'=B1' 条件:'=B2' 行番号:'1'  [セル B1] 日付<=2022/04/30 [セル B2] 日付>=2022/04/01	取得した CSV タグ『CSV タグ 1』のデータに対して日付が『2022/4/1～4/30』の条件で絞り込みを行い、行番号が『1 番目』の項目名『日付』の値を表示します。 また、この表示結果は実績送信時に記録されます。
記述項目 2	機能
*CSV 名前:'CSV タグ 2' src:'=B3' 文字コード:'sjis' 区切り文字:'3' 引用符:'1' ヘッダー無し  [セル B3] <CSV ファイルのパス>	[セル B3]のパスにあるサーバーからヘッダー行の無い、文字コード Shift-JIS、カンマ区切り、引用符がシングルクォーテーションの CSV ファイルを取得します。
*CSV 表示 名前:'CSV 表示タグ 2' CSV:'CSV タグ 2' 行番号:'1' 列番号:'2' 実績無効	取得した CSV タグ『CSV タグ 2』のデータに対して行番号が1、列番号が2の条件で絞り込みを行い、値を表示します。 また、この表示結果は実績送信時に記録しません。

# 13 システム管理

システム管理のメニューは、「ADMINISTRATORS」のグループに所属しているユーザーのみ表示されます。システム管理では、以下の内容の設定をします。

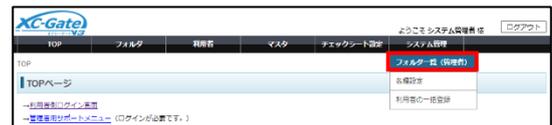
## <システム管理の設定項目と内容>

No.	設定項目	内容	章
1	チェックシートの再登録	登録済みのチェックシートを再登録します。	13.1
2	メールサーバーの設定	メール送信を利用するためにメールサーバーの設定をします。	13.2
3	一時保存の実績削除の設定	利用者画面の一時保存の実績を保持する期間を設定します。	13.3
4	実績登録後 各ファイル自動出力共通設定	各自動出力で、エラーが発生時に通知メールを送信する設定をします。	13.4
5	実績の自動インポート設定	実績を自動でインポートする際の設定をします。	13.5.1
6	マスタの自動インポート設定	マスタを自動でインポートする際の設定をします。	13.5.2
7	インポート共通設定	自動インポート機能で共通の内容を設定します。	13.5.3
8	トピック設定	管理者と利用者で TOP 画面に表示される「トピック」の内容を設定します。	13.6
9	利用者セキュリティ設定	利用者のパスワードのポリシー(ルール)を設定します	13.7
10	利用者の一括登録	利用者とその承認印を一括で登録します。	13.8

## 13.1 チェックシートの再登録

フォルダ単位またはチェックシート単位で登録済の帳票を一括再登録できます。XC-Gate.V3のバージョンアップにより、チェックシートの再登録が必要な場合に使用します。

- 1) システム管理メニューの[フォルダ一覧(管理者)]をクリックします。



- 2) 再登録するチェックシートを表示します。表示方法については「3.2」を参照してください。

- 3) 再登録する対象フォルダまたはチェックシート行のチェックボックスにチェックを入れます。表示中のすべての行にチェックを入れたい場合は、ヘッダー行にあるチェックボックスにチェックを入れてください。



- 4) [帳票再登録]をクリックします。



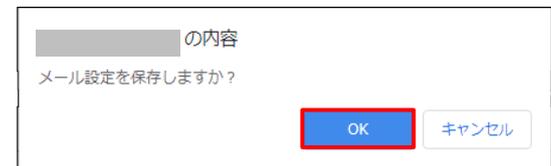
### ポイント

- 再登録する帳票数が500件を超えると、以下のエラーメッセージが表示されます。  
「帳票の自動更新に失敗しました。対象帳票の件数が500件を超えています。  
実行中:XX件、追加:XX件」
- 各帳票の更新者と更新日は、帳票再登録を行ったユーザーと更新日時で更新されます。
- 「帳票再登録」ボタン押下で進捗画面に遷移し、すべて正常に完了すると完了画面に遷移します。進捗画面で「キャンセル」ボタンを押下した場合、もしくは帳票再登録でエラーが発生した場合は進捗画面にその詳細を表示します。

## 13.2 メールサーバーの設定

各種設定画面で、メールサーバーの設定ができます。

- 1) システム管理メニューの[各種設定]をクリックします。
- 2) サーバー情報を入力します。  
設定内容については、ネットワーク管理者に確認してください。
  - SMTPサーバー：ポート番号最大文字数：45文字/5文字
  - SMTP認証最大文字数：45文字
  - 送信元メールアドレス最大文字数：80文字
  - 送信先表示名最大文字数：80文字
  - TLSの利用有無（任意）
- 3) [登録]をクリックします。
- 4) 確認画面の[OK]をクリックします。  
「メール設定を更新しました。」とメッセージが表示されます。



- 5) 設定が正しいか、テストメールで確認します。
  - a) 「テストメール送信先」に、テストメールを送信するメールアドレスを入力します。
  - b) [送信テスト]をクリックします。
  - c) 「テストメールを送信しました。受信有無を確認してください。」とメッセージが表示されたら、メールが受信されているか確認します。
  - d) メールが受信されていない場合は、手順2)に戻り、設定内容を修正します。



### 13.3 一時保存の実績削除の設定

各種設定画面で、利用者画面の一時保存の実績を保持する期間を設定ができます。

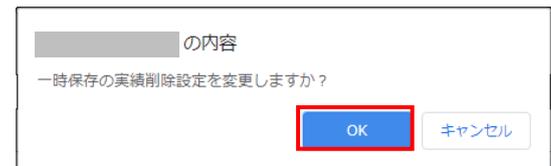


ポイント

一時保存の実績削除を「する」に設定すると、保持日数経過後に初めて利用者のログイン画面を表示したとき、一時保存の実績が自動的に削除されます。

初期設定は「しない」です。

- 1) システム管理メニューの[各種設定]をクリックします。
- 2) 「一時保存の実績削除」の「する」を選択し、保持日数を設定します。  
保持日数には一時保存の実績を保持する日数を入力してください。  
設定値： 1～999
- 3) [登録]をクリックします。
- 4) 確認画面の[OK]をクリックします。



## 13.4 実績登録後 各ファイル自動出力共通設定

各ファイル自動出力でエラーが発生すると通知メールを送信するよう設定します。  
自動出力\*については「チェックシートの属性」(4.14)の自動出力に関する属性を参照してください。

※ PDF出力については別冊「XC-Gate.V3 PDF出力機能」を参照してください。



エラーメールを送信する場合は、メールサーバーの設定が必要です。  
メールサーバーの設定については「メールサーバーの設定」(13.2)を参照してください。

- 1) システム管理メニューの[各種設定]をクリックします。



- 2) 「実績登録後 各ファイル自動出力共通設定」の「送信する」を選択し、エラー発生時のメール送信先を設定します。

送信の確認をする場合は[送信テスト]ボタンをクリックしてください。

- 初期値： 送信しない

### <複数のメールアドレスを設定する場合>

メールアドレスをカンマ (,) で区切ってください。

- 3) 「出力ファイル保持日数」を入力します。  
上限下限確認要  
設定値： 1~30



- 4) [登録]をクリックします。



### 共通設定と属性設定の違い

- 共通設定：  
サーバーに登録されているすべてのチェックシートの自動出力中にエラーが発生するとメールで通知します。
- 属性設定：  
設定されたチェックシートの自動出力中にエラーが発生するとメールで通知します。

共通設定	属性設定	エラー通知メール
○	○	共通設定、属性設定両方の通知メールが送信される。
○	×	共通設定の通知メールが送信される。
×	○	属性設定の通知メールが送信される。
×	×	通知メールは送信されない。

## 13.5 インポート設定

実績とマスタのインポート設定をします。ここでの設定システム全体の設定となります。実績とマスタの自動インポートについては、FTP接続でCSVファイルの配置をします。詳しくは別紙「**XC-GateV3自動インポート機能取扱説明書**」と「**【補足資料】XC-Gate.V3\_FTP接続について**」を参照ください。



ポイント

- 各帳票に実績のインポート設定を行う場合は、「**実績のインポート設定**」(4.9.2)を参照してください。
- 各マスタにインポート設定を行う場合は、「**マスタのインポート設定**」(8.8.2)を参照してください。

### 13.5.1 実績の自動インポート設定

- システム管理メニューの[各種設定]をクリックします。



- 「実績のインポート設定」で納品時に設定されていた自動インポートの設定を変更します。

**▶ 実績のインポート設定**

- 自動インポートの場合、FTPでサーバに接続し、「action\_import」フォルダ配下にファイル名を「XXXX\_[ファイルID].csv」とするが、CSVファイルの先頭行にファイルIDを記載したファイルを格納してください。  
記載したファイルIDの帳票に対して自動インポートを行います。  
インポート結果は「action\_import\_result」フォルダ配下に出力されます。
- CSVファイルの先頭行（ファイルIDを除く）がフィールド名の場合、「先頭行をフィールド名として使う」を選択してください。
- 「先頭行をフィールド名として使う」を選択しない場合、項目の紐付け方法は「項目順で紐付け」のみ選択可能となります。

1	文字コード	<input checked="" type="radio"/> UTF-8 <input type="radio"/> Shift_JIS <input type="radio"/> EUC_JP
2	区切り文字	<input type="radio"/> タブ <input type="radio"/> セミコロン <input checked="" type="radio"/> カンマ <input type="radio"/> 半角スペース <input type="radio"/> その他 <input style="width: 50px;" type="text"/>
3	文字列の引用符	[なし] ▼
4	先頭行	<input checked="" type="checkbox"/> 先頭行をフィールド名として使う
5	項目の紐付け方法	<input type="radio"/> 項目順で紐付け <input checked="" type="radio"/> 項目名で紐付け
6	項目名の判別	<input type="radio"/> シート名!項目名 <input checked="" type="radio"/> 項目名のみ
7	重複時の動作	<input checked="" type="radio"/> エラーとして扱う <input type="radio"/> 更新する
8	重複確認のキー	<input checked="" type="radio"/> 作業番号 (ACTION_CD) /作業タイトル (TITLE) <input type="radio"/> 実績主キー (TRX_CD)
9	日付時間の指定	<input type="radio"/> シリアル値 <input type="radio"/> 日付時間文字列方式 <input checked="" type="radio"/> 自動
10	(自動インポート) ログの言語	[日本語] ▼

11

No.	設定項目	内容
1	文字コード	実績の文字コードを以下のコードで設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>UTF-8</li> <li>Shift_JIS</li> <li>EUC_JP</li> </ul> ※ 環境依存文字を含むデータをインポートする場合は UTF-8 にしてください。

No.	設定項目	内容
2	区切り文字	実績の区切り文字を以下で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• タブ</li> <li>• セミコロン</li> <li>• カンマ</li> <li>• 半角スペース</li> <li>• その他</li> </ul> ※ 「その他」を選択した場合は、CSV のデータ内に含まれない任意の記号を入力してください
3	文字列の引用符	実績データの引用符を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• なし</li> <li>• 「」ダブルクォーテーション</li> <li>• 『』シングルクォーテーション</li> </ul>
4	先頭行	CSV データの先頭行を項目名(フィールド名)にする設定をします。 ※ 先頭行を項目値にしない場合、⑥の「項目の紐づけ方法」は項目順となります。
5	項目の紐づけ方法	項目名のマッピングを、CSV の「項目順(フィールド順)」か「項目名(フィールド名)」で設定します。マッピングの詳細な設定は「 <b>4.9.2 実績のインポート設定</b> 」の「 <b>実績の項目マッピング設定</b> 」を参照してください。
6	項目名の判別	項目を指定する際に、シート名を含めるか、項目名のみかを設定します。
7	重複時の動作	インポートする実績が重複した場合、エラーとするか、上書き更新するかを設定します。
8	重複確認のキー	⑧で重複の確認をする際のキー項目を以下で指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 作業番号(ACTION_CD)/作業タイトル(TITLE)</li> <li>• 実績の主キー(TRX_CD)</li> </ul>
9	日付時間の指定	日時の表記方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• シリアル値</li> <li>• 日時文字列方式 yyyy/MM/dd(例:2017/01/01)</li> </ul>
10	(自動インポート)ログの言語	出力されるログの言語は、日本語のみの対応です。
11	登録	クリックすると実績の自動インポート設定を登録します。

### 13.5.2 マスタの自動インポート設定

- 1) システム管理メニューの[各種設定]をクリックします。



- 2) 「マスタのインポート設定」で納品時に設定されていた自動インポートの設定を変更します。

**マスタのインポート設定**

- ・自動インポートの場合、FTPでサーバに接続し、「master\_import」フォルダ配下にファイル名を「XXXX\_[マスタコード].csv」とするが、CSVファイルの先頭行にマスタコードを記載したファイルを格納してください。記載したマスタコードのマスタに対して自動インポートを行います。インポート結果は「master\_import\_result」フォルダ配下に出力されます。
- ・CSVファイルの先頭行（マスタコードを除く）がフィールド名の場合、「先頭行をフィールド名として使う」を選択してください。
- ・「先頭行をフィールド名として使う」を選択しない場合、項目の紐付け方法は「項目順で紐付け」のみ選択可能となります。

①	文字コード	<input checked="" type="radio"/> UTF-8 <input type="radio"/> Shift_JIS <input type="radio"/> EUC_JP	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 24px; font-weight: bold; color: green;">10</span>                  登録             </div>
②	区切り文字	<input type="radio"/> タブ <input type="radio"/> セミコロン <input checked="" type="radio"/> カンマ <input type="radio"/> 半角スペース <input type="text" value="その他"/>	
③	文字列の引用符	{なし} ▼	
④	先頭行	<input checked="" type="checkbox"/> 先頭行をフィールド名として使う	
⑤	項目の紐付け方法	<input type="radio"/> 項目順で紐付け <input checked="" type="radio"/> 項目名で紐付け	
⑥	マスタ項目に存在しないカラム	<input type="radio"/> 項目を追加する <input checked="" type="radio"/> 無視する	
⑦	(手動インポート) 更新方法	<input type="radio"/> 差分更新 <input checked="" type="radio"/> 一括更新	
⑧	(自動インポート) 更新方法	<input type="radio"/> 差分更新 <input checked="" type="radio"/> 一括更新	
	(自動インポート) ログの言語	日本語 ▼	

No.	設定項目	内容
1	文字コード	マスタの文字コードを以下のコードで設定します。 ・ UTF-8 ・ Shift_JIS ・ EUC_JP ※ 環境依存文字を含むデータをインポートする場合は UTF-8 にしてください。
2	区切り文字	マスタの区切り文字を以下で設定します。 ・ タブ ・ セミコロン ・ カンマ ・ 半角スペース ・ その他 ※ 「その他」を選択した場合は、CSV のデータ内に含まれない任意の記号を入力してください
3	文字列の引用符	マスタデータの引用符を設定します。 ・ なし ・ 「」ダブルクォーテーション ・ 『』シングルクォーテーション
4	先頭行	CSV データの先頭行を項目名(フィールド名)にする設定をします。 ※ 先頭行を項目値にしない場合、⑥の「項目の紐づけ方法」は項目順となります。

No.	設定項目	内容
5	項目の紐づけ方法	項目名のマッピングを、CSV の「項目順(フィールド順)」か「項目名(フィールド名)」で設定します。マッピングの詳細な設定は「3.1.3.2 マスタの項目マッピング設定」を参照してください。
6	マスタ項目に存在しないカラム	登録済みのマスタに、存在しない項目値がマスタデータに含まれている場合、新たに項目値としての追加の可否を設定します。
7	(手動インポート)更新方法	管理者画面でマスタのインポートを手動で行う場合、登録するマスタデータの未登録行を追加で登録(差分更新)するか、全て削除してから全データを登録(一括更新)するかを設定します。
8	(自動インポート)更新方法	自動インポート機能でマスタのインポートを行う場合、登録するマスタデータの未登録行を追加で登録(差分更新)するか、全て削除してから全データを登録(一括更新)するかを設定します。
9	(自動インポート)ログの言語	出力されるログの言語は、日本語のみの対応です。
10	登録	クリックすると「マスタのインポート設定」と「項目マッピング設定」を登録します。

### 13.5.3 共通設定

実績・マスタの自動インポート機能で共通の内容を設定します。

- 1) システム管理メニューの[各種設定]をクリックします。



- 2) 「実績・マスタインポート共通設定」で、共通設定をします。

▶ **実績・マスタインポート共通設定**

- ・自動インポート結果保持日数はマスタ、実績自動インポート時のログファイルを保持する日数を指定します。
- ・自動インポート対象外ファイルの保持日数はマスタ、実績自動インポート処理の対象外となったファイルを保持する日数を指定します。

<b>1</b>	自動インポート結果保持日数	<input style="width: 90%;" type="text" value="30"/>	<b>3</b> <input type="button" value="登録"/>
<b>2</b>	自動インポート対象外ファイルの保持日数	<input style="width: 90%;" type="text" value="1"/>	

No.	設定項目	内容
1	自動インポート結果保持日数	実績、マスタ共に自動インポートする際のログファイルを保存する日数を設定します。
2	自動インポート対象外ファイルの保持日数	実績・マスタ共に自動インポートで、CSV 以外のファイルが取り込まれた場合、失敗した trash フォルダのファイルを保存する日数を設定します。
3	登録	[登録]ボタンをクリックすると、設定内容を保存します。

## 13.6 トピック設定

管理者や利用者のログイン画面に「トピック」と称した、メッセージ内容の設定を行います。



ポイント

- トピックの設定は、内容を記載して、「登録」をクリックしたことにより設定が反映します。「設定をしない」に選択した場合も「登録」ボタンをクリックした時点でトピックが非表示になります。
- オフラインの利用者画面ではトピックは表示されません。

- 1) システム管理メニューの[各種設定]をクリックします。



- 2) 「トピック設定」の「設定する」を選択し、トピック内容を記述します。

【管理者画面】

- 1行の文字数：70文字まで
- 行数：10行まで

【利用者画面】

- 1行の文字数：50文字まで
- 行数：8行まで

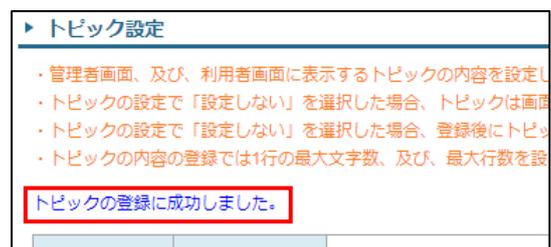
※ 環境依存文字は推奨しておりません。



- 3) [登録]をクリックします。



- 4) 登録が正常に処理されると、「トピックの登録に成功しました。」と表示します。



## 13.7 利用者セキュリティ設定

利用者のパスワード作成する際に必要な構成（文字数、英数字・記号など）を設定します。また、パスワードの有効期限に関する各設定も行います。管理者/利用者の各画面ログイン時に「利用者セキュリティ設定」の条件が満たされているか、パスワードの構成と有効期限をチェック※1をします。※2ポリシーを満たしていない場合、パスワードの再設定画面へ遷移します。

利用者の登録と編集（「6.1.3」「6.1.4」）と利用者の一括登録（「13.8」）でのパスワードの設定時に構成チェックを行います。

※1「チェックの有無を有（ログイン時を除く）」に設定している場合は、ログイン時に構成チェックは行われません。

※2利用者画面でオフラインの時、ポリシーチェックは行われません。

- 1) システム管理メニューの[各種設定]をクリックします。



- 2) 「利用者セキュリティ」までスクロールします。

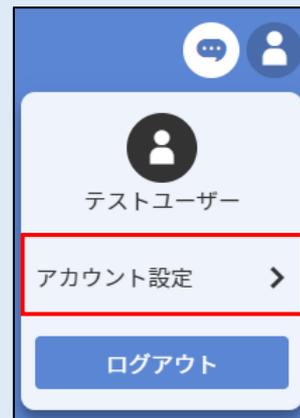
▶ 利用者セキュリティ設定			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のパスワードポリシー（パスワードの構成、有効期限）の指定ができます。</li> <li>・パスワードの構成チェックを「有」にした場合、パスワード構成の要件を満たしていない利用者はログイン時にポリシー違反となり、パスワード変更画面を表示します。</li> <li>※「有（ログイン時を除く）」を選択した場合は上記のチェックを実施しません。</li> <li>・有効期限の設定を「有」にした場合、パスワードを登録/変更してから指定した有効日数を超過した利用者はログイン時にポリシー違反となり、パスワード変更画面を表示します。</li> <li>※登録済みの利用者に関しては、初めて有効期限の設定を「有」にして登録した日をパスワード登録日とします。</li> <li>・利用者アカウント設定画面の表示/非表示を「常に表示しない」にすると、利用者によるパスワードの変更ができなくなります。（管理者によるパスワードの変更は可能です）</li> </ul>			
パスワード ポリシー	1	チェックの有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 有（ログイン時を除く） <input type="radio"/> 無 ※「有」、「有（ログイン時を除く）」選択時のみ以下の設定が有効となります。
	2	最小文字数	8 文字以上
	3	含める文字の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 半角英字（ <input type="checkbox"/> 大文字/小文字の混在を必須） <input checked="" type="checkbox"/> 半角数字 <input type="checkbox"/> 半角記号 ※対象の記号（- _ ? @ ! \$ ' ( ) * + ; : < >）
	4	設定の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ※「有」選択時のみ以下の設定が有効となります。
	5	有効日数	90 日（1~999の間で指定してください）
	6	有効期限切れ警告通知の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
	7	有効期限切れ警告通知期間	10 日前から通知（1~999の間で指定してください） ※パスワード有効期限の（指定日）日前から、ログイン後に警告画面を表示します。
	8	WEBAPIログイン時のポリシーチェックの有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
	9	利用者アカウント設定画面の表示/非表示	<input checked="" type="radio"/> 常に表示する <input type="radio"/> パスワードポリシー違反時のみ表示する <input type="radio"/> 常に表示しない

- ・【パスワード構成】

No.	設定項目	内容
1	チェックの有無	パスワードの構成チェックを行うか設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・有：設定を有効にします</li> <li>・有（ログイン時を除く）：設定を有効にしますが、ログイン時のパスワードの構成チェックは行いません</li> <li>・無：設定を無効にします。ポリシーチェックは行いません。</li> </ul>
2	最小文字数	パスワードの文字数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定可能文字数：6～20</li> </ul>
3	含める文字の種類	パスワードに使用する文字の種類を設定します。 <p>※ 必ず1つは選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半角英字 「大文字/小文字の混在必須」をチェックすると、英字に大小文字をパスワードに含める設定します。</li> <li>・ 半角数字</li> <li>・ 半角記号：対象となる記号は以下です。 - . _ ~ ? @ ! \$ ' ( ) * + ; : &lt; &gt;</li> </ul>

• 【有効期限】

No.	設定項目	内容
4	設定の有無	有効期限のチェックを行うか設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>有:有効期限チェックを有効にします</li> <li>無:設定を無効にします。</li> </ul>
5	有効日数	パスワードの有効日数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>設定可能日数:1~999</li> </ul> ※ パスワードの有効期限は、パスワードの最終更新日+有効日数です。 ※ 有効期限を過ぎた場合、ログイン時にパスワード設定画面に強制的に遷移します。 例) 有効期限が 12/01 の場合、12/01 の 0:00 以降にログインすると、パスワード設定画面に遷移します。
6	有効期限切れ警告通知の有無	パスワードの有効期限が切れる前に警告を出す設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>有:ログイン時に期限切れの警告を表示します。</li> <li>無:警告の表示を無効にします。</li> </ul>
7	有効期限切れ警告通知期間	「6 有効期限切れ警告通知の有無」で設定した有効期限切れの警告を表示する通知を、何日前から表示するか設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>設定可能日数:1~999</li> </ul>
8	WEBAPI ログイン時のポリシーチェックの有無	WebAPI 機能でログイン時に、ポリシーチェックを有効にするか設定します。 WebAPI については別冊「 <b>XC-Gate.V3 WebAPI 機能 取扱説明書</b> 」参照してください。 ※ WebAPI 機能はプロプラン契約のみご利用いただけます。
9	利用者アカウント設定画面の表示/非表示	利用者のホーム画面のユーザーアイコンをタップした時に、「アカウント設定」を表示する設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 「アカウント設定」を開くと、パスワード変更画面に遷移します。</li> <li>常に表示する: アカウント設定を表示します</li> <li>パスワードポリシー違反時のみ表示する: アカウント設定を非表示にします</li> <li>※ 利用者ログイン時にパスワードポリシーを満たしていない場合、アカウント設定画面に遷移します。</li> <li>常に表示しない: アカウント設定を非表示にします</li> <li>※ 利用者ログイン時にパスワードポリシーを満たしていない場合、ログイン不可となります。</li> </ul>



## 有効期限切れまたはポリシー違反の場合に表示するパスワード変更画面

有効期限が切れている、またはパスワードポリシーに違反している利用者で、各画面にログインするとパスワード変更画面に遷移します。

<管理者画面>

<利用者画面>

- パスワード変更時、新しいパスワードがポリシーを満たしていない場合、登録時にエラーとして表示されます。  
※ ポリシー設定が有効で、利用者のパスワード設定を行う場合も、ポリシーを満たしていない場合、エラー表示します。

<管理者画面>

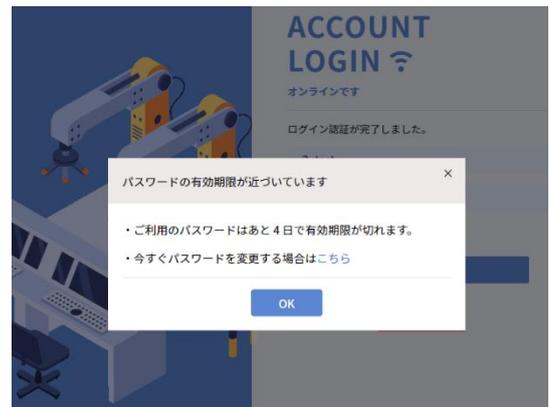
<利用者画面>

パスワード有効期限切れ警告画面

<管理者画面>



<利用者画面>



- 管理者画面は[OK]ボタンでトップページ画面に遷移します。
- 利用者画面は[OK]ボタンでホーム画面に遷移します。
- [こちら]からのリンクでパスワード変更画面に遷移します。

<管理者画面>



<利用者画面>



※ 利用者画面で利用者アカウント設定の表示を「パスワードポリシー違反時のみ表示する」に設定している場合、ログイン時に以下の警告画面が表示し、アカウント設定画面への遷移は行いません。



## 13.8 利用者の一括登録

利用者および登録済の利用者の「利用者印」を一括で登録できます。  
一括登録用のファイルを事前に用意してください。

### <ファイルの作成方法>

- 利用者の登録ファイル： **13.8.2**参照
- 利用者印のファイル： **13.8.3**参照

### 13.8.1 一括登録方法

登録を実行すると、利用者コードより既存の利用者を検索し、新規登録/更新の処理が行われます。  
CSVファイルでは利用者コードが、ZIPファイルではファイル名が検索に使用されます。



ポイント

- 規定の内容と異なるデータを取り込むとエラーとなります。
- 利用者の登録数上限を超えたデータはエラーとなります。
- 5000 件以上の登録はできません。

- 1) システム管理メニューの[利用者の一括登録]をクリックします。



- 2) 利用区分で登録するファイル形式を選択します。

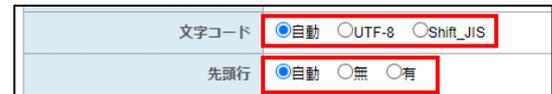
#### <ファイル形式>

- 利用者： CSVファイル
- 利用者印： ZIPファイル



- 3) 利用者を一括登録する場合は、CSVファイルの「文字コード」と登録ファイルの「先頭行」の有無を選択します。

- 初期値： 自動



- 4) [ファイルを選択]をクリックし、登録するファイルを選択します。



- 5) [インポート]ボタンをクリックし、ファイルを取り込みます。  
更新確認画面が表示された場合は、内容を確認し[OK]をクリックしてください。  
既存の利用者の登録内容が上書きされます。



### 13.8.2 利用者の CSV ファイル

登録するCSVファイルは、サンプルのCSVデータまたは利用者の一覧画面よりダウンロードした CSVファイル（13.8.1）を使用します。



ポイント

- 管理者グループに所属する利用者の登録・更新はできません。
- 利用者の登録内容およびルールは **6.2.3** を参照してください。
- ダウンロードした CSV ファイルの先頭行は項目名になります。

#### サンプルの CSV データのダウンロード

- 1) 利用者の一括登録画面を表示します。  
(13.8.1)
- 2) 「サンプルCSVのダウンロード」をクリックし、CSVファイルをダウンロードします。

#### CSV ファイルの編集内容

CSVファイルを編集する前に、次ページの注意事項を必ず確認してください。

- CSV：カンマ (,) 区切り
- 文字コード\*1：Shift\_JIS、UTF-8
- 先頭行：項目名（項目名なしでもインポートは可能です）
- 引用符\*2：ダブルクォーテーション (")

\*1 環境依存文字を含むデータをインポートする場合はUTF-8にしてください。

\*2 Excelで編集後、メモ帳などのテキストエディターで開くと表示されなくなりますが、問題はありません。

項目名	必須	概要
利用者コード	○	利用者を識別するための固有のコードを入力します。
利用者名	○	利用者の名前を入力します。
利用者名カナ		利用者名のフリガナを入力します。未記述の場合は空欄で登録されます。
パスワード	○	ログインパスワードを入力します。 既存利用者のパスワードを変更しない場合は空欄のままにしてください。 ※ パスワードの詳細ルールは「13.7 利用者セキュリティ設定」を参照してください
メールアドレス		未記述の場合は空欄で登録されます。
コメント		未記述の場合は空欄で登録されます。
ログイン区分	○	0: 無効 1: 管理者/利用者 2: 利用者のみ
有効期限	○	有効期限の年月日を入力します。 例) 2020年1月31日→2020/1/31
グループコード		グループコードを入力します • 複数のグループに所属する場合は「/」で区切ります。 • 未記述の場合は「USERS」グループに登録されます。 • 管理者グループ (ADMINISTRATORS) は CSV 一括登録できません。
FTP 利用可否		FTP 接続をするか否かを指定します。 0: 利用不可 1: 利用可 未記述の場合は利用可で登録されます。 ※ FTP 接続については別紙「【補足資料】XC-Gate.V3 FTP 接続について」を参照ください。

## CSV ファイル編集時の注意事項

### <利用者コードの編集について>

- 新規登録者の利用者コードは必ず未登録のものを入力してください。  
既存の利用者コードを記述すると、編集内容が既存の利用者コードに上書きされます。
- 既存の利用者の登録内容を変更したい場合は、利用者コードを変更しないでください。  
未登録の利用者コードに変更すると、新規利用者として登録されます。
- 同ファイル内に同じ利用者コードがあると、インポート時にエラーが発生します。

### <不要な利用者の削除>

CSVファイルから利用者を削除する場合は、行を選択して削除してください。  
セルを選択して削除をすると、インポート時にエラーが発生します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	利用者コード	利用			アドレス	コメント	ログイン区分	有効期限	グループコード	AD認証	音声認識
2	test1	テスト	1	テスト	test@technotree.com	コメント		1	9999/12/31 USERS		0
3	test2	テスト	2	テスト	test2@technotree.com	コメント		1	9999/12/31 USERS		0
4	test3	テスト	3	テスト	test@technotree.com	コメント		1	9999/12/31 USERS		0
5	test4	テスト	4	テスト	test@technotree.com	コメント		1	9999/12/31 USERS		0
6	test5	テスト	5	テスト	test@technotree.com	コメント		1	2222/12/31 USERS		0
7	test6	テスト	6	テスト	test@technotree.com	コメント		1	2020/1/1 USERS		0
8											
9											

### 13.8.3 利用者印の ZIP ファイルの作成

利用者印を一括登録する場合は、ZIPファイルを作成します。  
事前に登録する印影ファイル（jpg/bmp/png/tif）を用意してください。

#### ZIP ファイルの作成

- 1) 新しいフォルダを作成します。
- 2) 作成したフォルダに登録するすべての印影ファイルを保存します。



ポイント

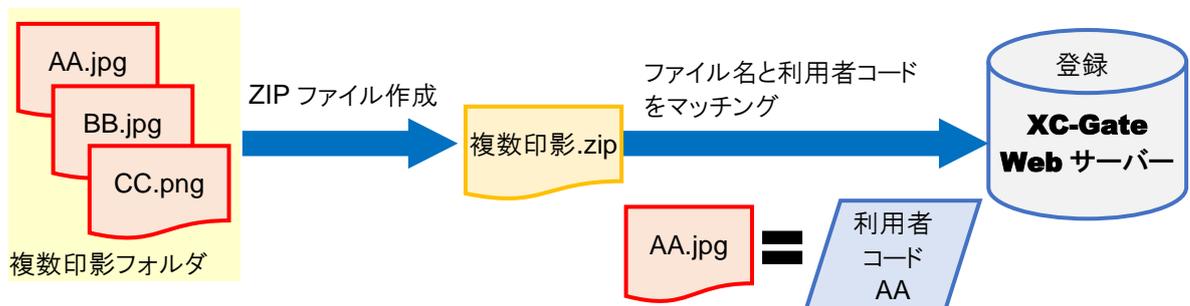
フォルダには印影ファイルのみを保存してください。  
フォルダ内に画像ファイル以外があると、登録時にエラーが発生します。

- 3) 印影ファイルのファイル名を、印影ファイルを使用する利用者の利用者コードにします。
- 4) フォルダ内の印影ファイルを選択し、ZIPファイルを作成します。

#### 注意事項

- jpg/bmp/png/tifファイル以外が保存されている場合、エラーが発生します。
- 既存の利用者コードとファイル名が一致しない場合、エラーが発生します。
- 管理者グループに所属している利用者の印影は登録できません。
- ZIPファイル内に同じファイル名が存在する場合、エラーが発生します。  
例) 同ZIPファイル内にAA.jpgとAAA.bmpが保存されている

#### 処理イメージ



# 14 エラーメッセージリスト

No.	メッセージ	表示場面	原因	対策
1	Exceptiton error22 または、 Quota exceeded error	[利用者画面] 画面遷移時 実績送信時	キャッシュが不足している。	設定からブラウザの履歴やキャッシュをクリアしてください。 <b>&lt;注意事項&gt;</b> 事前に必要な実績をサーバーへ送信してからキャッシュをクリアしてください。 キャッシュをクリアするとオフライン用にダウンロードしたデータや一時保存の実績画面に残っている実績がすべて削除されます。
			プライベートモードになっている。	下記手順でプライベートモードを解除してください。 <b>&lt;iPad Safari 利用の場合&gt;</b> 1) Safari を起動します。 2) 画面右上/右下の[  ]をタップします。 3) 画面左上/左下の[プライベート]をタップします。
2	送信データが見つかりません。	[利用者画面] 画面遷移時 実績送信時	キャッシュ容量超過のため写真タグなどの画像データが正しく保存されず、正常に実績送信できなかった。	原因が判明している場合は、該当の写真タグの内容を削除または貼り直してください。 改善しない場合は以下を確認してください。 1) 一時保存の実績画面を表示し、「送信失敗！」になっている実績がないか確認します。(別冊「取扱説明書 利用者編」参照) 2) 入力実績の記録を残した状態で削除します。
3	サーバーに接続できませんでした。 再度問合せ中です。	[利用者画面] [管理者画面] 画面遷移時	サーバーまたはネットワークが正常に作動していない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークに問題がある場合は原因を取り除き、再度接続してください。</li> <li>ネットワークに問題がない場合は、サーバーの管理者に問い合わせ原因を取り除き、再度接続してください。</li> </ul>
4	エラーが発生しました。 実績を再送信しますか?	[利用者画面] 実績送信時	サーバーまたはネットワークが正常に作動していない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークに問題がある場合は原因を取り除き、再度接続してください。</li> <li>ネットワークに問題がない場合は、サーバーのベンダーに問い合わせ原因を取り除き、再度接続してください。</li> </ul>
			キャッシュ容量超過のため写真タグなどの画像データが正しく保存されず※、正常に実績送信できなかった。 ※ 未送信の別の実績が正しく保存されていない場合も含む。	ネットワークに関する対策をしても改善しない場合は以下を確認してください。 1) 一時保存の実績画面を表示し、「送信失敗！」になっている実績がないか確認します。(別冊「取扱説明書 利用者編」参照) 2) 入力実績の記録を残した状態で削除します。

## お願い

- ルータや仕様端末の設定（OS、セキュリティの設定など）については必ず**提供元にお問い合わせください**。事前連絡をせずに行った対処に起因する問題は、当社では責任を負いかねます。

# 15 付録

## 15.1 用語

用語	内容
CSV	Comma Separated Values の略称で、カンマ区切りのテキストデータです。
xlsx、xlsm	OpenXML 規格に基づく Excel 用のファイルフォーマットです。
Excel ファイル	Microsoft の表計算ソフト Excel のファイルです。(xlsx 形式、xlsm 形式)
PDF	Portable Document Format の略称で、電子印刷データです。
フォルダ	複数のフォルダ/チェックシート/ファイルをまとめて保存する入れ物です。 フォルダに利用者またはグループのアクセス権を付与すると、フォルダに関する操作を制約できます。
チェックシート 帳票	Web ブラウザを用いて入力業務を行う画面のテンプレートです。 XC-Gate.V3 では、タグを記述した Excel ファイルからチェックシートを作ります。
ファイル	任意の形式のデータです。 画像タグや動画タグを利用する場合は、XC-Gate.V3 で再現可能な形式のファイルを適切な場所へ配置する必要があります。
ファイル名	チェックシートやファイルに付与される名称です。
ファイル ID	チェックシートやファイルに付与される識別子です。
グループ	同じ権限を与えられた利用者の集まりです。
グループコード	グループに付与された識別子です。
利用者	アクセス権限(利用者コード)を設定された一般ユーザーです。 1 つの利用者コード=1 クライアントアクセスライセンス(CAL)になります。
利用者コード	XC-Gate.V3 を使用する利用者の識別子です。
タイトル	1 件の作業実績に付与される名前または識別子です。 文字列の構成をルール化することで業務で入力したデータを識別できます。
場所	フォルダ階層の位置です。
実績	チェックシートから入力されたデータです。 実績を識別するタイトルを付与できます。
印刷テンプレート	チェックシートを Excel ファイルとして出力するためのテンプレートです。
セキュリティ	フォルダ/チェックシート/ファイルに付与されたアクセス権限です。
タグ	チェックシートに機能を付与するために Excel ファイルに記述する文字列です。 チェックシート化するとタグの種類に応じた機能を生成します。
禁止文字	XC-Gate.V3 で使用するファイル名やファイル ID などで使用できない文字です。 (12.1 参照)
マスタ	XC-Gate.V3 で共通利用するデータの総称です。
マスタデータ	XC-Gate.V3 で共通利用するデータの実体です。
会社	XC-Gate.V3 システムが提供する基本環境です。 ログイン時の「会社コード」でログイン先(会社)を切り替えます。
キャッシュ	チェックシートの表示情報や入力した実績をブラウザで一時的に保存する記憶域です。

## 15.2 別名

別名とはタグ名や機能名の別の名前で同一機能を実現する異なる名前です。タグ名の別名、機能名の別名を以下に示します。

### 別名一覧その1

○:機能名の別名が有効 空欄:機能名の別名または機能が無効

機能名	タグ名 タグ名の別名 機能名の別名	入力 textbox	数値 numericbox	確認 checkbox	選択 radiobtn	一覧 combobox
名前	name	○	○	○	○	○
表示	value	○	○	○	○	○
非表示	hidden, visible	○	○	○	○	○
有効	enable	○	○	○	○	○
無効	disable	○	○	○	○	○
大きさ	fontsize	○	○	○	○	○
テキスト表示色	forecolor	○	○	○	○	○
背景色	backcolor	○	○	○	○	○
初期値	initial	○	○	○	○	○
確認	confirm	○	○	○	○	○
権限	security	○	○	○	○	○
参照	cell	○	○	○	○	○
更新	update					
最大文字数	maxlength	○	○			
入力規制	validate	○	○			
読み取り専用	readonly	○	○			
文字数	length	○				
ソフト入力	softkey	○	○			
ソフト入力小	softkeysmall	○	○			
複数行	ml,multiline	○				
スライダー	slider		○			
スピン	spin		○			
ステップ	step		○			
最小値	min		○			
最大値	max		○			
値	option			○	○	
トグル	toggle			○		
選択色	selectcolor			○	○	
トグル選択色	tglbackcolor			○		
トグル選択文字色	tgforecolor			○		
項目	items					○
フラット	flat					○
範囲	range					○
しきい値下限	lowerlimit,lowert hreshold		○			
しきい値上限	upperlimit,uppert hreshold		○			
しきい値色	limitcolor,thresho ldbgcolor,thresh oldcolor		○			
タグ順序	tagsequence	○	○			
必須項目	requireditem,req uired	○	○	○	○	○

## 別名一覧その2

○:機能名の別名が有効 空欄:機能名の別名または機能が無効

タグ名		日付	時間	時刻	タイマー
タグ名の別名		calendar	time	minute	timer
機能名	機能名の別名				
名前	name	○	○	○	○
表示	value	○	○	○	○
非表示	hidden, visible	○	○	○	○
有効	enable	○	○	○	○
無効	disable	○	○	○	○
大きさ	fontsize	○	○	○	○
テキスト表示色	forecolor	○	○	○	○
背景色	backcolor	○	○	○	○
初期値	initial	○	○	○	○
確認	confirm	○	○	○	○
権限	security	○	○	○	○
参照	cell	○	○	○	○
更新	update				
最大文字数	maxlength				
入力規制	validate				
読み取り専用	readonly				
今	now	○	○	○	
押したとき今	opennow			○	
形式	format			○	
分	minute			○	
秒	second			○	
規定値	default			○	
自動起動	auto				○
開始	start				○
停止	stop				○
時分秒	militarytime				○
必須項目	requireditem, required	○	○	○	○
リスト選択	list			○	

## 別名一覧その 3

○:機能名の別名が有効 空欄:機能名の別名または機能が無効

タグ名		リンク	移動
タグ名の別名		link	move
機能名	機能名の別名		
名前	name	○	○
表示	value	○	○
非表示	hidden, visible	○	○
有効	enable	○	○
無効	disable	○	○
大きさ	fontsize	○	○
テキスト表示色	forecolor	○	○
背景色	backcolor	○	○
初期値	initial		
確認	confirm	○	○
権限	security	○	○
参照	cell		
更新	update		
最大文字数	maxlength		
入力規制	validate		
読み取り専用	readonly		
テキスト	text	○	○
URL	url	○	
帳票番号	report,reportno	○	
シート	sheet	○	○
actioncd	actioncd	○	
タスク削除	deletetask	○	
保存	save		○
一時保存	savetmp		○
完了	complete		○
ロック	lock	○	○
読取権限確認	readpermission	○	
自画面	self, screenshownatth egiventime	○	

## 別名一覧その 4

○:機能名の別名が有効 空欄:機能名の別名または機能が無効

タグ名		画像	動画	写真	サイン
タグ名の別名		image	movie	photo	sign, signature
機能名	機能名の別名				
名前	name	○	○	○	○
表示	value			○	○
非表示	hidden, visible	○	○	○	○
有効	enable			○	○
無効	disable			○	○
大きさ	fontsize				
テキスト表示色	forecolor				
背景色	backcolor		○	○	○
初期値	initial				
確認	confirm			○	○
権限	security			○	○
参照	cell	○		○	○
更新	update				
最大文字数	maxlength				
入力規制	validate				
読み取り専用	readonly				
ファイル	file	○	○		
自動再生	auto		○		
連続再生	continuous		○		
win	win			○	
auto	auto			○	
edge	edge			○	
初期画像	initimage			○	
選択無効	selectdisable			○	
削除無効	deletedisable			○	
リサイズ	resize			○	
必須項目	requireditem, required			○	

## 別名一覧その 5

○:機能名の別名が有効 空欄:機能名の別名または機能が無効

タグ名		xml	xpath	xfield	xfind
タグ名の別名		xml	xpath	xfield	xfind
機能名	機能名の別名				
名前	name	○	○	○	○
表示	value			○	○
非表示	hidden, visible	○	○	○	○
有効	enable			○	○
無効	disable			○	○
大きさ	fontsize				
テキスト表示色	forecolor				
背景色	backcolor		○	○	○
初期値	initial				
確認	confirm			○	○
権限	security			○	○
参照	cell	○		○	○
更新	update				
最大文字数	maxlength				
入力規制	validate				
読み取り専用	readonly				
帳票番号	reportcd	○	○		
条件	condition		○		
順番	order		○		
対象	src			○	
xpath	xpath			○	
取得	field			○	
db	db			○	
record	record			○	
key	key			○	
検索	find			○	
表示位置	textalign			○	

別名一覧その 6

○:機能名の別名が有効 空欄:機能名の別名または機能が無効

タグ名		環境	承認	承認印	参照	転記
タグ名の別名		env	approvebtn	userstamp	reference	set
機能名	機能名の別名					
名前	name	○	○	○	○	○
表示	value		○	○	○	○
非表示	hidden, visible		○		○	○
有効	enable		○			○
無効	disable		○			○
大きさ	fontsize		○		○	○
テキスト表示色	forecolor		○		○	○
背景色	backcolor		○		○	○
初期値	initial		○		○	
確認	confirm		○			○
権限	security		○			○
参照	cell		○		○	
無効化	envdisable	○				
有効化	envenable	○				
ヘッダー	header	○				
保存	save	○				
登録	save					
移動	move	○				
メニュー	menu	○				
ログアウト	logout	○				
戻る	back	○				
新規作成	new	○				
入力一覧	inputlist	○				
写真	photo	○				
手書き	handwrite	○				
計算優先	orderbyfml	○				
固定幅	fixedwidth	○				
作業タイトル	actiontitle, worktitle	○				
タグ最前面	tagforeground	○				
選択色	selectcolor		○			
シート	sheet				○	
項目	tag				○	
処理	process					○
監視	watch					○
初期化時転記無	noninit					○
優先	priority	○				
タイトル設定	settitle	○				
XLSX 出力	xlsx	○				
タグ強調表示	tagexaggeration	○				
強調色	exaggerationcolor, highlightedcolor	○				
項目	item					○
クリア	clear					○
一括入力	batchinput, inputcontent					○
順次実行	sequentially, runsequentially					○
利用者コード	usercd			○		

## 別名一覧その7

○:機能名の別名が有効 空欄:機能名の別名または機能が無効

タグ名		データ	データ表示	データ検索	コード
タグ名の別名		db	dbfield	dbfind	codebox
機能名	機能名の別名				
名前	name	○	○	○	○
表示	value	○			
非表示	hidden, visible	○			
有効	enable				
無効	disable				
大きさ	fontsize				
テキスト表示色	forecolor				
背景色	backcolor				
初期値	initial				
確認	confirm				
権限	security				
参照	cell				
更新	update				
最大文字数	maxlength				
入力規制	validate				
読み取り専用	readonly				
帳票番号	reportcd	○			
マスターコード	mastercd	○			
条件	where	○	○		
検索	find			○	
並び	sort,order	○			
昇順	asc, ascend	○			
降順	desc, descend	○			
開始位置	offset	○			
取得上限	limit	○			
取得項目	targetitems	○			
通知無効	nonnotify	○			
現在シート	currentsheet	○			
セキュリティ	csecurity, security	○			
終了位置	limitpoint	○			
日付項目	aggregation	○			
取得日数	aggregationnum ofdays	○			
取得方法	aggregationmethod	○			
以前	before	○			
以降	after	○			
データ	src, data		○	○	
項目	item		○	○	
行番号	recordno		○		
日付書式	dateformat		○	○	
実績無効	disableaction		○	○	
表示日:	aggregationdate		○		
桁	length				○
実行	run	○			
必須項目	requireditem, required				○
言語	language	○			
SQL	sequel	○			
表示位置	textalign		○		

### 別名一覧その 8

○:機能名の別名が有効 空欄:機能名の別名または機能が無効

タグ名		QR リーダー
タグ名の別名		qrreader, QRreader
機能名	機能名の別名	
名前	name	○
解像度	resolution	○
RTC	rtc	○
選択無効	selectdisable	○
実績無効	disableaction, disabledresult	○
文字コード	charcode	○

### 別名一覧その 9

○:機能名の別名が有効 空欄:機能名の別名または機能が無効

タグ名		作業番号	シェープ
タグ名の別名		action	shape シェイプ
機能名			
名前	name	○	○
非表示	hidden, visible		○

### 別名一覧その 10

○:機能名の別名が有効 空欄:機能名の別名または機能が無効

タグ名		ループ	機能
タグ名の別名		loop	menu, function
機能名			
名前	name	○	
項目	item	○	
間隔	interval	○	
中断	break	○	
開始	start	○	
終了	end	○	
加算	step	○	
表示	value		○
処理	process		○
登録	save		○
ログアウト	logout		○
戻る	back		○
複製	copy		○
実行	run		○
通知無効	nonnotify		○
通知無効:メッセージバー	messagebar		○
通知無効:すべて	all		○
大きさ	fontsize	○	○
背景色	backcolor	○	○
テキスト表示色	forecolor	○	○
有効	enable	○	○
無効	disable	○	○
非表示	hidden, visible	○	○
確認	confirm		○
権限	security		○
表示位置	textalign	○	

## 別名一覧その 11

○:機能名の別名が有効 空欄:機能名の別名または機能が無効

タグ名		CSV	CSV 表示
タグ名の別名		csv	csvfield
機能名			
名前	name	○	○
表示	value	○	○
非表示	hidden, visible	○	○
src	url	○	
文字コード	encode	○	
区切り文字	delimiter	○	
引用符	quot	○	
ヘッダー無し	noheader	○	
CSV	src		○
項目	item,column		○
条件	condition,where		○
行番号	recordno		○
列番号	columnno		○
実績無効	disableaction		○
表示位置	textalign		○

## NOTE

---

A series of horizontal dashed lines for taking notes.



テクノツリーへのご意見・ご要望がございましたらお気軽にお問い合わせください。

**お問い合わせサイト：**

**[https://support.technotree.co.jp/techno\\_support/](https://support.technotree.co.jp/techno_support/)**



- 本書に記述されている画像は実際と異なることがあります。
- 記述内容は予告なしに変更されることがあります。
- 本書の無断転載はご遠慮ください。